

Dell™ Inspiron™ 2000 システム

# リファレンス & トラブルシューティングガイド

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。  
© 2000 すべての著作権は Dell Computer Corporation にあります。

Dell Computer Corporation からの書面による許可無しには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

本書に使用されている商標 : Dell、DELL のロゴ、Inspiron および DellWare は、Dell Computer Corporation の商標です。Microsoft、MS-DOS、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。Celeron は Intel Corporation の商標です。3Com は 3Com Corporation の登録商標です。Dell Computer Corporation は、ENERGY STAR と提携しており、本製品は ENERGY STAR のエネルギー効率に関するガイドラインに適合しています。

本書内では、上記以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Computer Corporation に所属するものではありません。

2000 年 4 月 P/N 018UK Rev. A01



## 安全にお使いいただくための注意

身体の安全を守り、コンピュータやストレージシステムを損傷から保護するために、以下の点にご注意ください。

### 安全のための注意と警告

コンピュータを使用する際には、必ず、以下の注意事項を守ってください。

- ご自分でコンピュータの修理をおこなわないでください。必ず、インストールの手順に従ってください。
- バッテリーを金属製の持ち物（車のキーなど）と一緒にポケットや財布などに入れて持ち運ぶと、バッテリーの回路がショートする原因になります。過度の電流により、バッテリーが非常に高温になると、発火の原因になることがあります。
- 電源コードの上に物を乗せないでください。また、踏んだりつまずいたりしやすい所にコードを設置しないでください。
- コンピュータをバッテリーで動作させたり、バッテリーを充電する場合は、**ACアダプタ**を机の上や床の上など空気の循環の良いところに置いてください。温度を上昇させる原因になりますので、**ACアダプタ**を書類やその他で覆わないでください。また、**ACアダプタ**をキャリーケースの中に入れて使用しないでください。
- コンピュータが濡れる環境、たとえばバス stub の近くや洗面台、またプールや湿気の多い地下室などで使用しないでください。
- 通気孔やコンピュータの開口部分に異物を押し込まないでください。異物がコンピュータ内部に入ると、回路をショートさせ、発火の原因となる場合があります。

- 本書で許可された **AC** アダプタおよびバッテリーのみを使用してください。異なるタイプのバッテリーパックや **AC** アダプタを使用すると、発火または破裂の危険性があります。
- コンピュータを電源に接続する前に、電源が **AC** アダプタの電圧に適合していることを確認してください。
  - 北米、南米、および韓国、台湾などの極東地域では **115 V / 60 Hz**
  - 東日本では **100 V / 50 Hz**、西日本では **100 V / 60 Hz**
  - ほとんどのヨーロッパ、中東、および上記以外の極東では **230 V / 50 Hz**
- 感電を防ぐため、**AC** アダプタおよび周辺機器の電源ケーブルは、正しい方法でアースされているコンセントに差し込んでください。これらの電源ケーブルは、正しくアースするために、三芯プラグが使用されています。アダプタプラグを使用したり、アース用のピンをケーブルから取り外したりしないでください。延長コードを使用する場合は、アースプラグの付いた三芯ケーブルを使用してください。
- **AC** アダプタに延長コードを使用する場合は、接続する製品の定格電流の合計が延長コードの最大定格電流を超えないことを確認してください。
- コンピュータから電流を取り除く場合は、まず電源を切り、バッテリーパックを取り外し、コンセントから **AC** アダプタを外します。
- コンピュータの内蔵モデムあるいはオプションの (**PC** カード) モデムを使用している場合は、電話回線を介して稲妻により感電する危険性がありますので、嵐の間はモデムケーブルの接続を解除してください。
- 雷がなっている場合は、ケーブルを接続しない、またはケーブルを抜くことで感電を防ぎ、製品の質や構成を維持することができます。
- 通常の操作をおこなっている間でも、**PC** カードは高温になります。連続して使用した **PC** カードを取り外す際は注意してください。
- 火気の中にバッテリーパックを破棄しないでください。爆発する場合があります。バッテリーの破棄は、市役所などの行政機関にお問い合わせください。
- コンピュータは水平な場所に設置して使用します。
- 飛行機などに乗る際には、コンピュータを荷物として預けないでください。本機は **X** 線探知機に通すことはできますが、金属探知機には絶対に通さないでください。コンピュータは電源を入れてチェックされることもあるので、必ずバッテリーも携帯してください。

- ハードディスクドライブをコンピュータから取り外して移動する場合は、ドライブを布や紙などの電気を通さないもので包んでください。ドライブはコンピュータに取り付けてチェックを受けられるように準備しておいてください。ハードディスクドライブはX線探知機に通すことはできますが、金属探知機には絶対に通さないでください。
- 移動する際は、コンピュータが不安定に動くような棚には置かないでください。コンピュータを落としたり、衝撃を与えないよう気をつけてください。
- コンピュータ、バッテリー、およびハードディスクドライブは、極端な高温や低温、汚れ、ほこり、食べ物、液体、長時間の直射日光などから保護するよう注意してください。
- 温度や湿度が大きく異なる場所にコンピュータを移動させると、外部または内部に結露することがあります。コンピュータの損傷を避けるために、使用する前には十分に時間をかけて湿気を蒸発させてください。

**注意：コンピュータ本体の温度が極度に下がったり、極度に上がった場合は、コンピュータが室温に戻ってから電源を入れてください。**

- ケーブルを抜く際は、ケーブルそのものをつかむのではなく、コネクタまたは保護ケーブルをつかんで抜いてください。コネクタを外す際には、ピンを曲げないように真っ直ぐ引き抜いてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタの形状や向きが合っていることを確認してください。
- 部品の取り扱いには注意してください。メモリモジュールなどの部品を持つ際は、ピンには触れないで縁を持ってください。
- メモリモジュールをシステム基板から取り外したり、または周辺機器をコンピュータから取り外す場合はシステム基板の損傷を防ぐために、コンピュータの電源を切った後、5秒待ってからおこなってください。
- コンピュータをクリーニングする場合は、電源を切り、コンセントからプラグを抜いてバッテリーパックを取り外してからおこなってください。
- コンピュータおよびディスプレイは、液体クリーナーやスプレーではなく、水で湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- コンピュータのディスプレイは、ワックスや研磨剤を含まない市販のガラスクリーナーと、柔らかくて清潔な布を使って拭いてください。クリーナーを布に塗布し、ディスプレイパネルの上から下に向けて拭きます。油などの汚れが付いている場合は、ガラスクリーナーの代わりに消毒用アルコールを使用してください。

- コンピュータを濡らしてしまったり、落としてしまった場合は本書の第3章「トラブルシューティング」の手順に従ってください。手順を実行して、コンピュータが正常に動作していないことを確認した場合は、Dell テクニカルサポートにご相談ください（お問い合わせ電話番号は、第5章「困ったときは」を参照してください）。

## 人間工学的立場から見たコンピュータの使い方



**警告：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。**

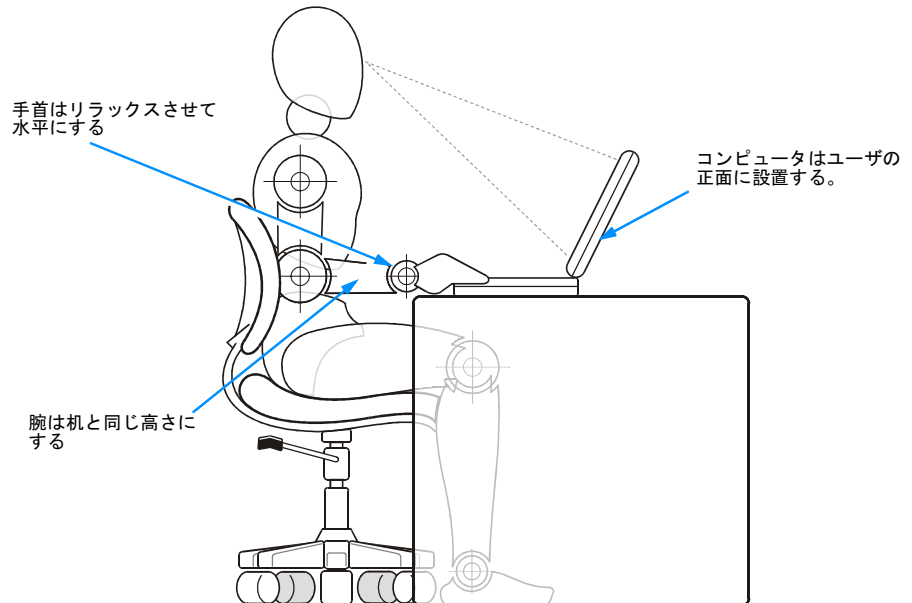


**警告：モニタの画面を長い時間見続けると、目の疲労原因となる場合があります。**

コンピュータを快適、かつ効率よく使用するために、以下の注意事項を守ってください。

- 作業中にコンピュータが正面に来るように位置を調整します。
- ディスプレイの角度、コントラスト、輝度、および周囲の照明（天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド）を調整し、ディスプレイの反射を最小限に抑えます。
- 外付けモニタを使用する場合は、目が疲れないようにモニタとの距離を調整します（通常は目から **50 ～ 60 センチ**）。モニタの正面に座ったときに、画面が目の高さかそれよりも少し下に来るように設置してください。
- しっかりとした背もたれの付いた椅子を使用します。
- キーボード、トラックボール、タッチパッドや外付けマウスを使用する際は、前腕部と手首を水平にし、リラックスした快適な位置に保ちます。
- キーボード、タッチパッド、トラックボールを使用する際は、パームレストを使用します。外付けマウスを使用するときは、手を休めることができる十分なスペースを取ります。
- 上腕部は身体の横に自然に下ろします。
- 足の裏を床につけ、太ももを床と平行にし、背筋を伸ばして座ります。
- 椅子に座っているときは、足の重さが椅子のシートではなく足の裏にかかるようにします。必要に応じて椅子の高さを調節したり足台を使用して、正しい姿勢を維持します。

- 作業に変化を持たせるようにアレンジします。続けてタイプする場合は、一定時間を超えないようにします。タイプをしていないときは、なるべく両手を使う作業を行うようにします。



## メモリモジュールの取り付けと取り外しの際の注意

メモリモジュールの取り付けや取り外しをおこなう前に、以下の注意事項を守ってください。

**注意：**コンピュータ内部の作業が必要になるのは、ご自身でメモリモジュールを取り付ける場合だけです。

**注意：**システム基板の損傷を避けるために、システムの電源を切ったあと5秒待ってから、周辺装置やメモリモジュールを取り外してください。

1. コンピュータとすべての周辺機器の電源を切ります。

2. けがや感電を防止するために、コンピュータと周辺機器をコンセントから抜きます。また、電話回線や通信回線のケーブルもコンピュータから抜きます。
3. バッテリベイからメインバッテリーを取り外し、必要に応じてメディアベイからセカンドバッテリーを取り外します。
4. コンピュータ背面にある I/O パネルの塗装されていない金属面に触れて静電気を除去します。

静電気はコンピュータの内部部品を損傷させる恐れがあるので、作業中も定期的に I/O パネルに触れて静電気を除去してください。

## 静電気放電への対処

静電気は、コンピュータ内部の電子部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐために、メモリモジュールなどのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータの I/O パネルの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

コンピュータ内部の作業中にも、定期的に I/O コネクタに触れて、身体内に蓄積した静電気を除去してください。

さらに、静電気放電 (ESD) による損傷を防止するために、以下の手順を実行することをお勧めします。

- 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合は、部品を取り付ける用意ができるまでは、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開梱する直前に、必ず身体から静電気を除去してください。
- 静電気に敏感な部品を運ぶ場合は、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いには、静電気のない場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

これらの注意事項を守る必要がある場合には、本書全体を通して、以下のように表示されます。

**注意：**本書の冒頭にある「静電気放電への対処」を参照してください。





# まえがき

## このガイドについて

このガイドは、Dell ノートブックコンピュータをご使用になる全てのユーザを対象としています。コンピュータについて、初心者から経験豊富なユーザの方々まで幅広くご利用いただけることを目的としています。また、基本的なトラブルシューティングの手順や、コンピュータとそのコンポーネントを検証するための Dell 診断プログラムの説明も記載されています。

以下は、それぞれの章と付録についての概要です。

- 第 1 章「はじめに」では、コンピュータの主な機能について説明します。
- 第 2 章「オプションとアップグレード」では、アップグレード一覧、および Dell が提供しているオプションとアップグレードの取り付け手順について説明します。
- 第 3 章「トラブルシューティング」では、問題が起きた際にまず最初に行うべき確認事項とその手順、およびソフトウェア上の問題を分析する際のガイドラインについて説明します。
- 第 4 章「システムソフトウェアへの対処」では、ドライバとソフトウェアの再インストールについて説明します。
- 第 5 章「困ったときは」では、Dell が提供するヘルプツールについて説明します。また、Dell テクニカルサポートにお問い合わせになる際の手順についても説明します。
- 付録 A 「仕様」には、ご使用のノートブックコンピュータに関する詳細が必要なときに役立つ参考資料が記載されています。
- 付録 B 「セットアップユーティリティの使い方」では、コンピュータの省電力機能など、システムの設定を変更する場合のセットアップユーティリティへのアクセス方法について説明します。

- 付録 C 「システムメッセージ」では、システムメッセージおよびフラッシュコードについて説明します。
- 付録 D 「認可機関の情報」は、ご使用のコンピュータの検証および認可をおこなった機関についての情報です。

## 保証

Dell Computer Corporation の製品は、新品または業界標準に照らし合せて新品相当と見なされる部品を使用してそのハードウェア製品を製造しています。

保証に関しては別紙の『Dell Service & Support のご案内』を参照してください。

## その他のマニュアル

ご使用のコンピュータには、この『リファレンス&トラブルシューティングガイド』の他にも、以下のマニュアルが付属しています。

- 『セットアップガイド』は、Dell Inspiron のセットアップおよびハードウェアの使い方について記載されています。
- システムヘルプはお使いのコンピュータを使用するために必要な情報を提供します。

システムヘルプを開くには、[スタート] から [プログラム→Dell Documents] を選択し、[Dell Inspiron 2000 System Help] をクリックしてください。

また、以下のマニュアルが付属している場合もあります。

- コンピュータまたはソフトウェアに関する変更について説明したアップデートのマニュアル。



**メモ：**アップデートには最新の情報が含まれていますので、その他のマニュアルをお読みになる前に必ずアップデートに関するマニュアルをお読みください。

- ご使用のコンピュータにプリインストールされたオペレーティングシステムのマニュアル。このマニュアルはご使用になるオペレーティングシステムの設定方法について記載されています。

## 注意事項に関する表記上の規則

以下の項では、本書で使用する注意事項の記載に関する規則について説明します。

### メモ、注意、警告

本書では、ゴシック体や青字で表記し、アイコンをつけて表示している箇所があります。これらは、メモ、注意、および警告であり、使い方は次のとおりです。



**メモ**：操作上、知っておくと便利な情報が記載されています。

**注意**：ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も示されています。



**警告**：問題を回避しないと、軽～中程度のけがを負う危険性があることを示します。

### 本文の表記上の規則

以下は、特定の項目をわかりやすく示すために本書で使用している表記規則の定義です。

- インタフェースコンポーネントは、モニタに表示されるウィンドウタイトル、ボタンおよびアイコン名、メニュー名および選択項目、およびオプションです。これらは [ ] 内に表示します。

例：[OK] をクリックします。

- キーボードのそれぞれのキーに記されているキーキャップは、角括弧で囲んで示します

例：<Enter>

- キーの組み合わせは、（特に指示のある場合を除き）ある機能を実行するために複数のキーを同時に押すことを意味します。

例：<Ctrl> <Alt> <Enter>

- ボールド体で示されている小文字は、説明だけを目的とする、実際に文字を入力する必要がないコマンドです。

例：**setup** コマンドを使用して....

ただし、手順の一部として、実際に文字を入力するコマンドにはクーリエ体が使用されています。

例：`format :`とタイプしてドライブ A のディスクットをフォーマットします。

- ファイル名およびディレクトリ名は小文字のボールド体で示されます。

例: **autoexec.bat** および **c: ¥windows**

- シンタックスラインは、コマンドおよびその指定可能な全てのパラメータで構成されます。コマンドは小文字のボールド体で示されます。変数パラメータ（ユーザが実際の値に置き換えるもの）は、イタリック体の小文字で示されます。定数パラメータはボールド体の小文字で示されます。

例: **del [drive:][[path]filename] [/p]**

- コマンドラインはコマンドで構成され、コマンドの指定可能な、1つまたは複数のパラメータが含まれることがあります。コマンドラインは、クーリエ体で表記されます。

例: del c:¥myfile.doc

- 画面テキストは、ディスプレイや外付けモニタの画面に表示されるテキストです。これにはシステムメッセージや、コマンドラインなど入力する必要のあるコマンドの一部なども含まれます。コマンドラインはクーリエ体で表記されます。

例: 以下のメッセージが画面に表示されます。

No boot device available

- 変数は数値の代わりに使用する記号です。これらはイタリック体で表記します。

例: **module *n*** (*n* はメモリモジュール番号を表します)



# 目次

<b>第 1 章</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>1-1</b>
	ハードウェアの機能 .....	1-1
	コンピュータの正面 .....	1-4
	コンピュータの背面 .....	1-5
	コンピュータの底面 .....	1-6
	ソフトウェアの特徴 .....	1-6
	ENERGY STAR への準拠 .....	1-7
	困ったときは .....	1-8
<b>第 2 章</b>	<b>オプションとアップグレード</b> .....	<b>2-1</b>
	利用可能なオプションとアップグレード .....	2-1
	AC アダプタの使い方 .....	2-2
	バッテリーの取り付け .....	2-3
	バッテリー充電ゲージ .....	2-4
	充電の割合 .....	2-5
	外付けメディアベイケーブル .....	2-6
	外付けメディアベイの使い方 .....	2-7
	デバイス構成 .....	2-9
	Softex BayManager ソフトウェアとデバイスの取り付け .....	2-9
	ディスクドライブモジュールの	
	外付けデバイスとしての使い方 .....	2-9
	内蔵ハードディスクドライブの取り付け .....	2-10
	ハードディスクドライブの Dell への返送 .....	2-13
	他の外付けデバイスの接続 .....	2-13

<b>トラブルシューティング</b> .....	<b>3-1</b>
基本事項のチェック .....	3-1
接続のチェック .....	3-3
環境要因.....	3-3
電源のチェック .....	3-4
モデムのチェック .....	3-4
ディスクドライブのチェック.....	3-5
ディスクドライブのクリーニング .....	3-6
CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのチェック.....	3-6
ハードディスクドライブのチェック .....	3-7
目と耳によるチェック .....	3-7
セットアップ項目 .....	3-8
ソフトウェアの問題解決.....	3-8
ソフトウェアのインストールと設定.....	3-9
起動ファイル .....	3-10
ソフトウェアの使用.....	3-10
エラーメッセージ.....	3-10
入力エラー .....	3-11
メモリ常駐型プログラム .....	3-11
プログラムのコンフリクト.....	3-11
割り込み要求のコンフリクト回避策 .....	3-12
IRQ コンフリクトの解決 .....	3-13
コンピュータが濡れた場合 .....	3-14
コンピュータを落とした場合や損傷を与えた場合 .....	3-15
<b>Dell 診断プログラムの実行</b> .....	<b>3-16</b>
Dell 診断プログラムの起動 .....	3-17
Dell 診断プログラムのメイン画面.....	3-19
システム設定情報の確認.....	3-20
Dell 診断プログラムのヘルプメニューの使い方.....	3-21
Menu (メニュー).....	3-21
Keys (キー).....	3-21
Device Group (デバイスグループ) .....	3-21
Device (デバイス).....	3-22
Test (テスト).....	3-22
Versions (バージョン) .....	3-22

## 第 4 章

## システムソフトウェアへの対処 ..... 4-1

Windows 98 オペレーティングシステムのインストール .....	4-1
Windows 98 用ドライバおよびユーティリティのインストール .....	4-2
ビデオドライバのインストール (Windows 98) .....	4-3
内蔵モデムドライバのインストール (Windows 98) .....	4-4
オーディオドライバのインストール (Windows 98) .....	4-6
タッチパッドドライバのインストール (Windows 98) .....	4-7
Softex BayManager のインストール (Windows 98) .....	4-8
NIC ドライバのインストール (Windows 98) .....	4-8
システムユーティリティのインストール (Windows 98) .....	4-9
Windows NT 用ドライバおよびユーティリティのインストール .....	4-10
ビデオドライバのインストール (Windows NT) .....	4-11
内蔵モデムドライバのインストール .....	4-12
オーディオドライバのインストール (Windows NT) .....	4-13
タッチパッドドライバのインストール (Windows NT) .....	4-14
パワーマネージメント設定ユーティリティの インストール (Windows NT) .....	4-14
Softex BayManager のインストール (Windows NT) .....	4-15
PC カード設定ユーティリティのインストール (Windows NT) .....	4-15
NIC ドライバのインストール (Windows NT) .....	4-16
Windows 2000 用ドライバおよびユーティリティのインストール .....	4-17
オーディオドライバのインストール (Windows 2000) .....	4-17
Save-to-Disk サスペンドユーティリティ (Windows 98 および Windows NT 用) .....	4-18
Save-to-Disk サスペンドファイルと Save-to-Disk サスペンドパーティションの作成と削除 .....	4-18
Windows 98 用 Save-to-Disk サスペンドファイルの作成と削除 .....	4-19
Windows NT 用 S2D パーティションの作成と削除 .....	4-20
Dell へのお問い合わせ .....	4-21

## 第 5 章

## 困ったときは ..... 5-1

テクニカルサポート .....	5-1
ヘルプツール .....	5-2
ウェブサイト .....	5-2
ご注文に関するお問い合わせ .....	5-2

製品情報について	5-2
製品の修理のための返送（引き取り修理対応機種）	5-2
修理以外の理由で製品を返品する場合	5-3
お問い合わせになる前に	5-4
Dell へのお問い合わせ	5-6

付録 A	仕様	A-1
------	----	-----

付録 B	セットアップユーティリティの使い方	B-1
------	-------------------	-----

セットアップユーティリティへのアクセス	B-1
Main メニュー	B-2
Advanced メニュー	B-5
I/O Device Configuration サブメニュー	B-7
Security メニュー	B-9
Power メニュー	B-11
Boot メニュー	B-15
Exit メニュー	B-16

付録 C	システムメッセージ	C-1
------	-----------	-----

付録 D	認可機関の情報	D-1
------	---------	-----

FCC 規定（U.S. 向け）	D-2
クラス A	D-3
クラス B	D-3
モデム規定情報	D-4
CTR 告知	D-5
ニュージーランドテレコムของ警告	D-5
ファックス送信元の表示	D-6
IC 規定（カナダ向け）	D-7
モデム規定情報	D-7
CE 規定（EU 向け）	D-8
バッテリーの廃棄	D-9
VCCI 規定（情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定）（日本向け）	D-9
クラス A 基準	D-9
クラス B 基準	D-10



MOC 規定 (韓国向け) .....	D-10
クラス A 装置 .....	D-10
クラス B 装置 .....	D-11
NOM 情報 (メキシコ向け) .....	D-11
Información para NOM (únicamente para México) .....	D-12
BSMI 警告 (台湾向け) .....	D-12

## 索引



図 1-1	コンピュータの正面 .....	1-4
図 1-2	コンピュータの背面 .....	1-5
図 1-3	コンピュータの底面 .....	1-6
図 1-4	<b>ENERGY STAR</b> エンブレム .....	1-8
図 2-1	<b>AC</b> アダプタの使い方 .....	2-2
図 2-2	バッテリーの取り外し .....	2-4
図 2-3	バッテリーの充電ゲージ .....	2-5
図 2-4	外付けメディアベイケーブル .....	2-6
図 2-5	外付けメディアベイの接続 .....	2-8
図 2-6	ディスクドライブモジュールを 外付けデバイスとして接続 .....	2-10
図 2-7	内蔵ハードディスクドライブの取り外し .....	2-11
図 2-8	ハードディスクドライブの梱包 .....	2-13
図 3-1	<b>Diagnostics</b> (診断) メニュー .....	3-19
図 3-2	<b>Dell</b> 診断プログラムのメイン画面の例 .....	3-20
図 5-1	診断チェックリスト .....	5-5
図 B-1	<b>Main</b> メニュー .....	B-2
図 B-2	<b>Advanced</b> メニュー .....	B-5
図 B-3	<b>I/O Device Configuration</b> サブメニュー .....	B-7
図 B-4	<b>Security</b> メニュー .....	B-9
図 B-5	<b>Power</b> メニュー .....	B-11
図 B-6	<b>Boot</b> メニュー .....	B-15
図 B-7	<b>Exit</b> メニュー .....	B-16
図 D-1	<b>VCCI</b> クラス A 基準 認可機関マーク .....	D-9
図 D-2	<b>VCCI</b> クラス B 基準 認可機関マーク .....	D-10
図 D-3	<b>MOC</b> クラス A マーク .....	D-11
図 D-4	<b>MOC</b> クラス B マーク .....	D-11

## 表

表 3-1	起動ルーチンの確認項目 .....	3-7
表 3-2	IRQ ラインの割り当て .....	3-12
表 5-1	国際電話コード .....	5-7
表 5-2	お問い合わせ番号 .....	5-8
表 A-1	仕様 .....	A-1
表 B-1	Main メニューのオプション .....	B-3
表 B-2	Advanced メニューのオプション .....	B-6
表 B-3	I/O Device Configuration サブメニューのオプション .....	B-8
表 B-4	Security メニューのオプション .....	B-10
表 B-5	Power メニューのオプション .....	B-12
表 B-6	Boot メニューのオプション .....	B-15
表 B-7	Exit メニューのオプション .....	B-17
表 C-1	システムエラーメッセージ .....	C-1



# 第 1 章 はじめに

本章では、ご使用の Dell™ Inspiron™ ノートブックコンピュータの主なハードウェアおよびソフトウェアの機能について説明します。

## ハードウェアの機能

コンピュータのハードウェアの機能は次のとおりです。

- 最新のプロセッサテクノロジーを採用した、インテル® モバイルマイクロプロセッサ。
- システムメモリとして最低 64 MB の SDRAM を装備。最大 256 SODIMMS まで増設可能。
- ディスケットドライブ、CD-ROM ドライブ、CD-RW ドライブ、DVD-ROM ドライブ (Microsoft® Windows® 98 Second Edition または Windows 2000 オペレーティングシステムが稼動するコンピュータのみ)、SuperDisk ドライブなど、各種モジュールの 1 つを取り付けることができる外付けメディアベイ。



メモ：コンピュータの出荷時には、外付けメディアベイにディスクドライブが取り付けられています。このディスクドライブを取り外して、他のデバイスを取り付けるには、第 2 章の「外付けメディアベイの使い方」を参照してください。

Microsoft Windows NT® オペレーティングシステムは、DVD テクノロジーをサポートしていないため、DVD-ROM ドライブは Windows 98 Second Edition または Windows 2000 オペレーティングシステムを使用しているコンピュータでしか利用できません。

- 2.5 MB ビデオメモリ付き 256 ビットハードウェア加速式 NeoMagic NM2200 AGP ビデオコントローラ。
- アクティブマトリックス SXGA の TFT カラーディスプレイ。

- NeoMagic NMG5 + AC97 CODEC オーディオコントローラ。ハードウェア wavetable をサポート、3D サラウンドサウンド。
- 内蔵ステレオスピーカーとマイク。
- 外付けスピーカー、ヘッドフォン、または外付けマイクを接続するコネクタ。
- ATA (Advanced Technology Attachment) /IDE (integrated drive electronics) ハードディスクドライブインタフェース用 Ultra DMA (direct memory access) / 33 データ転送プロトコル。Ultra DMA/33 により、最高 33 MB/ 秒のデータ転送が可能。
- Windows オペレーティングシステムでサポートされる 2 つの特殊キーを備えたキーボード。
- マウスの機能をすべて備える Personal System/2 (PS/2) 互換タッチパッド。
- マウス、プリンタ、コンピュータ用スピーカーなどの周辺機器接続を簡略化する USB 機能。コンピュータの背面パネルにある USB コネクタは、キーボード、マウス、プリンタ、およびコンピュータ用スピーカーなど複数の USB 対応デバイスのための単一の接続ポイントとなります。また、USB 対応デバイスはコンピュータの稼働中でも、取り付け、取り外しが可能です。



**メモ :** Windows NT は、USB 機能をサポートしていません。

オリジナルのシステム構成に含まれていない USB デバイスを接続する際は、そのデバイスの機能をフルに発揮するために専用のドライバをインストールしなければならない場合があります。詳細については、USB デバイスの製造元にお問い合わせください。

- バッテリーベイに取り付けられたリチウムイオンバッテリー。
 

**注意 :** バッテリーは穴を空けたり焼却したりしないでください。バッテリーが充電できなくなったら、お住まいの地域の廃棄物または環境問題を所轄する機関に、コンピュータのリチウムイオンバッテリーの廃棄についてご相談ください。このバッテリーに採用されているリチウムイオンテクノロジーは、時計のバッテリーなど他のバッテリーに採用されているリチウムメタルテクノロジーと比べて、環境に対する危険がかなり少なくなっています。
- 3.3 V または 5 V PC カード用のコネクタ付き PC カードスロット。PC カードコネクタは、ZV (Zoomed Video) ポートカードの利用をサポートします。



**メモ :** PC カードコントローラは、PC カード上で 32 ビットデータ転送を行なうための CardBus 規格をサポートしています。

Windows NT は、Zoomed Video をサポートしていません。

- 高性能シリアルポートコネクタ × 1。
- 単方向、双方向または ECP (Extended Capabilities Port) モードに設定できるパラレルポートコネクタ × 1。
- PS/2 キーボード/マウスポートコネクタ × 1。
- 内蔵 56-Kbps V.90 コントローラレスモデム。(諸外国仕様の電話機器に対応)
- 内蔵 3Com<sup>®</sup> 10/100-BASET PCI バスマスタ Ethernet NIC。
- 市販のセキュリティケーブルを接続してコンピュータの盗難を防止できるセキュリティケーブルコネクタ。
- バッテリーの消費電力を節約できる、2つの省電力モード — スタンバイモードおよび **save-to-disk** サスペンドモード —。バッテリーが切れそうな場合は、**save-to-disk** サスペンドモードで、すべてのシステムデータをハードディスクドライブに待避してコンピュータの電源を切ることによって、データの損失を防ぎます。
- 可変速ファンとマイクロプロセッサ速度変化を利用して、稼働中のコンピュータを最適な温度に保つ、自動温度管理システム。



**警告：**コンピュータは、基部が皮膚の露出した部分に直接触れた状態では、稼働させないでください。長時間にわたって稼働していると、基部内に熱がこもる可能性があります。皮膚に触れた状態が続くと、不快感が生じたり、火傷をひきおこす恐れがあります。

## コンピュータの正面

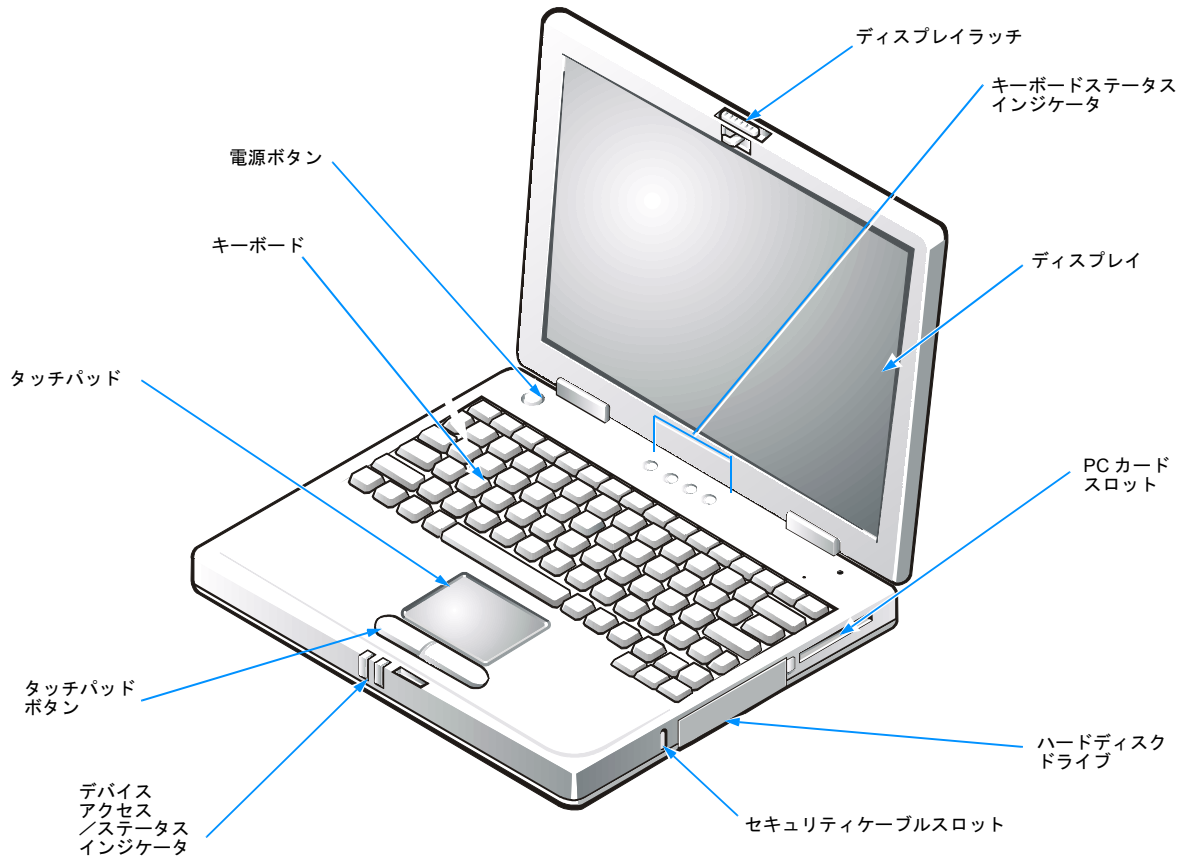


図 1-1 コンピュータの正面

## コンピュータの背面

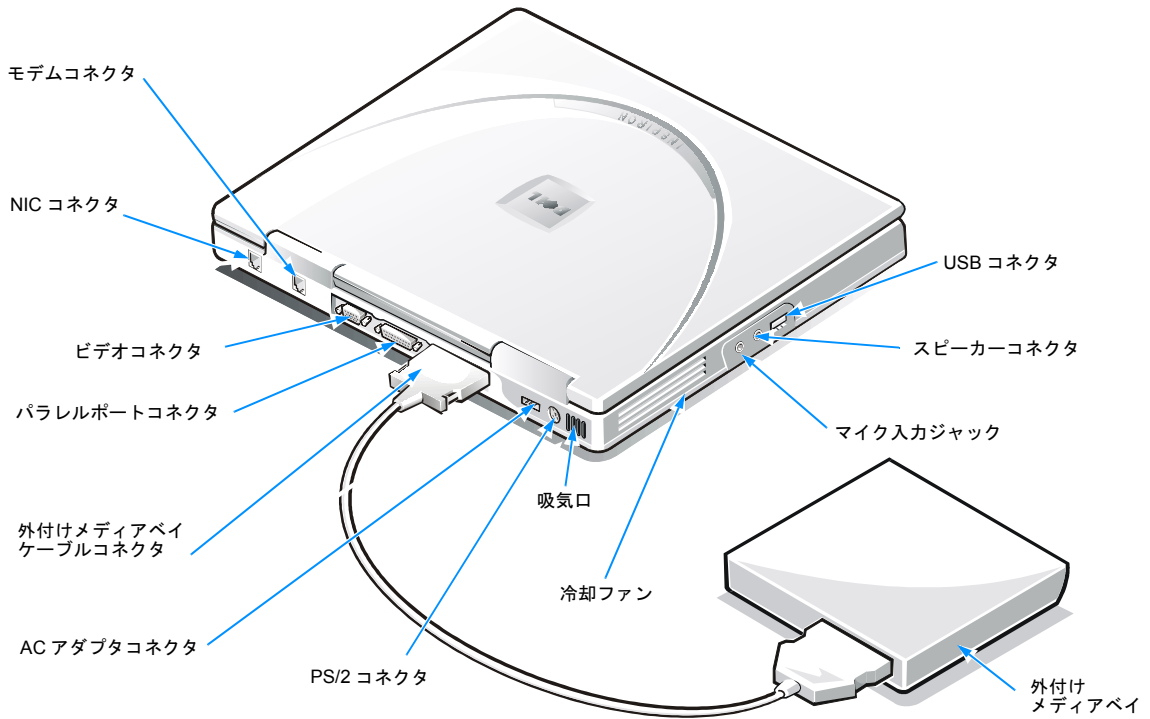


図 1-2 コンピュータの背面

## コンピュータの底面

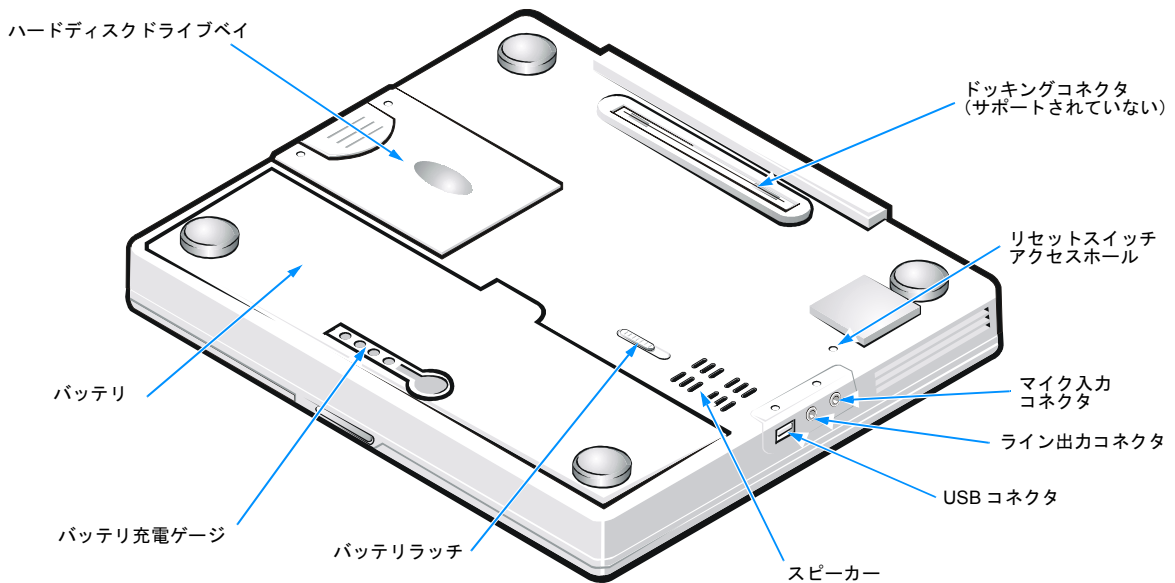


図 1-3 コンピュータの底面

## ソフトウェアの特徴

コンピュータのソフトウェアの特徴は次のとおりです。

- ハードディスクドライブにインストールされている **Microsoft Windows 98 Second Edition**、**Windows 2000** または **Windows NT** オペレーティングシステム。
- ウイルス検出ソフトウェア。
- **640 × 480** ピクセルを超えるビデオ解像度をサポートする、ビデオドライバの標準セット。
- 内蔵オーディオ機能を備えるコンピュータには、オーディオユーティリティが付属。
- **CD-ROM** ドライブまたはスピーカーなど、さまざまな種類のハードウェアデバイスとの通信方法をコンピュータに伝えるドライバ。これらのドライバの再イ



インストールが必要な場合、またはオペレーティングシステムをインストールした場合は、ご使用のコンピュータに付属の **System Software CD** を使用します。ドライバをインストールする手順については、第 4 章「システムソフトウェアへの対処」を参照してください。



**メモ** : System Software CD に含まれているドライバは、ハードディスクドライブにプリインストールされています。これらのドライバの最新バージョンを以下の Dell ウェブサイト <http://support.jp.dell.com> からダウンロードするには、File Library をクリックし、ご使用のコンピュータのモデルを選択してください。

- Microsoft Windows 98 Second Edition または Windows 2000 オペレーティングシステムを使用するコンピュータには、オプションソフトウェアの DVD デコーダドライバが付属。



**メモ** : Windows NT は DVD デコーダドライバをサポートしていません。

- バッテリーの消費電力を節約する、2 つの省電力モード、— スタンバイモードと **save-to-disk** サスペンドモード —。バッテリーが切れそうな場合は、**save-to-disk** サスペンドモードで、すべてのシステムデータをハードディスクドライブに待避してコンピュータの電源をオフにすることによって、データの損失を防ぎます。
- システム構成の情報を素早く参照して変更できる、システムセットアッププログラム。システムセットアッププログラムの使い方については、付録 B 「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
- コンピュータの各コンポーネントやデバイスを診断するための、Dell 診断プログラム。診断プログラムの使い方については、第 3 章の「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。

## ENERGY STAR<sup>®</sup> への準拠

特定の構成の Dell コンピュータシステムは、省エネコンピュータを目指した米国環境保護局 (EPA) が規定する要件を満たしています。ご使用のコンピュータの正面パネルに ENERGY STAR<sup>®</sup> エンブレム (図 1-4 を参照) があれば、このコンピュータの出荷時の構成はこの規格に準拠しており、コンピュータの ENERGY STAR<sup>®</sup> 電力管理機能のすべてが使用できます。



**メモ** : Dell Computer Corporation は、ENERGY STAR<sup>®</sup> のパートナーです。本製品はエネルギー効率に関して、ENERGY STAR<sup>®</sup> ガイドラインを満たしています。

ENERGY STAR<sup>®</sup> エンブレムの付いた Dell コンピュータは、Dell からの出荷時に EPA ENERGY STAR<sup>®</sup> の要件に従って構成されていることが証明されています。この構成になんらかの変更（拡張カードまたはドライブの増設など）をおこなうと、システムの消費電力は EPA の ENERGY STAR<sup>®</sup> Computers プログラムで設定されている限界を超えるおそれがあります。



図 1-4 ENERGY STAR<sup>®</sup> エンブレム

EPA の ENERGY STAR<sup>®</sup> コンピュータプログラムは、省エネコンピュータ製品を促進することによって大気汚染を減らすために、EPA とコンピュータメーカーが共同で作成したものです。EPA では、ENERGY STAR コンピュータ製品を使用することによって、コンピュータユーザの年間電気料が最高で 20 億ドル節約されると予測しています。この電気使用量の節減によって、温室効果の一番の原因となる二酸化炭素の発生、および酸性雨の主要な原因である二酸化硫黄と窒素酸化物の発生を減少させることができます。

またコンピュータユーザは、夜間および週末などコンピュータを長時間使用しないときに電源を切ることによって、電気使用量とそれによる悪影響を減少させることができます。

## 困ったときは

本ガイドの手順で不明な点がある場合や、コンピュータが期待通りに動作しない場合は、Dell が用意しているさまざまな支援ツールをご利用できます。詳細については、第 5 章「困ったときは」を参照してください。



## 第 2 章 オプションとアップグレード

本章では、ご使用のコンピュータ用のオプションおよびアップグレードの情報や取り付け手順について説明します。

### 利用可能なオプションとアップグレード

Dell では、以下のアップグレードオプションを用意しています。

- 増設バッテリー
- 外付けポインティングデバイス、キーボードおよび数字キーパッド
- 外付けモニタ
- 外付けスピーカー、ヘッドホン、およびマイク
- プリンタ
- ハードディスクドライブ
- CD-ROM ドライブ
- DVD-ROM ドライブ
- SuperDisk ドライブ
- AC アダプタ
- PC カード
- 64、128 および 256 MB のメモリモジュール
- キャリングケース

これらのオプションやアップグレードを注文するには、Dell へご連絡ください。注文方法については、第 5 章「困ったときは」を参照するか、システムのヘルプで「Dell へのお問い合わせ」の項を参照してください。

## AC アダプタの使い方

AC アダプタは AC 電源をコンピュータに必要である DC 電源に切り替えます。AC アダプタキットには、AC アダプタケーブルと AC 電源ケーブルの 2 本のケーブルが含まれています (図 2-1 参照)。

AC アダプタをコンピュータに接続するときは、コンピュータの電源が入っている場合と切れている場合のどちらでも構いません。

AC アダプタは世界各国のコンセントで使用できます。しかし、コンセントの形状は国によって異なります。外国で AC 電源を使用する場合は、その国に適した電源ケーブルが必要になる場合があります。



メモ： バッテリを取り付けたコンピュータを AC 電源で駆動すると、AC アダプタは バッテリを充電 (必要な場合) して、フル充電状態に保ちます。

注意： コンピュータに電源を入れたりバッテリーに充電したりする場合、AC アダプタは机の上または床上などの通気性のよい場所に置いてください。AC アダプタはキャリングケースの中など、通気性の悪い環境では使用しないでください。

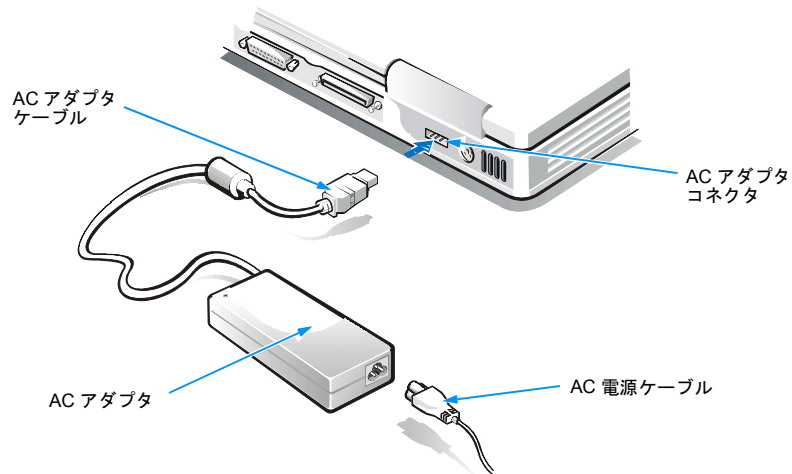


図 2-1 AC アダプタの使い方

AC アダプタをコンピュータに接続するには、次の手順を実行します。

1. AC 電源ケーブルを AC アダプタに接続します (図 2-1 参照)。
2. AC 電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
3. AC アダプタケーブルをコンピュータの AC アダプタコネクタに差し込みます。

## バッテリーの取り付け

このコンピュータのバッテリーベイには、出荷時にリチウムイオンバッテリーが取り付けられています。このバッテリーは AC 電源を使用できない場合にコンピュータに電力を供給します。

**注意：**このバッテリーは Dell Inspiron 2000 コンピュータ専用設計されています。バッテリーまたはコンピュータの損傷を避けるために、このバッテリーを他のコンピュータで使用したり、他のコンピュータのバッテリーを使用したりしないでください。

バッテリーベイのバッテリーを交換するには、以下の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。

**注意：**データの損失を避けるため、コンピュータがコンセントに接続されている場合以外は、コンピュータの電源が入っているときにバッテリーを取り外さないでください。

2. バッテリーベイからバッテリーを取り外します

- a. ディスプレイを閉じ、コンピュータを裏返します。
- b. ロック解除位置の方向にバッテリーベイラッチをスライドします (図 2-2 参照)。

バッテリーが片側に飛び出します。

- c. 片手でラッチをロック解除位置に保持したまま、バッテリーを持ち上げ、ベイから出します (図 2-2 参照)。
  - d. バッテリーを外してから、ラッチから手を離します。
3. 図 2-2 のように新しいバッテリーの位置を合わせ、バッテリーの外側の端をバッテリーコンパートメントに押し込みます。

バッテリーに付いている 4 つの小さなタブを、コンピュータの側面にある 4 つのスロットにはめ込みます。

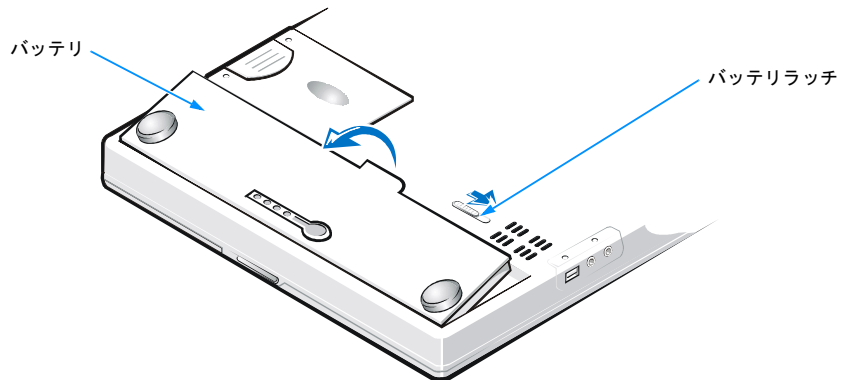


図 2-2 バッテリーの取り外し

4. バッテリーを正しい位置にしっかりと押し込み、周りの面に対して平らになるようにします。バッテリーラッチが完全に閉じていることを確認してから、コンピュータを裏返して表面を上にしてください。

## バッテリー充電ゲージ

バッテリー充電ゲージはバッテリー上にあり、コンピュータの裏側から利用できます。4つのインジケータとテストボタンが付いています。各インジケータはフル充電の25%を表しています。インジケータが1つしか点灯していない場合は、使用前に充電してください。本章で後述する「充電の割合」を参照してください。

充電レベルを確認するには、バッテリーテストボタン（図 2-3 参照）を押します。該当する数のインジケータが数秒間点灯し、バッテリーに残っている充電量が表示されます。

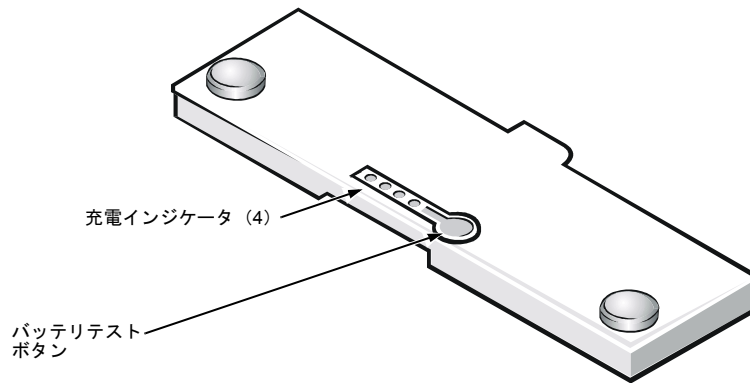


図 2-3 バッテリーの充電ゲージ



メモ：充電インジケータが短い間隔で点滅する場合は、オーバーヒートなどの一時的または復旧の可能性のある故障を示しています。充電レベルを再確認する前に、バッテリーが熱くなくなるまで数分待ちます。

バッテリーに復旧不可能な故障が生じた、あるいは完全に消耗した場合、バッテリーテストボタンを押しても充電インジケータは一つも点灯しません。バッテリーをコンピュータに取り付け、タッチパッドの前面にあるバッテリーステータスインジケータが赤になった場合、そのバッテリーは故障している、あるいは消耗し切っています。バッテリーステータスインジケータが赤になった場合、バッテリーを一晩充電し、翌日に確認します。バッテリーが完全に消耗すると、充電にかかる時間は通常よりも長くなります。

新しいバッテリーを購入するには、Dell にお問い合わせいただくか、Dell ウェブサイト <http://www.dell.com/jp/> にアクセスしてください。古いバッテリーは、付録 D の「バッテリーの処分」を参照し、適切に処分してください。

## 充電の割合

バッテリー充電ゲージは、4つのインジケータライトを使ってバッテリーに残っている充電の割合を示します。

- インジケータが1つ点灯する場合、バッテリーには1～25%の充電量が残っています。
- インジケータが2つ点灯する場合、バッテリーには26～50%の充電量が残っています。

- インジケータが3つ点灯する場合、バッテリーには51～75%の充電量が残っています。
- インジケータが4つ点灯する場合、バッテリーには76～100%の充電量が残っています。

## 外付けメディアベイケーブル

メディアベイケーブルを使用して（図 2-4 参照）、ご使用のコンピュータを外付けメディアベイの内部または外部のいずれかにあるデバイスに接続できます。

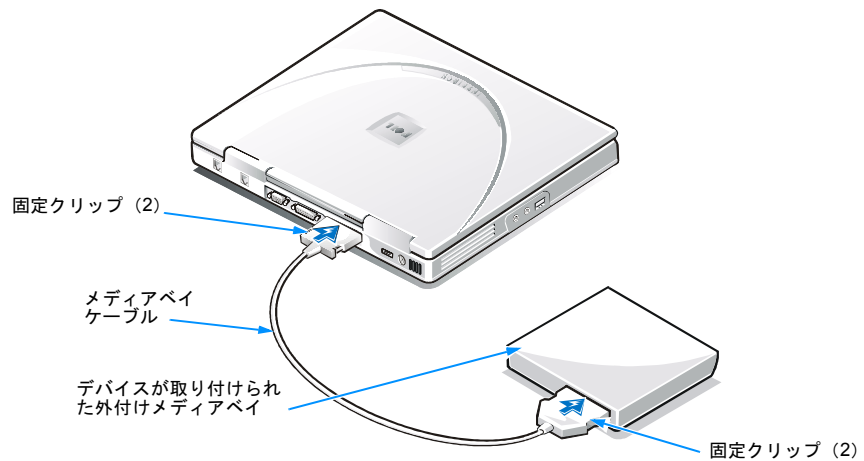


図 2-4 外付けメディアベイケーブル

ケーブルを図のように接続するには、大きい方のケーブルコネクタを金属部分が下になるようにして、メディアベイ背面のスロットを介してデバイスにしっかりと接続します。ケーブルのもう一方の端をコンピュータのメディアベイコネクタに接続します。両方の接続について、取り付けクリップが完全にかみ合っていることおよびコネクタがしっかりと固定されていることを確認してください。

ケーブルをデバイスから取り外すには、取り付けクリップを押し込みながらコネクタをまっすぐに引き抜きます。



## 外付けメディアベイの使い方

メディアベイは以下のデバイスをサポートしています。

- ディスケットドライブ
- CD-ROM ドライブ
- CD-RW ドライブ
- DVD-ROM



メモ : Microsoft Windows NT は DVD テクノロジをサポートしていないので、DVD-ROM ドライブは、Microsoft Windows 98 Second Edition または Windows 2000 が稼働するコンピュータでしか使用できません。出荷時に DVD-ROM ドライブを搭載していたコンピュータに Windows NT をインストールした場合、DVD-ROM ドライブは CD-ROM ドライブとして機能します。

- SuperDisk ドライブ
- セカンドハードディスクドライブ

コンピュータ出荷時には、ディスクドライブが外付けメディアベイに取り付けられています。

**注意 :** 外付けメディアベイコネクタに直接デバイスを接続する場合、外付けメディアベイを使わずにメディアベイケーブルを使うこともできます。

外付けメディアベイ内のデバイスを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. お使いのコンピュータで、Softex BayManager を備えたプリインストールされている Windows 98 オペレーティングシステム、または Softex Docking Services を備えたプリインストールされている Windows NT オペレーティングシステムが稼働している場合は、画面の右下角のシステムトレイにある Softex アイコン（小さなノートブックコンピュータが開いているアイコン）を右クリックして、[Remove] または [Swap Devices] または [Insert Bay Devices] のどれかをクリックします。

お使いのコンピュータで Softex BayManager が稼働していない場合は、作業中のファイルを保存し、開いているファイルや実行中のアプリケーションをすべて終了してから、コンピュータの電源を切ります。

お使いのコンピュータで Windows 2000 を稼働している場合 : メディアベイでのデバイスの交換はオペレーティングシステムがサポートしています。次の項の説明に従ってデバイス本体を取り付けたり、取り外すことはできますが、

ハードウェアの接続を切ったり、イジェクトする手順の詳細については、本項の **Softex** 用の手順の代わりに、**Windows 2000** のマニュアルを参照してください。

**注意：** デバイスが外付けメディアベイに内蔵されていない場合、デバイスは壊れやすいので、損傷を避けるために取り扱いには十分注意する必要があります。デバイスの上から押ししたり、デバイスの上に重い物を置いたりしないでください。ほこりや液体が付着しないように、予備のデバイスをトラベルケースの中に入れてください。デバイスは安全な場所で保管してください。

2. 外付けメディアベイにデバイス（図 2-5 参照）が入っている場合、以下の手順を実行してデバイスを取り出します。
  - a. ディスプレイを閉じてコンピュータを裏返します。
  - b. メディアベイラッチをロック解除アイコンの方にスライドさせます。
  - c. その位置でメディアベイラッチを保持したまま、もう片方の手でデバイスをベイから引き出します。
  - d. デバイスを取り出したら、メディアベイラッチを外します。
3. 新しいデバイスを、カチッという音がしてデバイスが完全に固定されるまで、外付けメディアベイの中へしっかりと押し込みます。
4. 電源ボタンを押すと、通常の動作に戻ります。

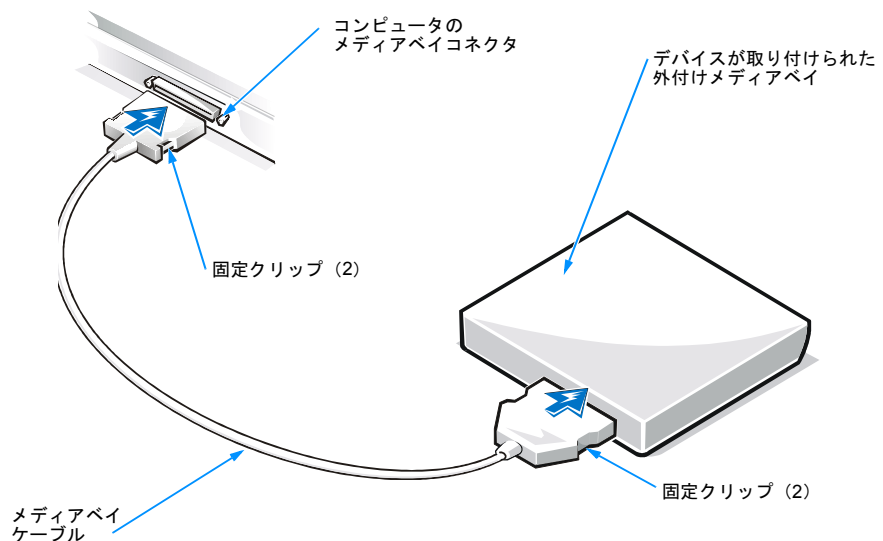


図 2-5 外付けメディアベイの接続

注意：コンピュータの極端な過熱を避けるために、コンピュータの通気孔または冷却ファンを外付けメディアベイの近くに置かないでください。

5. お使いのコンピュータに Softex Bay Manager が稼動している場合、[Softex Bay Manager] 画面で [OK] をクリックします。[Device Removal] 画面（表示された場合）で [OK] をクリックしてから、[Device Configured] 画面で [OK] をクリックします。

手順 1 でコンピュータの電源を切った場合、電源ボタンを押してもう一度コンピュータに電源を入れます。

## デバイス構成

デバイスによっては、初めてお使いになる前にそのデバイスの設定をしなければならない場合があります。詳細についてはそのデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

## Softex BayManager ソフトウェアとデバイスの取り付け

ご使用のコンピュータでは、Softex BayManager が稼動している場合があります。Softex BayManager をインストールすると、コンピュータの稼動中に外付けメディアベイにあるデバイスを変更することができます。デバイスをコンピュータに認識させるために、コンピュータをシャットダウンして再起動する必要はありません。

## ディスクドライブモジュールの外付けデバイスとしての使い方

ご使用のコンピュータの外付けメディアベイをすでに他のデバイスが使用している場合、ディスクドライブモジュールを外付けデバイスとして使用できます（図 2-6 参照）。

注意：ディスクドライブモジュールケーブルは、ディスクドライブモジュールのみに使用してください。

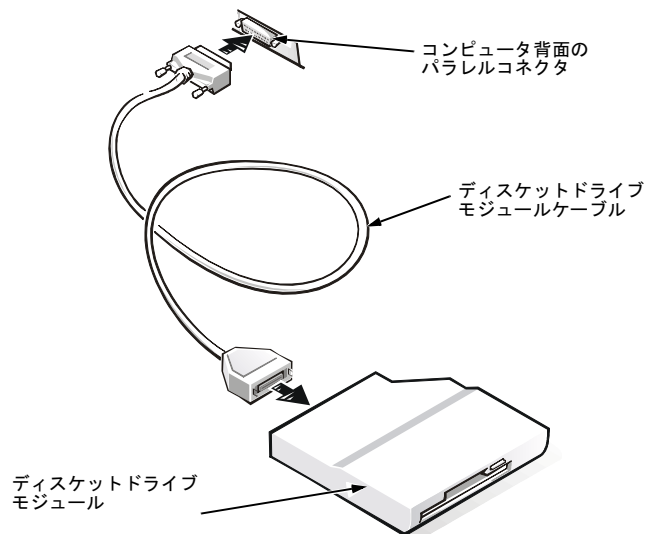


図 2-6 ディスクドライブモジュールを外付けデバイスとして接続

ディスクドライブモジュールケーブルを使用して、ディスクドライブモジュールを図のようにコンピュータ背面のパラレルコネクタに接続します。

## 内蔵ハードディスクドライブの取り付け

お使いのハードディスクドライブを取り替える前に以下の注意をよくお読みください。



**メモ：**新しいハードディスクドライブにソフトウェアをインストールするには、Microsoft Windows installation CD と System Software CD が必要です。

コンピュータの BIOS は、Dell 以外のベンダーのハードディスクドライブをサポートしていない場合があります。Dell では、そうしたドライブの互換性の保証やサポートを行っていません。

**注意：**ハードディスクドライブは非常に壊れやすいので、取り扱いには十分注意してください。ハードディスクドライブを扱うときは以下の指示に従ってください。

**注意：**ハードディスクドライブは、ドライブを保護するため、また、取り付けがしやすいように、金属製のキャリアに収められています。ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付けの際にはドライブキャリアを扱い、ドライブには直接触れないでください。

注意：ドライブは決して上から押さないでください。

注意：ドライブを落とさないでください。軽い振動や衝撃でもスピニングヘッドとプレートが損傷を受け、ドライブが動作不能になる場合があります。



警告：ハードディスクドライブが熱くてさわれない場合があります。ドライブが熱いときにコンピュータから取り外す場合は、金属製のハウジングに手を触れないでください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。

コンピュータの電源インジケータが消えるのを待ってから、次の手順に進みます。

2. ディスプレイを閉じ、コンピュータを裏返してバッテリーを取り外します。
3. ドライブベイに現在あるハードディスクドライブキャリアアセンブリを取り外します。

#0 (かなり小さめ) のプラスドライバを使って、ドライブキャリアアセンブリを固定している 2 本のネジを外します (図 2-7 参照)。ネジは後で使用するので保管しておきます。

コンピュータを裏返した状態のままで、ドライブキャリアアセンブリの 3 つのグリップを押し下げ、アセンブリを真っ直ぐ引き出して取り外します。

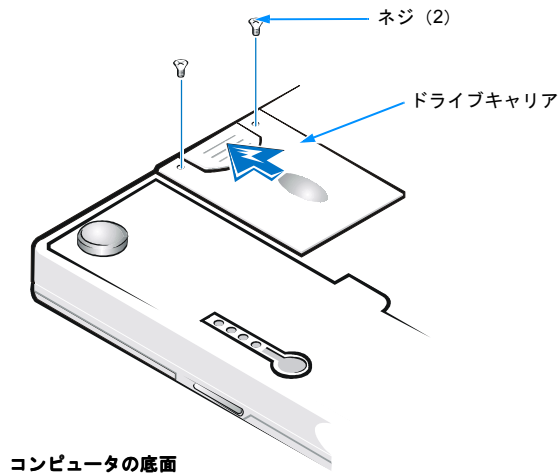


図 2-7 内蔵ハードディスクドライブの取り外し

4. 新しいハードディスクドライブを梱包から取り出します。

ハードディスクドライブを保管するときや持ち運ぶときに使用するために、梱包を保管しておいてください。

**注意：**ドライブがドライブベイに簡単に差し込めない場合は、一度引き出してから再び差し込んでください。ドライブをドライブベイに無理に押し込まないでください。

**注意：**ネジがネジ穴にまっすぐに入っていることを確認してください。ネジ穴に斜めに入っている場合は、ネジを締めないでください。ネジが簡単に締まらない場合は、一度取り外し、取り付けなおしてください。ネジを締め過ぎないようにしてください。

5. コンピュータに新しいハードディスクドライブを取り付けます（ドライブはドライブキャリアに収められています）。

ハードディスクドライブキャリアアセンブリをドライブベイに挿入します。コネクタから先に、ラベルの付いた面を下にして（ラベルがコンピュータの上部の方向を向くようにして）挿入します。カチッと音がして正しい位置にはまるまでアセンブリをまっすぐに押し下げ、アセンブリがコンピュータケースの面と平らになるようにします。

6. 手順 3 で取り外しておいたネジを締めます。

7. コンピュータの電源を入れます。

8. 第 4 章の「ハードディスクのパーティション作成と初期化」の説明に従い、ドライブのパーティション作成と初期化を行います。

9. ドライブにオペレーティングシステムをインストールします。

オペレーティングシステムのインストールについては、第 4 章「システムソフトウェアへの対処」を参照してください。

10. Dell 診断プログラムの IDE Devices デバイスグループを実行して、ドライブをテストします。

診断プログラムの実行については、第 3 章の「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。

## ハードディスクドライブの Dell への返送

ハードディスクドライブを返送する必要がある場合は、元のパッケージに梱包してください (図 2-8 参照)。正しく梱包しないと、ハードディスクドライブが輸送中に破損する場合があります。

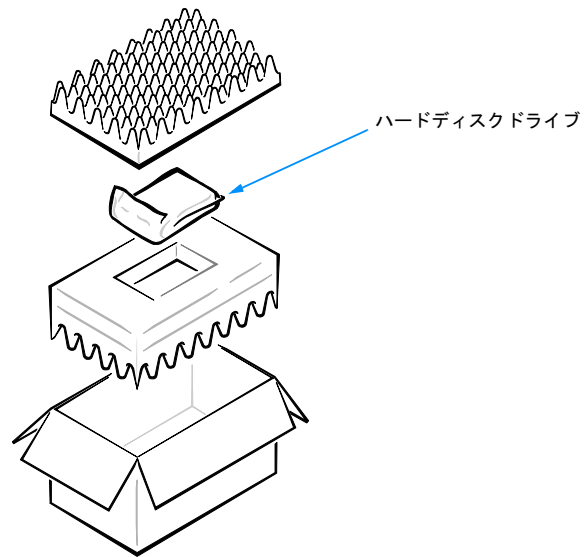


図 2-8 ハードディスクドライブの梱包

## 他の外付けデバイスの接続

ご使用のコンピュータにはさまざまな外付けデバイスを接続できます。手順については、システムヘルプの「外付けデバイスの接続」の項を参照してください。システムヘルプを参照するには、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] の [Dell Documents] をポイントして、[Dell Inspiron 2000 System Help] をクリックしてください。







## 第 3 章

# トラブルシューティング

本章では、コンピュータの基本的な問題の解決に役立つ、いくつかの初歩的なチェックや手順について説明します。さらに、もっと複雑な問題を解決するための詳細なトラブルシューティングの情報や手順についても触れています。Dell にテクニカルサポートを依頼する前に、本章に記載されているチェック項目を実行してください。これらのチェック項目の確認だけではすぐに解決できない場合でも、Dell の技術者がユーザからの問題を診断、解決する際に役立ちます。



**警告：**システム基板の損傷を防ぐため、周辺機器の取り外しは、コンピュータの電源を切って 5 秒以上経過してからおこなってください。

## 基本事項のチェック

コンピュータの初歩的なチェックをおこなうには、以下の手順を実行します。



**メモ：**コンピュータが濡れたり損傷した場合は、本章で後述する「コンピュータが濡れた場合」または「コンピュータを落とした場合や損傷を与えた場合」を参照してください。

1. 新しいハードウェアやソフトウェアをインストールした場合など、コンピュータの構成を変更した時点から問題が起こり始めた場合は、可能なら変更を元に戻してください。

問題が解決した場合は、インストールを試みたハードウェアやソフトウェアのマニュアル、または、変更内容を記載したドキュメントを確認してください。特に、ソフトウェアパッケージやハードウェア製品に付属の各種テキストファイル（`readme.txt` など）はすべて目を通してください。これらのファイルには、ソフトウェアやハードウェアのマニュアルよりも新しい情報や補足的な情報が記載されています。特に、`readme` ファイルにはインストール情報が記載され、マニュアルの作成時には文書化されていない新たな改善点や、判明した問題点が解説されています。

新しいハードウェアのインストールを試みた場合は、設定内容や利用可能なシステムリソースを再度確認してください。詳細については、ハードウェアデバイスに付属のマニュアルを参照してください。また、システムの新たなハードウェア構成を反映するように、セットアップユーティリティを正しく設定しているか確認してください（付録 B「セットアップユーティリティの使い方」を参照）。

テクニカルサポートが必要な場合は、ご購入のハードウェア製品の製造元または販売店にお問い合わせください。



メモ：DellWare™ は、そのソフトウェアの製造元がサポートします。製品のサポート情報については、DellWare の付属マニュアルを参照してください。

2. 次の「接続のチェック」で説明されている手順を実行します。
3. 本章で後述する「環境要因」に記載されている項目をチェックします。
4. 電源に問題がある場合は、本章で後述する「電源のチェック」を参照してください。
5. 表 3-1 に示す起動ルーチンの状態をチェックしてください。



メモ：起動ルーチンとは、オペレーティングシステムがハードディスクドライブまたは起動ディスク上のブートセクタから、起動ファイルを読み出してメモリへロードするプロセスです。

6. エラーメッセージが表示された場合は、付録 C「システムメッセージ」を参照してください。
7. 付録 B「セットアップユーティリティの使い方」を参照して、セットアップユーティリティでの設定とコンピュータの構成が一致しているか確認してください

8. Dell 診断プログラムを使って、コンピュータを検査します（本章で後述する「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください）。
9. それでも問題が解決しない場合は、第 5 章「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## 接続のチェック

コンピュータ、外付けモニター、または他の周辺機器（プリンタ、外付けキーボードおよびマウスなど）のケーブルの接続がゆるんでいたり、正しく接続されていないと、問題の原因となります。これらの問題は、すべてのケーブル接続を一通りチェックすることで簡単に解決できます。コネクタに小さなネジが 2 つ付いている場合は、それらをしっかりと締めます。さらに、ケーブルに破損や摩耗がないか、コネクタのピンが曲がっていないかを確認します。



メモ：コンピュータの外付けコネクタやコントロールの位置については、システムヘルプで「システムの特徴」の項を参照してください。

以下のアイテムが正しく接続および装着されていることを確認します。

- AC アダプタおよび AC 電源ケーブル
- メディアベイに装着されているセカンドバッテリーや他のオプションデバイス
- コンピュータの入出力 (I/O) コネクタやポートと外付けのデバイスを接続しているケーブル

## 環境要因

コンピュータや接続されている周辺機器の性能は、温度や湿度、磁気、電磁波障害、および入力電圧や信号レベルの不足など、さまざまな環境要因によって影響を受けます。特にモニターはこれらの環境要因の影響を受けやすくなっています。

以下の要因は、コンピュータの性能に悪影響を及ぼします。

- 机の引き出しなど、閉鎖的な空間でのコンピュータの使用による、不十分な換気
- コンピュータのオーバーヒートを引き起こす直射日光
- 配線不良による、コンセントからの回線ノイズや電圧降下およびサージ
- 電話回線を介した回線ノイズまたはサージ

- コンピュータと同一電源での高電圧機器の使用、またはコンピュータと近接した高電圧機器の使用
- 映像を損なう磁場を発生させる、スピーカー（特にサブウーハー）または電話機とモニタの近接
- 蛍光灯の光
- 電源延長ケーブルおよびキーボードやマウスの延長ケーブル
- 1つのパワーストリップに非常に多くのデバイスを配線したり、1つのコンセントに複数のパワーストリップを接続している場合
- 付近の壁に電線管が埋め込まれていたり、エレベータがある場合
- コンピュータの背後の壁に大きな金属製の柱が埋め込まれている場合

問題を起こしていると考えられる要因を排除しても問題が解決しない場合は、コンピュータを他の場所へ移動してみてください。

## 電源のチェック

コンピュータの電源に問題がある場合は、以下の作業を実行します。

- コンピュータの電源インジケータをチェックします。電源インジケータが点灯している場合は、電源ユニットが動作していることを示します。
- コンピュータがパワーストリップに接続されている場合は、パワーストリップをいったんオフにして、再びオンにします。
- 電源保護デバイスを経由せずにコンピュータをコンセントに直接接続します。
- 正常に動作することが分かっている機器（電灯など）をコンセントに接続して、電源が正常かどうか確認します。

## モデムのチェック

**注意：**モデムコネクタと NIC（network interface controller）コネクタを混同しないでください。モデムはアナログ回線にのみ接続してください。デジタル回線や PBX 回線などの非アナログ回線に接続すると、モデムが損傷を受けます。

**注意：**アナログ型電話回線を NIC コネクタに接続しないでください。コンピュータが損傷する恐れがあります。



メモ：ご使用のモデムがISP（インターネットサービスプロバイダ）またはFAX機器にダイヤルして接続できる場合は、モデムは正常に機能しています。ISPに接続できない場合は、そのISPへお問い合わせください。

モデムに問題がある場合は、以下の項目をチェックしてください。

- 同じ回線上に他の電話機器（留守番機器や専用のFAX機、または回線分岐装置など）を接続している場合は、それらを取り除きモデムケーブルを壁の電話回線コンセントに直接接続してください。
- ケーブルを接続し直します。
- 別のケーブルを接続してみます。3 m以上の長いケーブルを使用している場合は、短いケーブルに変えてみます。
- モデムから電話回線ケーブルを外して、電話機に直接接続します。ダイヤルトーンが聞こえるか確かめます。
- 回線ノイズがあると、接続速度が低くなります。問題が解決しない場合は、電話会社へ連絡してデータノイズや回線のバランスのチェックを依頼してください。

## ディスクドライブのチェック

ディスクドライブに問題がある場合は、以下の項目をチェックします。

- ディスケットにデータをコピーする場合は、そのディスクがライトプロテクト（書き込み保護）になっていないことを確認します。
- 同じドライブで他のディスクを使ってみます。そのディスクが正常に機能する場合は、元のディスクに欠陥があります。
- Dell 診断プログラムのMS-DOS® プロンプトやWindows上でドライブの動作をチェックします（本章で後述する「Dell 診断プログラムの実行」を参照）。
- 付録B「セットアップユーティリティの使い方」を参照して、セットアップユーティリティのサブメニューのPage Oneの設定を確認します。
- 本章で後述する「Dell 診断プログラムの実行」を参照して、Diskette デバイスグループを実行します。

## ディスクドライブのクリーニング

ディスクドライブは、市販のクリーニングキットを使って清掃できます。これらのキットには、通常の使用で堆積するゴミをこすらずに除去できる、トリートメント済みのディスクが入っています。

キットに手順書が付いていない場合は、トリートメント済みディスクをドライブに挿入して、システムの電源を入れます。20～30秒経過したら、ドライブからディスクを抜きます。

**注意：ドライブのヘッドを綿棒などで清掃しないでください。ヘッドの位置が狂ってドライブが動作不良を起こす恐れがあります。**

## CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのチェック

CD-ROM ドライブや DVD-ROM ドライブに問題がある場合は、以下の項目をチェックします。



**メモ：**CD-ROM メディアのバランスが良くないと、高速 CD-ROM ドライブで振動が発生するものがあります。このような振動や関連ノイズは、ドライブや CD の故障を示すものではありません。

- [マイコンピュータ] をダブルクリックして、ドライブがコンピュータに認識されているか確認します。ウイルスがブートセクタに侵入すると、CD-ROM ドライブや DVD-ROM ドライブが表示されないことがよくあります。ウイルス検出ソフトウェアを実行して、ウイルスをチェックおよび駆除してください。
- 糸くずのでない柔らかい布と、イソプロピルアルコールを使って、ディスクを清掃します。
- 前述の「ディスクドライブのクリーニング」の項を参照して、ドライブを清掃します。
- 別の CD や DVD タイトルで試してみます。



**メモ：**現在のところ、業界で異なる規格が採用されているため、DVD タイトルによってはすべての DVD-ROM ドライブで使用できない場合があります。

- 本章に後述の「Dell 診断プログラムの実行」を参照して、IDE Devices デバイスグループを実行します。

## ハードディスクドライブのチェック

ハードディスクドライブに問題がある場合は、以下の項目をチェックします。

- **Windows 98** の場合は、[スタート] ボタンをクリックして [プログラム] から [アクセサリ]、[システムツール] を選択し、[スキャンディスク] をクリックして、スキャンディスクユーティリティを実行します。
- **Windows 2000** では IRQ 割り当てを自動的に処理します。
- **Windows NT** の場合は、問題のあるボリュームのプロパティシートを開き、[ツール] タブの [エラーチェック] セクションで [チェックする] をクリックして、エラーチェックユーティリティを実行します。
- 本章に後述の「Dell 診断プログラムの実行」を参照して、IDE Devices デバイスグループを実行します。
- 付録 B 「セットアップユーティリティの使い方」を参照して、IDE Configuration サブメニューの設定を確認します。

## 目と耳によるチェック

問題の発生源を追跡する際には、システムを見たり、音を聞いたりしてチェックすることも重要です。表 3-1 に示す項目について確認してください。

それでも問題が解決しない場合は、次の「セットアップ項目」の項を参照してください。

表 3-1 起動ルーチンの確認項目

チェック事項：	処置
エラーメッセージ	付録 C 「システムメッセージ」を参照してください。
電源インジケータ	コンピュータの電源ステータスインジケータが点灯しない場合は、本章に前述の「電源のチェック」を参照してください。
キーボードステータスインジケータ	<Num Lock> キー、<Caps Lock> キー、または <Scroll Lock> キーを押して、それぞれのインジケータのオン/オフを切り替えます。インジケータが点灯しない場合は、本章に後述の「Dell 診断プログラムの実行」を参照して、Dell 診断プログラムの PC-AT Compatible Keyboards デバイスグループを実行してください。
ディスクドライブインジケータ	ディスクドライブインジケータは、ディスクドライブのデータにアクセスしているときに点灯します。このインジケータをテストするには、ディスクをドライブにセットして、MS-DOSプロンプトで dir a: と入力して <Enter> キーを押します。ディスクドライブインジケータが点灯しない場合は、本章に前述の「ディスクドライブのチェック」を参照してください。

メモ：本表で使用される略語の正式名については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。

表 3-1 起動ルーチンの確認項目（続き）

チェック事項：	処置
CD-ROM / ハードディスクドライブインジケータ	CD-ROM / ハードディスクドライブインジケータは、CD-ROM ドライブまたはハードディスク上のデータにアクセスしているときに点灯します。このインジケータをテストするには、ディスクセットをドライブにセットして、MS-DOS プロンプトで <code>dir c:</code> と入力して <Enter> キーを押します。CD-ROM / ハードディスクドライブインジケータが点灯しない場合は、本章に前述の「CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのチェック」を参照してください。
一連のビーブ音	付録 C 「システムメッセージ」を参照してください。
ドライブにアクセスしているときに聞き慣れない一定の摩擦音がする。	実行しているアプリケーションプログラムによって発生している音でないかを確認します。音はハードウェアの誤動作によって発生する場合があります。第 5 章「困ったときは」を参照して、Dell のテクニカルサポートにお問い合わせください。
聞き慣れた音が出ない	システムの電源を入れると、ハードディスクドライブの回転音が聞こえ、コンピュータはハードディスクドライブまたはディスクドライブの起動ファイルにアクセスしようとします。コンピュータが起動しない場合は、Dell のテクニカルサポートにお問い合わせください。（詳細は、第 5 章「困ったときは」を参照してください。）その他の場合は、本章に後述の「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。

メモ：本表で使用される略語の正式名については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。

## セットアップ項目

セットアップユーティリティの設定項目を確認すれば、一部のシステムの問題を簡単に解決することができます。コンピュータを起動すると、コンピュータはシステムの設定情報を参照して現在のハードウェア構成と比較します。コンピュータのハードウェア構成がセットアップユーティリティで登録されている情報と一致しないと、画面にエラーメッセージが表示される場合があります。

この問題を解決するには、セットアップユーティリティを起動して、該当するセットアップ項目を設定し直します。セットアップユーティリティとその設定項目の詳細については、付録 B 「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

セットアップ項目をチェックしても問題が解決しない場合は、本章の「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。

## ソフトウェアの問題解決

コンピュータには、一般にオペレーティングシステムの他に複数のアプリケーションプログラムがインストールされているため、ソフトウェアに起因する問題は簡単には特定できない場合があります。またソフトウェアのエラーは、ハードウェアの



誤動作のように見えることもあります。ソフトウェアの問題は、次のような原因で発生します。

- プログラムのインストールミス、または設定ミス
- 入力エラー
- 特定のアプリケーションプログラムとコンフリクトを起こす可能性のあるドライバ
- ドライバなどの常駐終了型（TSR）プログラムの使用によって引き起こされたメモリのコンフリクト
- 複数のデバイスの割り込み信号のコンフリクト

本章に後述の「Dell 診断プログラムの実行」を参照して、**System Board Devices** デバイスグループを実行することにより、コンピュータの問題がソフトウェアによって発生したものかどうかを確認することができます。デバイスグループのすべてのテストが問題なく完了すれば、問題の原因はソフトウェアであると考えられます。

ここでは、ソフトウェアの問題を分析する際の一般的な手順を示します。各プログラムのトラブルシューティングについての詳細は、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照するか、またはソフトウェアのサポートサービスにお問い合わせください。

## ソフトウェアのインストールと設定

プログラムを新たに入手したときは、コンピュータのハードディスクドライブにインストールする前に、ウイルス検出ソフトウェアを使用してプログラムがウイルスに感染していないかどうかチェックしてください。ウイルスは使用可能なシステムメモリを急速に使い尽くしたり、ハードディスクドライブ上のデータを破損／破壊したり、感染したプログラムの性能に永続的な悪影響をおよぼしたりします。ウイルス検出用プログラムには市販品もありますが、多くの **BBS**（電子掲示板サービス）から自由にウイルス検出プログラムをダウンロードできます。

ソフトウェアをインストールするときには、事前に付属のマニュアルをよく読んで、プログラムの仕組み、必要なハードウェア、デフォルト設定などを必ず確認してください。一般に、プログラムには、インストール手順が記載されたマニュアルとインストール用ソフトウェアが付属しています。

インストール用ソフトウェアは、必要なプログラムファイルをコンピュータのハードディスクドライブにコピーする手助けをします。インストール用マニュアルには、インストール用ソフトウェアを正しく実行するために、オペレーティングシステムの詳しい設定手順が記載されていることがあります。プログラムのインストールを

始める前に、必ずインストール手順の説明を読んでください。起動ファイルを修正する必要がある場合は、オペレーティングシステムに付属のマニュアルで起動ファイルの修正方法を確認してください。

インストールを実行する際には、オペレーティングシステムの設定、使用しているコンピュータの種類、コンピュータに接続されている周辺機器について、質問に答えられるように準備しておいてください。

## 起動ファイル

コンピュータを起動または再起動するたびに、オペレーティングシステムは起動ファイルに登録されているコマンドを実行します。

これらのファイルには、システムパラメータを設定してオペレーティングシステムを自動的に設定するコマンドや、メモリ常駐型プログラムを起動するコマンド、およびデバイスドライバをロードするコマンドが登録されます。プログラムのコンフリクトが発生したり、メモリエラーのメッセージが表示された場合は、オペレーティングシステムの起動ファイルに登録されているメモリ常駐型プログラムのコマンドをチェックしてください。(起動ファイルの詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください)。プログラムや周辺機器が正常に動作しない場合は、各製品に付属のマニュアルを参照して、起動ファイルの修正が必要かどうか確認してください。

## ソフトウェアの使用

ここでは、ソフトウェアの操作の過程で発生する可能性のあるエラーについて説明します。

## エラーメッセージ

エラーメッセージは、アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム、またはコンピュータによって生成される可能性があります。コンピュータによって生成されるエラーメッセージについては、付録 C 「システムメッセージ」に詳しい説明があります。付録 C に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、オペレーティングシステムまたはアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。

## 入力エラー

タイミング悪く特定のキーあるいはキーの組み合わせを押すと、プログラムが予期せぬ動作をすることがあります。文字や数値を入力するときは、アプリケーションプログラムに付属のマニュアルを参照して、プログラムをコンフリクトしないように正しく入力して下さい。

使用するプログラムがオペレーティングシステムに対応しているか確認してください。コンピュータのオペレーティングシステムのパラメータを変更するときは、プログラムの正常な動作に影響を与える可能性があることを忘れないでください。オペレーティングシステムの設定を変更すると、プログラムが正常に動作しなくなって、プログラムを再インストールする必要がある場合もあります。

## メモリ常駐型プログラム

コンピュータの起動時や、オペレーティングシステムのプロンプトでロードできる、各種のユーティリティや補助プログラムがあります。これらのプログラムは、常に使用できる状態にするためにシステムメモリに常駐するように作られています。常駐型プログラムはコンピュータのメモリに残るため、これらの常駐型プログラムによってすでに占有されているメモリの一部またはすべてを他のプログラムが要求したときに、メモリのコンフリクトやエラーが起こることがあります。

特に、オペレーティングシステムの起動ファイルには、コンピュータの起動時に実行される常駐型プログラムが登録されています。これらの常駐型プログラムのどれかがメモリのコンフリクトを起こしていると思われる場合は、それらを起動するコマンドを起動ファイルから削除してください。それで問題が再発しなくなった場合は、それらの常駐型プログラムの1つがコンフリクトの原因であると考えられます。1度に1つずつ常駐型プログラムのコマンドを起動ファイルに書き戻して、どの常駐型プログラムがコンフリクトの原因になっているのかを突き止めます。

## プログラムのコンフリクト

プログラムの中には、そのプログラムを終了した後も設定情報の一部を残したままにするものがあります。これによって別のプログラムが実行できなくなることがあります。システムを再起動することにより、それらのプログラムが問題の原因なのかどうかを確認できます。

また、プログラムの中には「ドライバ」と呼ばれるサブルーチンを使用するものがあり、これによって問題が発生する場合があります。たとえば、外付けモニタへのデータ転送方式が複数ある場合は、特定のビデオモードやモニタ用のドライバプログラムが必要になることがあります。このような場合には、そのドライバプログラ

ム専用の起動ファイルを作成するなどして、プログラムの実行方法を特別に用意しなければならないこともあります。詳しくはソフトウェアの製造元までお問い合わせください。

## 割り込み要求のコンフリクト回避策

2つのデバイスが同じ IRQ ラインを使用しようとする、問題が起きます。このようなコンフリクトを避けるには、装着されている各デバイスのマニュアルを参照して、各デバイスが使用する IRQ ラインのデフォルト設定を調べます。さらに、表 3-2 を参照して、使用できる IRQ ラインのいずれかにデバイスを設定します。



メモ：取り付けられているデバイス間で同じ COM ポートアドレスを共有することはできません。お使いコンピュータのシリアルポートのデフォルトアドレスは COM1 です。

メモ：Microsoft Windows 98 の IRQ ラインの割り当てを表示させるには、[スタート] ボタンから [設定] を選択し、[コントロールパネル] をクリックします。[システム] アイコンをダブルクリックします。[デバイスマネージャ] タブを選択し、次に [コンピュータ] をダブルクリックします。

表 3-2 IRQ ラインの割り当て

IRQ ライン	使用済み/使用可能
IRQ0	システムタイマが使用
IRQ1	キーボードコントローラがキーボード出力バッファの満杯を知らせるために使用
IRQ2	セカンド割り込みコントローラからのカスケード
IRQ3	使用可能
IRQ4	シリアルポートに使用可能。ただし、シリアルポートが COM1 あるいは COM3 に設定されていない場合
IRQ5	使用可能
IRQ6	ディスクドライブがマイクロプロセッサに処理を求める際の信号として、ディスクドライブコントローラが使用
IRQ7	パラレルポートに使用可能。ただし、パラレルポートが無効の場合。
IRQ8	システム I/O コントローラの RTC (real time clock) が使用
IRQ9	ACPI モードの SCI

メモ：本表で使用される略語の正式名については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。

表 3-2 IRQ ラインの割り当て（続き）

IRQ ライン	使用済み／使用可能
IRQ10	PCI IRQ A, B, C, D
IRQ11	使用可能
IRQ12	キーボードコントローラが内蔵タッチパッドまたは外付け PS/2 マウス用の出力バッファの満杯を知らせるために使用
IRQ13	数値演算コプロセッサが使用
IRQ14	ハードディスクドライブが自身に関するマイクロプロセッサの不具合を知らせるために使用
IRQ15	外付けメディアベイに装着されている CD-ROM または DVD-ROM ドライブが自身に関するマイクロプロセッサの不具合を知らせるために使用

メモ：本表で使用される略語の正式名については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。

## IRQ コンフリクトの解決

デバイスが Windows 98 プラグアンドプレイセットアップ中に検出されないか、または検出されても正しく構成されていない場合、Windows 98 IRQ コンフリクトが発生します。コンフリクトを確認するには、以下の手順を実行します。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントして [コントロールパネル] をクリックします。
2. [コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックします。
3. [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
4. [デバイスマネージャ] 一覧で、他のデバイスとのコンフリクトを確認します。

コンフリクトは、コンフリクトしているデバイスの横に付いている黄色の感嘆符 (!) で、またはすでにそのデバイスが使用できない場合は赤の X 印で表示されます。

5. コンフリクトしているデバイスをダブルクリックして [プロパティ] ウィンドウを開き、再設定または Device Manager からの削除が必要なものを判断します。特定のデバイスをチェックする前にこれらのコンフリクトを解決します。
6. [デバイスマネージャ] 一覧の異常が発生しているデバイスの種類をダブルクリックします。
7. 展開された一覧で特定のデバイスのアイコンをダブルクリックします。

該当するプロパティのウィンドウが表示されます。

8. IRQ コンフリクトが発生している場合、プロパティのウィンドウの [デバイスの状態] エリアに、デバイスの IRQ を共有している拡張カードまたはデバイスが表示されます。IRQ コンフリクトを解決します。

また、Windows 98 のトラブルシューティングのハードウェアの競合も使用できます。[スタート] メニューの [ヘルプ] をクリックして、[目次] タブの [トラブルシューティング] をクリックします。次に [Windows 98 のトラブルシューティング] をクリックし、[ハードウェアの競合] をクリックします。

Windows NT を使用していてリソースコンフリクトの疑いがある場合、[管理者ツール (共通)] フォルダの [イベントビューア] を開き、関連するイベントログのメッセージを確認します。[管理者ツール (共通)] フォルダの [Windows NT 診断プログラム] を起動し、[リソース] タブで現在のリソース割り当てを確認します。次に [サービス] タブをクリックし、[サービス] と [状態] を表示します。

## コンピュータが濡れた場合

コンピュータが液体、水滴、しぶき、雨、および高い湿度にさらされると損傷を受ける可能性があります。コンピュータが濡れたり、高い湿度のためコンピュータに結露が生じた場合は、以下の手順を実行します。



**警告：**以下の手順 1 は、必ず安全であることを確かめた上でおこなってください。コンピュータがコンセントに接続されている場合は、回路ブレーカで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルを抜いてください。濡れたケーブルをコンセントから抜くときは細心の注意を払ってください。

1. コンピュータの電源を切って、コンピュータから AC アダプタを取り外します。その後、AC アダプタのケーブルをコンセントから抜きます。接続されているすべての周辺機器の電源を切り、各々の電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いて、コンピュータからすべての周辺機器を外します。
2. コンピュータ背面の金属製コネクタの 1 つに触れて、体の静電気を逃がします。
3. メディアベイが濡れた場合は、ベイからデバイスを取り外します。PC カードスロットが濡れた場合は、すべての PC カードを取り外します。濡れたデバイスやカードは安全な場所に置いて乾かします。
4. バッテリーを取り外します。

取り外したバッテリーを拭いてから、安全な場所に置いて乾かします。

5. ハードディスクドライブを取り外します。

取り外し手順については、第 2 章の「内蔵ハードディスクドライブの取り付け」を参照してください。

6. ディスプレイを開いて、間をおいて並べた本などの上にコンピュータを置き、コンピュータの周りの換気をよくします。コンピュータは 24 時間以上乾かします。

コンピュータを乾燥した室温の部屋に置きます。このとき、ドライヤなどでコンピュータを無理に乾かささないでください。



**警告：以降の手順を実行する前に、コンピュータが完全に乾いたかどうか確認してください。**

7. I/O パネルの塗装されていない金属製コネクタの 1 つに触れて、体の静電気を逃がします。
8. ハードディスクドライブを取り付けます。
9. 手順 3 でメディアベイから取り外したデバイスおよび PC カードを取り付けます。
10. 手順 4 で取り外したバッテリーを取り付けます。
11. コンピュータと周辺機器の電源ケーブルをコンセントに接続して、電源を入れます。
12. コンピュータが起動できる状態なら、Dell 診断プログラムを実行して、コンピュータの損傷部分を探してください。損傷のあるコンポーネントを判別できない場合は、Dell のテクニカルサポートへお問い合わせください（詳細は、第 5 章「困ったときは」を参照してください）。

## コンピュータを落とした場合や損傷を与えた場合

コンピュータを落とした場合や損傷を与えた場合は、以下の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存して閉じ、開いているアプリケーションプログラムをすべて閉じて、コンピュータを終了します。
2. コンセントからコンピュータの接続を解除します。その後、AC アダプタのケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータに接続されているすべての周辺

機器の電源を切って、各々の電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いて、コンピュータからすべての周辺機器を外します。

3. コンピュータ背面の金属製コネクタの1つに触れて、体の静電気を逃がします。
4. バッテリおよび外付けメディアベイを取り外します。
5. ハードディスクドライブを取り外します。

取り外し手順については、第2章の「内蔵ハードディスクドライブの取り付け」を参照してください。

6. ハードディスクドライブを装着し直します。
7. 装着されているPCカードがPCカードコネクタに正しく接続されているか確認します。
8. バッテリを取り付け直します。
9. コンピュータと周辺機器の電源ケーブルをコンセントに接続して、電源を入れます。
10. Dell 診断プログラムを実行して、コンピュータが正常に動作するか確認します。(手順に関しては、本章に後述の「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。)
11. コンピュータが正常に動作しない場合は、第5章にある、診断チェックリストをコピーして記入してください。それから Dell のテクニカルサポートへお問い合わせください。(詳細は、第5章「困ったときは」を参照してください。)

## Dell 診断プログラムの実行

Dell 診断プログラムは、一般的な診断プログラムとは異なり、コンピュータのハードウェアをチェックする際に専用の装置を接続する必要がなく、データを破壊する危険性もありません。Dell 診断プログラムを使用することで、コンピュータシステムの信頼性を一層高めることができます。診断テストによってご自身で解決できない問題が検出された場合でも、Dell のサービス部門やサポート部門へ問い合わせる際に必要な情報が得られます。

**注意** : Dell 診断プログラムは、Dell コンピュータのみで使用してください。他のコンピュータで使用するとコンピュータから間違った応答をひきおこしたり、エラーメッセージが出る場合があります。



Dell 診断プログラムでは、一連のメニューやオプション項目を使って特定のデバイスグループやサブテストを選択できるようになっています。テストの実行順序を指定することもできます。また、診断デバイスグループあるいはサブテストには、次の便利な機能もあります。

- テストを個別にまたはまとめて実行できるオプション
- テストグループまたはサブテストを繰り返す回数を選択できるオプション
- テスト結果を表示および印刷する機能、またはファイルに保存する機能
- エラーが検出された場合にテストを一時的に中断するオプション、または最大エラー数に達したときにテストを終了するオプション（最大エラー数は変更可能）
- それぞれのテストとパラメータの簡単な説明を表示する **Device** メニュー項目
- 選択されたデバイスグループのデバイス構成を示す **Config** メニュー項目
- デバイスグループまたはサブテストが正常に完了したかどうかを示すステータスメッセージ
- 問題が検出された場合に表示されるエラーメッセージ

コンピュータの主要コンポーネントやデバイスが正しく機能しない場合は、コンポーネントが故障している可能性があります。コンピュータのマイクロプロセッサと I/O 装置（ディスプレイ、キーボード、ディスクドライブなど）が機能している場合は、Dell 診断プログラムを使用して問題を調べることができます。どのコンポーネントをテストする必要があるのか分かっている場合は、該当する診断テストグループまたはサブテストだけを選択してください。どのようにして診断を始めたらいかが分からない場合は、次の各項をお読みください。

## Dell 診断プログラムの起動

以下の手順に従って診断を開始してください。

1. コンピュータの電源を入れるか、コンピュータを再起動します。
2. Dell のロゴ画面で <F2> キーを押し、セットアップメニューを表示させます。ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムがメモリへのロードを始めたら、コンピュータがロードを完了するまでお待ちください。ロードが完了したら、コンピュータをシャットダウンして、もう一度最初から始めます。

3. セットアップユーティリティの Boot 画面で、以下の起動順序を設定します。

- 取り外し可能デバイス
- ATAPI CD-ROM ドライブ
- ハードディスク
- LAN への起動

セットアップユーティリティの使い方についての詳細は、付録 B 「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

4. 変更を保存し、セットアップユーティリティを閉じます。

5. Dell System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。

コンピュータにディスクドライブが接続されている場合は、ドライブにディスクが挿入されていないことを確認します。

6. コンピュータを再起動します。Dell 診断プログラムが自動的に実行されます。



メモ : Dell 診断プログラムが実行されたら、起動順序を変更し、手順 1 ~ 4 を繰り返してコンピュータを再起動します。

次の項の説明を読む前に、実際に Dell 診断プログラムを起動して画面で確認するとよいでしょう。

診断プログラムを起動すると、まず Dell のロゴが画面に表示され、プログラムがロードされていることを示すメッセージが表示されます。

プログラムのロードが終了すると、[Diagnostics Menu] が表示されます (図 3-1 参照)。このメニューでは、すべて、または特定の診断テストを実行したり、MS-DOS プロンプトへ戻ることができます。

コンピュータのクイックチェックをおこなうには、[Quickly Test All Devices] 項目を選択します。このオプションでは、ユーザからの情報入力が不要で、時間がかからないサブテストだけが実行されます。初めにこのオプションを選択して、問題の発生源を手早く絞り込むようにすることもできます。コンピュータのシステム全体をチェックする場合には、[Fully Test All Devices] 項目を選択します。コンピュータの特定の領域を検査するには、[Select Devices to Test] 項目を選択します。

このメニューからオプションを選択するには、項目をハイライト表示して <Enter> キーを押すか、または選択するオプションのハイライト表示されている文字に対応するキーを押します。

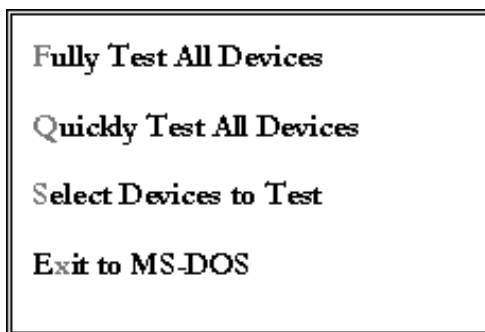


図 3-1 Diagnostics (診断) メニュー

## Dell 診断プログラムのメイン画面

[Diagnostics Menu] から [Select Devices to Test] を選択すると、診断プログラムのメイン画面が表示されます (図 3-2 参照)。メイン画面では、診断テストのデバイスグループや、選択されたデバイスグループの各デバイスが表示され、項目を選択することができます。

診断プログラムのメイン画面では、以下の情報が表示されます。

- 画面の一番上の 2 行には、Dell 診断プログラムのバージョン番号が表示されます。
- 画面左側の [Device Groups] 領域には、実行される診断デバイスグループの一覧が表示されます。[Run Tests] メニューで [All] を選択すると、表示されている順番でテストグループが実行されます。テストデバイスグループを選択するには、  
< ↑ > キーまたは < ↓ > キーを使用します。
- 画面右側の [Devices for Highlighted Group] 領域には、コンピュータが現在検出しているハードウェアとその関連する設定の一覧が表示されます。
- 画面の一番下の 2 行はメニュー領域です。1 行目には、選択できるメニュー項目が表示され、< ← > キーまたは < → > キーを押して項目を選択できます。2 行目には、現在選択されている項目に関する情報がハイライト表示されます。



メモ：画面に表示されるオプションには、コンピュータのハードウェア構成が反映されています。

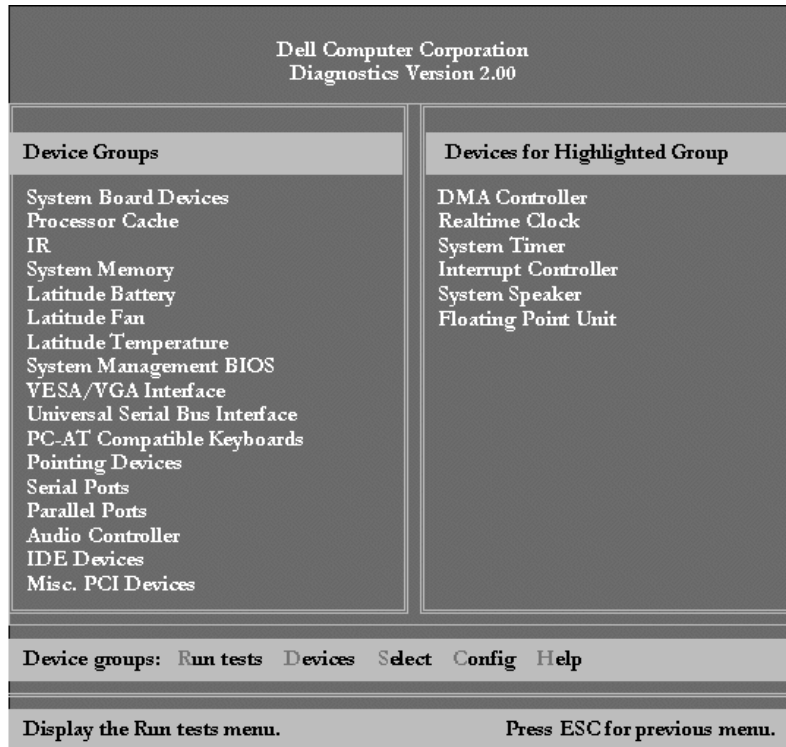


図 3-2 Dell 診断プログラムのメイン画面の例

## システム設定情報の確認

System Software CD からコンピュータを起動すると、診断プログラムによりシステム情報がチェックされ、その内容がメイン画面の [Device Groups] 領域に表示されます。

診断プログラムは、次の情報を元にして設定をチェックします。

- セットアップユーティリティで選択したシステム設定情報の設定（不揮発性ランダムアクセスメモリ [NVRAM] に格納されています）
- マイクロプロセッサ、ビデオコントローラ、キーボードコントローラ、およびその他の主要コンポーネントの識別テスト
- RAM に一時保存されている BIOS 設定情報

[Device Groups] 領域に、コンピュータシステムを構成するすべてのコンポーネントやデバイスの名前が表示されていない場合でも問題はありません。たとえば、プ

プリンタが接続されていても、プリンタは表示されないことがあります。この場合、プリンタはパラレルポートとして表示されます。コンピュータはパラレルポートを、出力情報の送信先と入力情報の送信元を知らせるアドレス LPT1 として認識します。プリンタはパラレル通信装置であることから、コンピュータはプリンタをそのアドレス LPT1 として認識し、それをパラレルポートとして識別しているのです。

**Parallel Ports** テストでプリンタの接続をテストできます。

## Dell 診断プログラムのヘルプメニューの使い方

メニュー形式の 6 つの総合オンラインヘルプ項目には、プログラムの使い方と各メニュー項目、テストグループ、サブテスト、およびテスト結果とエラーの説明があります。ヘルプメニューを開くには、次の手順を実行します。

1. [Diagnostics Menu] (診断メニュー) で [Select Devices to Test] をハイライト表示します。
2. <Enter> キーを押します。
3. <h> キーを押します。

Help メニューのオプションは、Menu (メニュー) Keys (キー) , Device group (デバイスグループ) ,Device (デバイス) , Test (テスト)、および Versions (バージョン) です。オンラインヘルプでは、テストするデバイスについての詳細な説明も参照できます。次に、Help オプションについて説明します。

### Menu (メニュー)

Menu 項目には、メインメニュー画面領域、Device Group、およびほかの診断メニューとコマンドの説明、それらを使用するための手順が書かれています。

### Keys (キー)

Keys (キー) 項目では、Dell 診断プログラムで使用できるすべてのキーの機能についての説明を参照できます。

### Device Group (デバイスグループ)

Device Group 項目は、メインメニュー画面の Device Group 一覧で現在ハイライト表示になっているテストグループを説明しています。そのテストを使用する理由も記載されています。

## Device (デバイス)

Device (デバイス) 項目はオンラインヘルプの中の学習目的の項で、Device Groups 領域で選択されたデバイスの機能や目的について参照できます。たとえば、Device Groups 一覧で Diskette の Device Help を選択すると、次のような情報が表示されます。

### Diskette drive A:

The diskette disk drive device reads and writes data to and from diskettes. Diskettes are flexible recording media, sometimes contained in hard shells. Diskette recording capacities are small and access times are slow relative to hard disk drives, but they provide a convenient means of storing and transferring data.

(ディスクドライブはディスクを読み書きするためのデバイスです。ディスクは持ち運びできる記録メディアで、固定ケースに収納される場合もあります。ハードディスクドライブと比べてディスクの記録容量は小さく、アクセスタイムも遅いですが、データの保存や転送がとても簡単です。)

## Test (テスト)

Test 項目は、現在ハイライト表示されているテストグループのサブテストそれぞれについて、テスト手順全体の流れを説明しています。Diskette サブテストの中の Diskette Drive Seek Test を例として以下に示します。

### Diskette drive A: - Diskette Drive Seek Test

This test verifies the drive's ability to position its read/write heads. The test operates in two passes: first, seeking from the beginning to ending cylinders inclusively, and second, seeking alternately from the beginning to ending cylinders with convergence towards the middle.

(このテストは、ドライブの読み書き用ヘッドの位置決め能力をテストします。テストは2段階で行われます。最初に、シリンダの内部を先頭から最後までチェックし、次に、シリンダの先頭から最後まで、外周から内周に向かってチェックします。)

## Versions (バージョン)

Versions (バージョン) 項目では、Dell 診断プログラムで使用されているサブテストのバージョン番号を表示します。



## 第 4 章 システムソフトウェアへの対処

本章では、Microsoft Windows 98 Second Edition、Windows 2000 または Microsoft Windows NT オペレーティングシステムが稼動している Dell 製のコンピュータに、Dell のデバイスドライバおよびユーティリティを再インストールする手順を説明します。以下のような場合に、この章を参照することが必要となります。

- コンピュータに付属していた Windows オペレーティングシステムを再インストールするので、Dell から提供されるドライバとユーティリティも再インストールの必要がある場合。
- 新しいハードディスクドライブを取り付けたので、すべてのシステムソフトウェアをインストールする必要がある場合。

### Windows 98 オペレーティングシステムのインストール

デバイスドライバをインストールする前に、Windows 98 をハードディスクドライブにインストールする必要があります。

1. 以下の手順で示されるように、Microsoft Windows 98 起動ディスクをディスクドライブに挿入します。
2. コンピュータを再起動します。
3. [Microsoft Windows 98 Startup] メニューが表示されたら、Microsoft Windows 98CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。
4. [Start Windows 98 Setup from CD-ROM] を選択して、<Enter> キーを押します。

セットアッププログラムが、ScanDisk を実行してハードディスクドライブをチェックします。

5. ハードディスクドライブのチェックが完了したら、x と入力して ScanDisk を終了します。
6. 画面の指示に従って、インストールを続行します。
7. 起動ディスクの作成を促す画面が表示されたら、Microsoft Windows 98 起動ディスクを取り出し、[次へ] をクリックします。
8. 画面の指示どおりに記入したラベルをフォーマット済みのブランクディスクケットに貼り、ディスクケットドライブに挿入して、[OK] をクリックします。
9. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

## Windows 98 用ドライバおよびユーティリティのインストール

Dell でインストールしたデバイス用のドライバは、コンピュータがお手元に届いた時点ですべて稼動するようになっており、さらにインストールや設定を行なう必要はありません。しかし、これらのドライバのどれかを再インストールする必要がある場合には、ドライバのファイルは **System Software CD** にあります。特定のドライバを再インストールする手順については、適切な項目を参照してください。

デバイスで問題が発生した問題は、適切なドライバを再インストールすれば修正できることがよくあります。また、ハードウェアの製造元は、頻繁にドライバをアップデートして、機能を強化したり問題を修正したりしています。Dell から購入された製品のドライバのアップデート版は、Dell のウェブサイトのサポートセクション (<http://support.jp.dell.com>) で入手できます。

**注意** : Dell のウェブサイトで入手できるドライバは、Dell 製のシステム上で正常に動作することが確認されています。他から入手したドライバをインストールすると、エラーが起こったり性能が低下したりするおそれがあります。

この手順を始める前に、**CD-ROM** ドライブまたは **DVD-ROM** ドライブを含む外付けメディアベイがコンピュータに接続されていること、およびコンピュータがコンセントに接続されていることを確認してください。

システムソフトウェアをインストールするには、以下のものがが必要です。

- System Software CD
- コンピュータの外付けメディアベイに取り付けた **CD-ROM** ドライブまたは **DVD-ROM** ドライブ



- Microsoft Windows 98 CD
- Microsoft Windows 98 起動ディスク

以下の項では、System Software CD に収められている、Windows 98 Second Edition オペレーティングシステムが稼動するシステム用のドライバおよびユーティリティのインストール手順を説明します。

## ビデオドライバのインストール (Windows 98)

ビデオドライバは、ビデオ解像度やカラーパレットなどの機能を制御します。



メモ：拡張ビデオモードを使用する必要がある場合は、アプリケーションプログラムのマニュアルを参照して、ドライバが付属しているかどうか確認してください。付属していない場合は、ソフトウェアの製造元にお問い合わせの上、必要なドライバを入手してください。

Windows 98 用のビデオドライバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。  
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。
4. [画面] アイコンをダブルクリックします。  
[画面のプロパティ] ウィンドウが表示されます。
5. [設定] タブをクリックし、[詳細] をクリックします。
6. [アダプタ] タブをクリックして [変更] をクリックします。
7. [デバイスドライバの更新ウィザード] が表示されたら、[次へ] をクリックします。
8. [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。
9. ドライバの場所を尋ねられたら、[検索場所の指定] をクリックします。
10. x:¥win98¥video と入力します。xはお使いのドライブのドライブ文字です。その後 [次へ] をクリックします。

11. [デバイスドライバの更新ウィザード] ウィンドウで、[次へ] をクリックしてファイルのコピーを始めます。その後 [完了] をクリックします。
12. コンピュータを再起動するか尋ねられたら、CD を取り出して [はい] をクリックします。

ビデオドライバをインストールして、コンピュータを再起動したら、以下の手順でディスプレイのパラメータを設定します。

1. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。

[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

2. [画面] アイコンをダブルクリックします。

[画面のプロパティ] ウィンドウが表示されます。

3. [設定] タブをクリックします。
4. [色] オプションを [256 色 High Color (16 bit)] に変更します。
5. [画面の領域] を 800 × 600 ピクセルに設定します。
6. [適用] をクリックします。

## 内蔵モデムドライバのインストール (Windows 98)

モデムドライバを使用するとお使いの内蔵モデムドライバの動作をカスタマイズできます。内蔵モデムドライバをインストールすると電話回線を介して情報の送信や受信ができます。内蔵モデムドライバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。
3. [コントロールパネル] で、[システム] アイコンをダブルクリックします。
4. [デバイスマネージャ] タブをクリックします。

[種類別に表示] (デフォルト) が選択されていることを確認します。

5. デバイスの一覧で、[その他のデバイス] をダブルクリックしてから [PCI Communication Device] をクリックします。
6. [削除] をクリックして、[デバイス削除の確認] ウィンドウで [OK] をクリックします。
7. [閉じる] をクリックします。
8. [コントロールパネル] を閉じます。
9. コンピュータをシャットダウンしてから再起動します。
10. コンピュータが再起動すると、まず [新しいハードウェア] ウィンドウ、次に [新しいハードウェアの追加ウィザード] ウィンドウが表示されます。[次へ] をクリックします。
11. [新しいハードウェアの追加ウィザード] ウィンドウで、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、次に [次へ] をクリックします。
12. [フロッピーディスクドライブ] を選択から外します。
13. [検索場所の指定] を選択し、ダイアログボックスで x:¥win98¥modem¥ と入力します。x は CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのドライブ文字です。
14. [次へ] をクリックします。
15. アップデートされたドライバの名前 (LT Win Modem) が表示されたら、[次へ] をクリックします。

システムはお使いのハードディスクドライブにドライバをコピーします。
16. [新しいハードウェアの追加] ウィンドウでインストールが完了したことを知らせるプロンプトが表示されたら、[完了] をクリックします。
17. アップデートされたドライバの名前 (Wave Device for Voice Modem) が表示されたら、[次へ] をクリックします。
18. [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択して、[次へ] をクリックします。
19. [フロッピーディスクドライブ] チェックボックスをクリックしてチェックを外します。

20. [検索場所の指定] を選択し、ダイアログボックスで x:¥win98¥modem¥ と入力します。x は CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのドライブ文字です。次に [次へ] をクリックします。

Windows は [Voice Modem Serial Wave Device] というドライバを設置します。

21. [次へ] をクリックします。

ファイルがハードディスクドライブにコピーされたら、モデムドライバのインストールが完了しました。

22. [完了] をクリックします。

## オーディオドライバのインストール (Windows 98)

オーディオドライバを使用すると、コンピュータのサウンド機能をカスタマイズできます。オーディオドライバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。
3. [システム] アイコンをダブルクリックします。
4. [デバイスマネージャ] タブをクリックします。

[種類別に表示] (デフォルト) が選択されていることを確認します。

5. デバイスの一覧で [その他のデバイス] をダブルクリックしてから、[PCI Multimedia Audio Device] をクリックします。
6. [削除] をクリックして、[デバイス削除の確認] ウィンドウで [OK] をクリックします。
7. [閉じる] をクリックします。
8. [コントロールパネル] を閉じます。
9. コンピュータをシャットダウンしてから再起動します。

[新しいハードウェア] ウィンドウが表示され、次に [新しいハードウェアの追加ウィザード] ウィンドウが表示されます。

10. System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入して、[次へ] をクリックします。
11. [新しいハードウェアの追加ウィザード] ウィンドウで、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択して、[次へ] をクリックします。
12. [フロッピーディスクドライブ] を選択から外します。
13. [検索場所の指定] を選択し、ダイアログボックスで `x:¥win98¥audio`  
`¥language` と入力します。x は CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのドライブ文字です。language は選択した言語です。
14. [次へ] をクリックします。
15. アップデートされたドライバの名前 [NeoMagic MagicMedia 256 Audio] が表示されたら、[次へ] をクリックします。
16. ファイルがハードディスクドライブにコピーされたら、[新しいハードウェアの追加ウィザード] ウィンドウでインストールが完了したことを知らせるプロンプトが表示されます。[完了] をクリックします。
17. コンピュータをシャットダウンして再起動します。

## タッチパッドドライバのインストール (Windows 98)

タッチパッドドライバおよび関連ユーティリティは、内蔵タッチパッドまたは外付けマウスを使用、およびカスタマイズできます。タッチパッドドライバをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックして [ファイル名を指定して実行] をクリックします。  
  
[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。
4. `x:¥win98¥touchpad¥language¥setup` と入力します。x は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。language は選択した言語です。
5. [OK] をクリックします。

6. 画面の手順に従います。
7. ファイルがハードディスクドライブにコピーされたら、System Software CD を CD-ROM ドライブから取り出し、[完了] をクリックしてコンピュータを再起動します。

## Softex BayManager のインストール (Windows 98)

Softex BayManager ソフトウェアはコンピュータをシャットダウンしたり再起動したりすることなくメディアペイデバイスを交換させることができます。例えば、Softex BayManager ソフトウェアを使って、ディスクドライブが取り付けられた状態でコンピュータを起動し、安全にそのディスクドライブを取り外して CD-ROM ドライブを取り付けることができます。コンピュータは CD-ROM ドライブを自動的に認識します。

Softex BayManager をインストールするには、以下の手順を実行します。

1. CD-ROM、DVD-ROM、または CD-RW ドライブがメディアベイに取り付けられていることを確認します。
2. コンピュータの電源を入れて、CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに System Software CD を挿入します。
3. `x:¥win98¥bayman¥setup` と入力します。x は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。[OK] をクリックして <Enter> キーを押します。
4. 画面の手順に従い、インストールを完了します。

## NIC ドライバのインストール (Windows 98)

NIC ドライバをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。
3. [コントロールパネル] で、[システム] アイコンをダブルクリックします。
4. [デバイスマネージャ] タブをクリックします。[種類別に表示] (デフォルト) が選択されていることを確認します。

5. デバイスの一覧で、[その他のデバイス] をダブルクリックしてから [PCI Ethernet Controller] をクリックします。
6. [削除] をクリックし、[デバイス削除の確認] ウィンドウで [OK] をクリックします。
7. 画面で指示されたらコンピュータをシャットダウンして再起動します。  
まず [新しいハードウェア] ウィンドウ、次に [新しいハードウェアの追加ウィザード] ウィンドウが表示されます。
8. CD-ROM または DVD-ROM ドライブに System Software CD を挿入し、[次へ] をクリックします。
9. [新しいハードウェアの追加ウィザード] ウィンドウで [特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する] を選択して [次へ] をクリックします。[ディスク使用] をクリックし、  
x:¥win98¥network¥disk1 と入力します。x は CD-ROM または DVD-ROM ドライブのドライブ文字です。次に [OK] をクリックします。
10. ディスク 2 のプロンプトが表示されたら x:¥win98¥network¥disk2 と入力します。x は CD-ROM または DVD-ROM ドライブのドライブ文字です。次に [OK] をクリックします。
11. アップデートされたドライバの名前 [3C920 Integrated Fast Ethernet Controller (3C905CTX Compatible)] が表示されたら、[OK] をクリックし、ドライバが検出されたら [次へ] をクリックしてインストールを実行します。
12. インストールが完了したら、[完了] タブをクリックします。
13. コンピュータを再起動するか尋ねられたら、[はい] をクリックします。

## システムユーティリティのインストール (Windows 98)

システムユーティリティを使うと、S2D (save-to-disk) サスペンドファイルなどを設定できます。ハードディスクドライブにシステムユーティリティをコピーするには、次の手順を実行します。



メモ : System Software CD からシステムユーティリティを、直接実行することも可能です。

1. CD-ROM ドライブに、System Software CD を挿入します。

2. System Software CD に収められている各ユーティリティを、ハードディスクドライブの c:\dell ディレクトリにコピーします。ユーティリティのファイル名は、次のとおりです。mks2d.exe、rms2d.exe、asset.com、readme.s2d。

ファイルのコピーについての詳細は、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

ハードディスクドライブにコピーしたユーティリティを使用するには、コンピュータを MS-DOS モードで再起動する必要があります。

## Windows NT 用ドライバおよびユーティリティのインストール

この項では、Microsoft Windows NT 4.0 が稼動する Dell 製ノートブックコンピュータに、ドライバとユーティリティを再インストールする方法について説明します。



メモ：Microsoft Windows NT 4.0 オペレーティングシステムおよび Service Pack 5 がインストールされていることを確認してから、デバイスドライバを再インストールしてください。

システムソフトウェアをインストールするには、以下のものがが必要です。

- Microsoft Windows NT 4.0 CD
- Microsoft Windows NT 4.0 Service Pack 5 CD
- System Software CD
- CD-ROM ドライブ (装着済み)
- フォーマット済みディスク× 1

以下の項では、Windows NT 4.0 オペレーティングシステムが動作するシステムで使用するための System Software CD に収められているドライバおよびユーティリティのインストール手順について説明します。



メモ：ドライバとユーティリティを正しくインストールするために、必ず本書で説明されている順にインストールしてください。



## ビデオドライバのインストール (Windows NT)

ビデオドライバは、ビデオ解像度やカラーパレットなどの機能を制御します。



メモ：拡張ビデオモードを使う必要がある場合は、アプリケーションプログラムのマニュアルを参照して、ドライバが付属しているかどうかを確認してください。ドライバが付属していなければ、そのソフトウェアの製造元に問い合わせる必要のあるドライバを入手してください。

Windows NT 4.0 用のビデオドライバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。

[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

4. [画面] アイコンをダブルクリックします。

[画面のプロパティ] ウィンドウが表示されます。

5. [ディスプレイの設定] タブをクリックします。

6. [ディスプレイの種類] をクリックします。

[ディスプレイの種類] ウィンドウが表示されます。

7. アダプタの種類の [変更] をクリックします。

[ディスプレイの変更] ウィンドウが表示されます。

8. [ディスク使用] をクリックします。

9. [フロッピーディスクからインストール] フィールドで x:¥winnt4¥video を参照します。x は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。その後 [OK] をクリックを押します。

10. [ディスプレイの変更] ウィンドウが表示されたら、[NeoMagic MagicMedia 256AV] がハイライト表示されていることを確認して、[OK] をクリックします。

11. サードパーティのドライバがインストールされることを知らせるメッセージの後、作業を続行するかどうか尋ねられたら [はい] をクリックします。

お使いのハードディスクドライブにファイルがコピーされたことを示すプログレスバーが表示されます。ドライバが適切にインストールされると、[ドライバのインストール] ウィンドウが表示されます。

12. [ドライバのインストール] ウィンドウで [OK] をクリックします。

13. [ディスプレイの種類] ウィンドウで [閉じる] をクリックします。

14. [画面のプロパティ] ウィンドウをクリックします。

15. CD を取り出してコンピュータを再起動すると、ドライバを起動します。

ビデオドライバをインストールしたり、コンピュータを再起動した後、以下の手順を実行してディスプレイのパラメータを設定します。

1. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。

[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

2. [画面] アイコンをダブルクリックします。

[画面のプロパティ] ウィンドウが表示されます。

3. [設定] タブをクリックします。

4. [カラーパレット] オプションを [256 色] から [65,536 色] に変更します。

5. [デスクトップの領域] を 800 × 600 ピクセルに設定します。

6. [適用] をクリックします。

## 内蔵モデムドライバのインストール

モデムドライバをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。

3. [スタート] ボタンをクリックしてから、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。

4. x:¥winnt4¥modem¥setup と入力します (x はお使いのドライブのドライブ文字です)。次に [OK] をクリックして <Enter> キーを押します。
5. 画面の指示に従います。
6. お使いのハードディスクドライブにファイルがコピーされたら、[完了] をクリックします。

## オーディオドライバのインストール (Windows NT)

オーディオドライバをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があります。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。

4. [マルチメディア] アイコンをダブルクリックします。

[マルチメディアのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

5. [デバイス] タブをクリックします。
6. [追加] をクリックします。
7. [一覧にない、または更新されたドライバ] 項目をクリックして [OK] をクリックします。

[ドライバのインストール] ダイアログボックスが表示されます。

8. x:¥winnt4¥audio (x はドライブ文字です) と入力して、[OK] をクリックします。

[一覧にない、または更新されたドライバの追加] ウィンドウが表示されます。

9. [NeoMagic MagicMedia 256] がハイライト表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

[オーディオ] ダイアログボックスが表示されます。

#### 10. [OK] をクリックします。

インストールが完了したら、CD を取り出してコンピュータを再起動するとドライバが起動します。

### タッチパッドドライバのインストール (Windows NT)

タッチパッドドライバおよび関連ユーティリティは、内蔵タッチパッドまたは外付けマウスを使用、およびカスタマイズできます。タッチパッドドライバをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックして [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。

4. `x:\¥winnt4¥touchpad¥language¥setup` (`x` はドライブ文字で、`language` は選択した言語です) と入力します。[OK] をクリックするか <Enter> キーを押します。
5. 画面の指示に従います。
6. 画面で指示されたら、CD を取り出してコンピュータを再起動するとドライバが起動します。

### パワーマネージメント設定ユーティリティのインストール (Windows NT)

パワーマネージメント設定ユーティリティを使用すると、コンピュータのバッテリー電力の節約をしたり、バッテリーの残量をチェックしたりできます。パワーマネージメント設定ユーティリティをインストールするには以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3. [スタート] ボタンをクリックして [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。

4. x:¥winnt4¥pwrnmgt¥setup と入力します。x は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。[OK] をクリックするか <Enter> キーを押します。
5. 画面の指示に従います。
6. 再起動するよう指示されたら、CD-ROM ドライブから System Software CD を取り出し、コンピュータを再起動してユーティリティを起動します。

## Softex BayManager のインストール (Windows NT)

Softex BayManager ソフトウェアをインストールするには以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があります。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. ブラウザで x:¥winnt4¥bayman¥setup を検索し (x はドライブ文字で)、[OK] をクリックするか <Enter> キーを押します。
4. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

## PC カード設定ユーティリティのインストール (Windows NT)

PC カード設定ユーティリティを使用すると、取り付けられている PC カードの設定を参照、および変更することができます。PC カード設定ユーティリティをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があります。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックして [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。

4. x:¥winnt4¥pccard¥setup と入力します。x は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。[OK] をクリックするか <Enter> キーを押します。
5. 画面の指示に従います。
6. コンピュータを再起動します。  
  
コンピュータが起動を完了したら、[Softex PC Card Controller Diagnostics] ウィンドウが表示されます。
7. 画面の指示に従います。

## NIC ドライバのインストール (Windows NT)

NIC ドライバをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。
2. System Software CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックして [ファイル名を指定して実行] をクリックし、x:¥winnt4¥network¥setup と入力します。x は CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのドライブ文字です。次に [OK] をクリックします。
4. [WinZip の自己解凍] ウィンドウで、[解凍] をクリックします。
5. ファイルが c:¥winnt4¥network ディレクトリに抜き出されたら、[OK] をクリックします。
6. [WinZip の自己解凍] ウィンドウで [閉じる] をクリックします。
7. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。
8. [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
9. [ネットワーク] ウィンドウで [アダプタ] タブをクリックし [追加] ボタンをクリックします。
10. [ネットワークアダプタの選択] ウィンドウで [ディスク使用] を選択します。

11. [フロッピーディスクの挿入] ウィンドウで c:\¥winnt4¥network を入力して [OK] をクリックし、ファイルのコピーを始めます。
12. [OEM オプションの選択] ウィンドウで [3com Etherlink PCI NIC] を選択して [OK] をクリックします。
13. [ネットワーク] ウィンドウを閉じます。
14. コンピュータを再起動するよう指示されたら、[Yes] をクリックします。

## Windows 2000 用ドライバおよびユーティリティのインストール

この項では、Microsoft Windows 2000 オペレーティングシステムが稼動する Dell ノートブックコンピュータに、デバイスドライバとユーティリティを再インストールする方法について説明します。

システムソフトウェアをインストールするには、以下のものがが必要です。

- System Software CD
- CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブ（コンピュータのメディアベイに取り付けられているもの）
- Microsoft Windows 2000 CD

以下の項では、Windows 2000 オペレーティングシステムが動作するシステムで System Software CD に収められているドライバおよびユーティリティをインストールする方法について説明します。



メモ：ドライバとユーティリティを正しくインストールするために、必ず本書で説明されている順にインストールしてください。

### オーディオドライバのインストール（Windows 2000）

オーディオドライバを使用するとサウンド機能をカスタマイズできます。オーディオドライバをインストールするとモデムドライバもインストールされ、電話回線を介して情報の送信や受信ができます。オーディオドライバおよびモデムドライバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. 開いているアプリケーションプログラムの作業データをすべて保存します。インストール手順の最後にコンピュータを再起動する必要があるためです。

2. System Software CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
3. [スタート] ボタンをクリックしてから、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。  
  
[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。
4. x:¥win2000¥audio¥setup と入力します。x は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。[OK] をクリックするか、<Enter> キーを押します。
5. 画面の指示に従います。
6. お使いのハードディスクドライブにファイルがコピーされたら、CD-ROM ドライブから System Software CD を取り出し、[完了] をクリックしてコンピュータを再起動します。

## Save-to-Disk サスペンドユーティリティ (Windows 98 および Windows NT 用)

S2D (save-to-disk) サスペンドユーティリティを使うと、必要に応じてファイルシステムの S2D パーティションを管理できます。たとえば、ハードディスクドライブのスペースを他の用途に使う必要がある場合、S2D パーティションを削除できます。また、S2D ユティリティを使って、削除したパーティションを再作成できます。

お使いのコンピュータで Windows 98 または Windows NT を稼働している場合のみ、S2D パーティションを使用してください。

## Save-to-Disk サスペンドファイルと Save-to-Disk サスペンドパーティションの作成と削除

新しいハードディスクドライブを取り付けたり、ハードディスクドライブをフォーマットしてやり直す場合、S2D モード (Windows 98 オペレーティングシステムでは休止状態と呼ばれています) を使えるようにするには、ハードディスクドライブに S2D ファイル、あるいは S2D パーティションを作成する必要があります。どちらを作成するかは、お使いのオペレーティングシステムによって異なります。S2D モードを起動した場合、すべてのシステムデータは S2D ファイル、あるいは S2D パーティションに保存されます。



メモ : Windows 2000 でも休止状態 (S2D) 機能を使用できますが、オペレーティングシステムが自動的に休止状態ファイルを作成します。





## Windows 98 用 Save-to-Disk サスペンドファイルの作成と削除

メモ：次の手順は、お使いのハードディスクドライブがすでにパーティション分割され、フォーマット済みであることを前提としています。ドライブのパーティション分割と、フォーマットの方法については、オペレーティングシステムとお使いのドライブのマニュアルの両方を参照してください。

Windows 98 オペレーティングシステムを稼働しているコンピュータに S2D ファイルを作成するには、以下の手順を実行します。

1. Dell System Software CD を CD-ROM または DVD-ROM ドライブに挿入します。
2. コンピュータの電源を入れるか、コンピュータを再起動します。
3. Dell のロゴ画面が表示されたらすぐに <F2> キーを押し、セットアップユーティリティを起動します。ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムがメモリにロードされ始めたら、コンピュータがロードを完了するまで待ちます。それからコンピュータをシャットダウンして、もう一度始めます。
4. [Boot] 画面を表示し、[ATAPI CD-ROM Drive] を選択して起動順序の最初の位置に移動します。
5. <F10> キーを押して設定を保存し、セットアップユーティリティを終了します。コンピュータが再起動し、自動的に Dell 診断プログラムを実行します。
6. x と入力して MS-DOS モードに切り替えます。
7. cd¥win98¥util と入力して <Enter> キーを押します。
8. phdisk /create /file と入力し、<Enter> キーを押します。



メモ：スラッシュ (/) の前にはスペースを入力してください。

お使いのコンピュータのシステムメモリの容量をもとに、ユーティリティが計算したファイルのサイズ (MB) に、ビデオメモリと追加のシステム要件を処理するための 2 MB が足されます。

9. 画面の指示に従って、S2D ファイルを作成します。
10. S2D ファイルのサイズを確認するには、MS-DOS プロンプトで phdisk/info と入力し、<Enter> キーを押します。

11. S2D ファイルを削除するには、MS-DOS プロンプトで

phdisk /delete /file と入力し、<Enter> キーを押します。

メモ：S2D ファイルはお使いのコンピュータのルートディレクトリにあります。オペレーティングシステムの設定によっては、隠しファイルである可能性があります。誤ってこのファイルを削除しないでください。

デフォルトの起動順序に戻すには、以下の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れるか、コンピュータを再起動します。
2. Dell のロゴ画面が表示されたらすぐに <F2> キーを押し、セットアップユーティリティを起動します。ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムがメモリにロードされ始めたら、コンピュータがロードを完了するまで待ちます。それからコンピュータをシャットダウンして、もう一度始めます。
3. [Boot] 画面を表示し、<F9> キーを押してデフォルトの起動順序に戻します。
4. <F10> キーを押して設定を保存し、セットアップユーティリティを終了します。

## Windows NT 用 S2D パーティションの作成と削除

次の手順は、お使いのハードディスクドライブのパーティションが削除してあり、アンフォーマットがすでに済んでいるか、あるいはドライブ上に最低 150 MB のパーティション分割されていないスペースがあることを前提としています。ドライブのパーティション分割と、フォーマットの方法については、オペレーティングシステムとお使いのドライブのマニュアルを両方とも参照してください。

Microsoft Windows NT が稼動しているコンピュータに S2D パーティションを作成するには、以下の手順を実行します。

1. Dell System Software CD を CD-ROM あるいは DVD-ROM ドライブに挿入します。
2. コンピュータの電源を入れるか、コンピュータを再起動します。
3. Dell のロゴ画面が表示されたらすぐに <F2> キーを押し、セットアップユーティリティを起動します。ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムがメモリにロードされ始めたら、コンピュータがロードを完了するまで待ちます。それからコンピュータをシャットダウンして、もう一度始めます。
4. [Boot] 画面を表示し、[ATAPI CD-ROM Drive] を選択して起動順序の最初の位置に移動します。

5. <F10> キーを押して設定を保存し、セットアップユーティリティを終了します。
6. コンピュータが再起動し、自動的に Dell 診断プログラムを実行します。
7. x と入力して MS-DOS モードに切り替えます。
8. cd¥winnt4¥util と入力し、<Enter> キーを押します。
9. phdisk/create/partition と入力し、<Enter> キーを押します。

お使いのコンピュータのシステムメモリの容量をもとに、ユーティリティが計算したパーティションのサイズ (MB) に、ビデオメモリと追加のシステム要件を処理するための 2 MB が足されます。

10. 画面の指示に従って、S2D パーティションを作成します。
11. S2D パーティションのサイズを確認するには、MS-DOS プロンプトで phdisk/info と入力し、<Enter> キーを押します。
12. S2D パーティションを削除するには、MS-DOS プロンプトで phdisk/delete/ partition と入力し、<Enter> キーを押します。



メモ：S2D パーティションはお使いのコンピュータのルートディレクトリにあります。オペレーティングシステムの設定によっては、隠しファイルである可能性があります。誤ってこのファイルを削除しないでください。

デフォルトの起動順序に戻すには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れるか、コンピュータを再起動します。
2. Dell のロゴ画面が表示されたらすぐに <F2> キーを押し、セットアップユーティリティを起動します。ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムがメモリにロードされ始めたら、コンピュータがロードを完了するまで待ちます。それからコンピュータをシャットダウンして、もう一度始めます。
3. [Boot] 画面を表示し、<F9> キーを押してデフォルトの起動順序に戻します。
4. <F10> キーを押して設定を保存し、セットアップユーティリティを終了します。

## Dell へのお問い合わせ

Dell のテクニカルサポートウェブサイト (<http://support.jp.dell.com>) では、ドライバおよびユーティリティのアップデートを始めとして、コンピュータに関するテクニカルサポートを提供しています。





## 第 5 章 困ったときは

本章では、コンピュータに障害が発生したときに Dell がお客様を支援するために提供するツールについて説明します。また、テクニカルサポートやカスタマーサポートへのお問い合わせについても説明します。

### テクニカルサポート

技術的な問題が発生し、テクニカルサポートが必要な場合は、次の手順に従ってください。

1. 第 3 章「トラブルシューティング」を参照して、トラブルシューティングを実行します。
2. 第 3 章の「Dell 診断プログラムの実行」を参照して、Dell 診断プログラムを実行します。
3. 診断チェックリスト（本章の後半にあります）をコピーして必要事項を記入します。
4. Dell のウェブサイト（<http://support.jp.dell.com>）にも、インストールやトラブルシューティング手続きについての詳細なオンラインサービス情報があります。詳細については、本章で後述する「ウェブサイト」を参照してください。
5. 今までの手順で障害が解決しない場合は、Dell のテクニカルサポートサービスにご連絡ください。

テクニカルサポートサービスへのお問い合わせ手順については、本章で後述する「テクニカルサポートサービス」および「お問い合わせになる前に」を参照してください。

## ヘルプツール

さまざまなサポートツールが用意されています。次にこれらのツールについて説明します。



メモ：以下のいくつかのツールは、北米以外の地域では使用できない場合があります。使用できるかどうかについては、Dell の営業担当者までお問い合わせください。

## ウェブサイト

インターネットはご使用のコンピュータや Dell の製品に関する情報を得るための強力なサービスのひとつです。Dell のインターネットサイトを介して、Faxbox サービス、ご注文状況、テクニカルサポートや製品情報などにアクセスできます。

<http://support.dell.com> で Dell のサポートウェブサイトアクセスできます。国を選択するには、表示されている地図をクリックします。サポートトップページが開きます。ご使用のシステム情報を入力すると、ヘルプツールや情報をご利用になれます。

## ご注文に関するお問い合わせ

お客様のご注文に関して、部品の不足、部品の間違い、請求書の間違いなど、問題がある場合は、カスタマーケアまでご連絡ください。ご連絡の際は、請求書または伝票をお手元にご用意ください。カスタマーケアの電話番号については、本章で後述する「お問い合わせ番号」を参照してください。

## 製品情報について

Dell のオプション製品や、そのご購入に関するお問い合わせは、本コンピュータをお買い上げいただいた際の担当営業までお問い合わせください。電話番号については、本章で後述する「お問い合わせ番号」を参照してください。

## 製品の修理のための返送（引き取り修理対応機種）

Dell テクニカルサポート担当者は、ご使用のコンピュータに関する問題の解決にあたりますが、修理が必要と判断された場合は修理のためにシステムやその備品を返送していただくことがあります。

1. テクニカルサポートにお電話ください。システムを引き取りに伺う日程、システム梱包用の箱の有無、引き取る場所、連絡先を確認させていただきます。システムに同梱すべきものがある場合は、その際にご案内いたします。
2. 指定の日、指定の場所に提携宅配業者がシステムを引き取りにお伺いします。梱包用の箱をお持ちの場合は、それまでにシステムの梱包を終えておいてください。また、サービスタグナンバー（Service Tag #・5桁の英数字で、通常バーコードが記載された細長いシール上に書かれています。このシールは、ノートパソコンの場合はシステムの底面、デスクトップパソコンの場合は本体の背面あるいは側面に貼られています）をお手元に控えておかれるようお願いいたします。このサービスタグナンバーはシステムに関するお問い合わせの際に必要です。

## 修理以外の理由で製品を返品する場合

1. はじめに弊社の営業（担当営業）にご連絡ください。弊社から製品返送用のRMAナンバー（返却番号）をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでください。
2. 製品返却手続きのご案内用紙をファックス（または郵送）でお送りします。返却する製品を、購入時に入っていた箱に梱包し、上記のご案内用紙から返却シートを切り離して箱に貼付します。マシン本体の返品の場合は、返却手続きのご案内に記載されているサービスタグナンバーと、製品に貼付されているサービスタグナンバーが一致しているか、必ずご確認ください（サービスタグナンバーに関しては「製品の修理のための返送」の手順2を参照してください）。電源コード、ソフトウェアディスク、マニュアルなどの添付品も全て製品に同梱してください。
3. 集荷依頼窓口に電話し、集荷希望の日時・場所を伝えます。

運送中に破損、紛失、盗難などに遭った場合、弊社では一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

以上の条件が満たされていない場合は、そのままお客様へ返送させていただくことがあります。

## お問い合わせになる前に

必ず診断チェックリスト（図 5-1）に記入してください。テクニカルサポートにお問い合わせになるときは、コンピュータの電源を入れ、コンピュータに最も近い電話を使用してください。担当者のご案内によりコマンドを入力していただいたり、システムの動作に関する詳しい内容を担当者にお知らせいただいたり、コンピュータに対してトラブルシューティングを行っていただく場合もあります。また、システムに関連するマニュアルを必ずお手元にご用意ください。



**警告：** コンピュータカバーを取り外さなければならないときは、まずすべてのコンセントからシステムの電源ケーブルとモデムケーブルを外してください。



## 診断チェックリスト

お名前： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_

ご住所： \_\_\_\_\_ 電話番号： \_\_\_\_\_

サービスタグ番号（コンピュータ背面のバーコード）： \_\_\_\_\_

製品返送ナンバー（弊社テクニカルサポートが発行した場合のみ）： \_\_\_\_\_

オペレーティングシステム名とバージョン番号： \_\_\_\_\_

周辺機器： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

拡張カード： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ネットワークに接続していますか？  はい  いいえ

ネットワーク、バージョン、およびネットワークカード： \_\_\_\_\_

プログラムとバージョン： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

システム起動ファイルの内容を確定するためにお使いのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタが接続されている場合は、それぞれのファイルを印刷してください。プリンタが接続されていない場合は、お問い合わせの前にそれぞれのファイルの内容を書き出しておいてください。

エラーメッセージ、ビープコード、および診断コード： \_\_\_\_\_

障害の説明と実行したトラブルシューティング手順： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

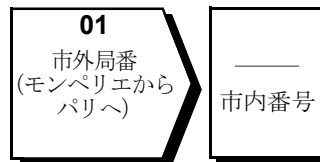
図 5-1 診断チェックリスト

## Dell へのお問い合わせ

Dell へお問い合わせになる場合は、表 5-1 および表 5-2 に記載されている電話番号、コード、電子アドレスをご利用ください。表 5-1 は、長距離電話と国際電話をおかけになる際に必要なコードの一覧です。表 5-2 は、世界各国の支所またはサービス拠点の、市外局番、フリーダイヤル番号、ウェブサイトおよび電子メールアドレスの一覧です。おかけになる電話番号がサービスエリア外の場合は、使用するコードを表 5-1 で、それぞれの電話番号を表 5-2 でお調べください。たとえば、フランスのパリからイギリスのブラックネルへ電話する場合は、次の図のように、フランスの国際電話アクセスコード、イギリスの国番号、ブラックネルの市外局番、最後に電話番号になります。



それぞれの国内から長距離電話をかける場合は、国際電話アクセスコードと国番号、および相手国の市外局番の代わりに、国内の市外局番を使用します。たとえば、フランス国内でモンテペリエからパリに電話をかけるには、以下の図のように、市外局番、市内電話番号の順にダイヤルします。



使用する番号は、電話をかける相手先と電話する場所によって決まります。また、それぞれの国でダイヤルする方法が異なる場合があります。電話のかけ方がわからない場合は、現地または国際通話のオペレータにお尋ねください。



メモ：各国でのサポートやサービスは、その国の言語で対応させていただきます。また、フリーダイヤルの電話番号は、各国内からのみ通話可能です。

表 5-1 国際電話コード

国（都市）	国際電話 アクセスコード	国番号	市外局番
オーストラリア（シドニー）	0011	61	2
オーストリア（ウィーン）	900	43	1
ベルギー（ブリュッセル）	00	32	2
ブラジル	0021	55	51
ブルネイ	—	673	—
カナダ（オンタリオ州ノース ヨーク）	011	—	不要
チリ（サンチアゴ）	—	56	2
中国（廈門）	—	86	592
チェコ共和国（プラハ）	00	420	2
デンマーク（オスロ）	009	45	不要
フィンランド（ヘルシンキ）	990	358	9
フランス（パリ）（モンペリ エ）	00	33	(1) (4)
ドイツ（ランゲン）	00	49	6103
香港	001	852	不要
アイルランド（ブレイ）	16	353	1
イタリア（ミラノ）	00	39	2
日本（川崎）	001	81	44
韓国（ソウル）	001	82	2
ルクセンブルグ	00	352	—
マカオ	—	853	不要
マレーシア（ペナン）	00	60	4
メキシコ（コロニアグラナダ）	95	52	5
オランダ（アムステルダム）	00	31	20
ニュージーランド	00	64	—
ノルウェー（リサケー）	095	47	不要
ポーランド（ワルシャワ）	011	48	22
シンガポール（シンガポール）	005	65	不要

表 5-1 国際電話コード（続き）

国（都市）	国際電話 アクセスコード	国番号	市外局番
南アフリカ（ヨハネスブルグ）	09/091	27	11
スペイン（マドリード）	07	34	91
スウェーデン（アップランズ ヴェスビー）	009	46	8
スイス（ジュネーブ）	00	41	22
台湾	002	886	—
タイ	001	66	—
イギリス（ブラックネル）	010	44	1344
アメリカ（テキサス州オース チン）	011	1	不要

表 5-2 お問い合わせ番号

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号または フリーダイヤル番号
日本 （川崎）	テクニカルサポート (Dimension および Inspiron™) .....		フリーダイヤル: 0120-1982-56 または 0088-25-3355
	2000 年問題サポート .....	044	556-4298
	カスタマーケア .....	044	556-4240
	ダイレクトセールス部 .....	044	556-3344
	法人営業部 .....	044	556-3433
	LCA 営業部 .....	044	556-3430
	Faxbox サービス .....	03	5972-5840
	代表 .....	044	556-4300
	ウェブサイト : <a href="http://support.jp.dell.com">http://support.jp.dell.com</a>		

表 5-2 お問い合わせ番号（続き）

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
オーストラリア （シドニー）	Home and Small Business		1-300-65-55-33
	Government and Business	フリーダイヤル	1-800-633-559
	PAD（優先アカウント部門）	フリーダイヤル	1-800-060-889
	カスタマーケア	フリーダイヤル	1-800-819-339
	法人セールス	フリーダイヤル	1-800-808-385
	トランザクションセールス	フリーダイヤル	1-800-808-312
	Fax	フリーダイヤル	1-800-818-341
オーストリア （ウィーン） メモ：オーストリアからテクニカルサポート、カスタマーケアにお問い合わせの場合は、ドイツの番号をご利用ください。	Home/Small Business セールス	01	795 567602
	Home/Small Business Fax	01	795 67605
	Home/Small Business カスタマーケア	01	795 67603
	優先アカウント／法人カスタマーケア		0660 8056
	Home/Small Business テクニカルサポート	01	795 67604
	優先アカウント／法人カスタマーテクニカルサポート		0660 8779
	代表	01	491 04 0
	ウェブサイト： <a href="http://support.euro.dell.com/at">support.euro.dell.com/at</a> 電子メール： <a href="mailto:tech_support_germany@dell.com">tech_support_germany@dell.com</a>		
ベルギー （ブリュッセル）	テクニカルサポート	02	481 92 88
	カスタマーケア	02	481 91 19
	Home/Small Business セールス	フリーダイヤル	0800 16884
	法人セールス	02	481 91 00
	Fax	02	481 92 99
	代表	02	481 91 00
	ウェブサイト： <a href="http://support.euro.dell.com/be">support.euro.dell.com/be</a> 電子メール： <a href="mailto:tech_be@dell.com">tech_be@dell.com</a>		
ブラジル	セールス、カスタマーサポート およびテクニカルサポート		0080 90 3355
	ウェブサイト： <a href="http://www.dell.com/br">http://www.dell.com/br</a>		

表 5-2 お問い合わせ番号 (続き)

国 (都市)	部署名/サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
<b>ブルネイ</b>  メモ:ブルネイからセールス、カスタマーケア、テクニカルサポートにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	カスタマーテクニカルサポート (マレーシア、ペナン).....		810 4966
	カスタマーサービス (マレーシア、ペナン).....		810 4949
	トランザクションセールス (マレーシア、ペナン) .....		810 4955
<b>カナダ</b> (オンタリオ州ノースヨーク)  メモ:カナダからTechConnect BBS におかけになる場合はアメリカの番号をご利用ください。	自動オーダーステータスシステム.....	フリーダイヤル:	1-800-433-9014
	AutoTech (自動テクニカルサポート).....	フリーダイヤル:	1-800-247-9362
	カスタマーケア (トロント以外から).....	フリーダイヤル:	1-800-387-5759
	カスタマーケア (トロント内から).....	416 .....	758-2400
	カスタマーテクニカルサポート .....	フリーダイヤル:	1-800-847-4096
	セールス (ダイレクトセールス — トロント外から) .....	フリーダイヤル:	1-800-387-5752
	セールス (ダイレクトセールス — トロント内から) .....	416 .....	758-2200
	セールス (連邦政府、 教育および医療) .....	フリーダイヤル:	1-800-567-7542
	セールス (Major Accounts) .....	フリーダイヤル:	1-800-387-5755
	TechConnect BBS (アメリカのテキサス州オースチン) .....	512 .....	728-8528
TechFax.....	フリーダイヤル:	1-800-950-1329	
<b>チリ</b> (サンチアゴ)  メモ:チリからセールス、カスタマーケア、テクニカルサポートにお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。	セールス、カスタマーサポートおよびテクニカルサポート .....	フリーダイヤル:	1230-020-4823
<b>中国</b> (廈門)	カスタマーサービス .....	フリーダイヤル:	800 858 2437
	セールス .....	フリーダイヤル:	800 858 2222

表 5-2 お問い合わせ番号（続き）

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
チェコ共和国 (プラハ)	テクニカルサポート.....	02.....	22 83 27 27
	カスタマーケア .....	02.....	22 83 27 11
	Fax.....	02.....	22 83 27 14
	TechFax .....	02.....	22 83 27 28
	代表 .....	02.....	22 83 27 11
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/cz">support.euro.dell.com/cz</a>		
電子メール : <a href="mailto:czech_dell@dell.com">czech_dell@dell.com</a>			
デンマーク (オスロ)	テクニカルサポート.....		45170182
	リレーショナルカスタマーケア.....		45170184
	Home/Small Business カスタマーケア .....		32875505
	代表 .....		45170100
	Fax テクニカルサポート（スウェーデン、アップランドヴェスビー）..		859005594
	Fax 代表.....		45170117
ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/dk">support.euro.dell.com/dk</a>			
電子メール : <a href="mailto:den_support@dell.com">den_support@dell.com</a>			
フィンランド (ヘルシンキ)	テクニカルサポート.....	09.....	253 313 60
	テクニカルサポート Fax .....	09.....	253 313 81
	リレーショナルカスタマーケア.....	09.....	253 313 38
	Home/Small Business カスタマーケア .....	09.....	693 791 94
	Fax.....	09.....	253 313 99
	代表 .....	09.....	253 313 00
ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/fi">support.euro.dell.com/fi</a>			
電子メール : <a href="mailto:fin_support@dell.com">fin_support@dell.com</a>			

表 5-2 お問い合わせ番号（続き）

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
フランス (パリ／モンペリエ)	テクニカルサポート	0803	387 270
	カスタマーケア（パリ）	01	47 62 68 92
	カスタマーケア（モンペリエ）	04	67 06 61 96
	TechConnect BBS（モンペリエ）	04	67 22 53 04
	Fax（モンペリエ）	04	67 06 60 07
	代表（パリ）	01	47 62 69 00
	代表（モンペリエ）	04	67 06 60 00
	ウェブサイト： <a href="http://support.euro.dell.com/fr">support.euro.dell.com/fr</a> 電子メール： <a href="mailto:web_fr_tech@dell.com">web_fr_tech@dell.com</a>		
ドイツ (ランゲン)	テクニカルサポート	06103	766-7200
	テクニカルサポート Fax	06103	766-9222
	Home/Small Business カスタマーケア		0180-5-224400
	グローバルカスタマーケア	06103	766-9570
	優先アカウントカスタマーケア	06103	766-9420
	大口アカウントカスタマーケア	06103	766-9560
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103	766-9555
	TechConnect BBS	06103	971-666
	代表	06103	971-0
ウェブサイト： <a href="http://support.euro.dell.com/de">support.euro.dell.com/de</a> 電子メール： <a href="mailto:tech_support_germany@dell.com">tech_support_germany@dell.com</a>			
香港  メモ：香港からカスタマーケアへお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル：800 96 4107
	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）		810 4949
	トランザクションセールス		フリーダイヤル：800 96 4109
	法人セールス		フリーダイヤル：800 96 4108



表 5-2 お問い合わせ番号（続き）

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
<b>アイルランド</b> (ブレイ)  メモ：アイルランドから Home/Small Business カスタマーケアにお問い合わせの場合はイギリスの番号をご利用ください。	テクニカルサポート.....		1-850-543-543
	カスタマーケア .....	01.....	204 4026
	Home/Small Business カスタマーケア（イギリス、ブラックネル）...		0870 906 0010
	セールス.....		1-850-235-235
	セールス Fax .....	01.....	286 2020
	Fax.....	01.....	286 6848
	TechConnect BBS .....	01.....	204 4711
	TechFax .....	01.....	204 4708
	代表 .....	01.....	286 0500
	ウェブサイト：support.euro.dell.com/ie 電子メール：dell_direct_support@dell.com		
<b>イタリア</b> (ミラノ)	テクニカルサポート.....	2.....	57782-690
	カスタマーケア .....	2.....	57782-555
	セールス.....	2.....	57782-411
	Fax.....	2.....	57503-530
	代表 .....	2.....	57782-1
	ウェブサイト：support.euro.dell.com/it 電子メール：support_italy@dell.com		
<b>韓国</b> (ソウル)  メモ：韓国からカスタマーケアへお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	セールス .....		フリーダイヤル：080-200-3777
	カスタマーサービス（ソウル、韓国）.....		2194-6220
	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）.....		604-810-4949
	Fax.....		2194-6202
	代表 .....		2194-6000

表 5-2 お問い合わせ番号（続き）

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
<b>ラテンアメリカ</b>  メモ：ラテンアメリカからセールス、カスタマーケア、テクニカルサポートにお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。	カスタマーテクニカルサポート (アメリカテキサス州オースチン).....	512	728-4093
	カスタマーサービス (アメリカテキサス州オースチン).....	512	728-3619
	<b>Fax</b> (テクニカルサポートおよびカスタマーサービス) (アメリカテキサス州オースチン).....	512	728-3883
	セールス (アメリカテキサス州オースチン).....	512	728-4397
	セールス <b>Fax</b> (アメリカテキサス州オースチン) .....	512	728-4600
<b>ルクセンブルグ</b>  メモ：ルクセンブルグから、セールス、カスタマーケア、テクニカルサポートへお問い合わせの場合はベルギーの番号をご利用ください。	テクニカルサポート (ベルギー、ブリュッセル) ..	02	481 92 88
	<b>Home/Small Business</b> セールス (ベルギー、ブリュッセル) .....		フリーダイヤル：080016884
	法人セールス (ベルギー、ブリュッセル) .....	02	481 91 00
	カスタマーケア (ベルギー、ブリュッセル).....	02	481 91 19
	<b>Fax</b> (ベルギー、ブリュッセル) .....	02	481 92 99
	代表 (ベルギー、ブリュッセル).....	02	481 91 00
	ウェブサイト： <a href="http://support.euro.dell.com/be">support.euro.dell.com/be</a> 電子メール： <a href="mailto:tech_be@dell.com">tech_be@dell.com</a>		
<b>マカオ</b>  メモ：マカオからカスタマーケアへお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート .....		フリーダイヤル：0800 582
	カスタマーサービス (マレーシア、ペナン).....		810 4949
	トランザクションセールス .....		フリーダイヤル：0800 581
<b>マレーシア</b> (ペナン)	テクニカルサポート .....		フリーダイヤル：1 800 888 298
	カスタマーサービス .....	04	810 4949
	トランザクションセールス .....		フリーダイヤル：1 800 888 202
	法人セールス.....		フリーダイヤル：1 800 888 213

表 5-2 お問い合わせ番号（続き）

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
<b>メキシコ</b> (コロニアグラナダ)  メモ：メキシコから自動注文システムと AutoTech へお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。	自動オーダーステータスシステム (アメリカテキサス州オースチン) .....	512.....	728-685
	<b>AutoTech</b> （自動テクニカルサポート） (アメリカテキサス州オースチン) .....	512.....	728-686
	カスタマーテクニカルサポート.....	525.....	228-7870
	セールス.....	525.....	228-7811
			フリーダイヤル：91-800-900-37
			フリーダイヤル：91-800-904-49
	カスタマーサービス.....	525.....	228-7878
代表 .....	525.....	228-7800	
<b>オランダ</b> (アムステルダム)	テクニカルサポート.....	020.....	5818838
	<b>Home/Small Business</b> セールス.....		フリーダイヤル：0800-0663
	<b>Home/Small Business</b> セールス Fax .....	020.....	682 7171
	法人セールス .....	020.....	581 8818
	法人セールス Fax.....	020.....	686 8003
	<b>Fax</b> .....	020.....	686 8003
	代表 .....	020.....	581 8818
ウェブサイト： <a href="http://support.euro.dell.com/nl">support.euro.dell.com/nl</a>			
<b>ニュージーランド</b>	<b>Home/Small Business</b> .....		0800 446 255
	<b>Geverment and Business</b> .....		0800 444 617
	セールス.....		0800 441 567
	<b>Fax</b> .....		0800 441 566

表 5-2 お問い合わせ番号 (続き)

国 (都市)	部署名/サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
<b>ノルウェー</b> (リサケー)  メモ: ノルウェーから Fax テクニカルサポート にお問い合わせの場合はスウェーデンの電話番号をご利用ください。	テクニカルサポート .....		671 16882
	リレーショナルカスタマーケア .....		671 17514
	Home/Small Business カスタマーケア .....		231 62298
	代表 .....		671 16800
	Fax テクニカルサポート (スウェーデン、アップランドヴェスビー) ...		590 05 594
	Fax 代表 .....		671 16865
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/no">support.euro.dell.com/no</a>		
	電子メール : <a href="mailto:nor_support@dell.com">nor_support@dell.com</a>		
<b>ポーランド</b> (ワルシャワ)	テクニカルサポート .....	22 .....	60 61 999
	カスタマーケア .....	22 .....	60 61 999
	セールス .....	22 .....	60 61 999
	Fax .....	22 .....	60 61 998
	代表 .....	22 .....	60 61 999
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/pl">support.euro.dell.com/pl</a>		
	電子メール : <a href="mailto:pl_support@dell.com">pl_support@dell.com</a>		
<b>シンガポール</b> (シンガポール)  メモ: シンガポールからカスタマーケアへお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート .....	フリーダイヤル:	800 6011 051
	カスタマーサービス (マレーシア、ペナン) .....	04 .....	810 4949
	トランザクションセールス .....	フリーダイヤル:	800 6011 054
	法人セールス .....	フリーダイヤル:	800 6011 053
<b>南アフリカ</b> (ヨハネスブルグ)	テクニカルサポート .....	011 .....	709 7710
	カスタマーケア .....	011 .....	709 7710
	セールス .....	011 .....	706 7700
	Fax .....	011 .....	709 0495
	代表 .....	011 .....	709 7700
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/za">support.euro.dell.com/za</a>		
	電子メール : <a href="mailto:dell_za_support@dell.com">dell_za_support@dell.com</a>		

表 5-2 お問い合わせ番号 (続き)

国 (都市)	部署名/サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号
東南アジア/ 太平洋各国 (オーストラリア、ブル ネイ、中国、香港、日 本、韓国、マカオ、マ レーシア、ニュージー ランド、シンガポール、 台湾、タイについてはそ れぞれの国の項を参照 してください)	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーサービス、 およびセールス (マレーシア、ペナン) .....		60 4 810-4810
スペイン (マドリード)	テクニカルサポート..... 法人カスタマーケア..... Home/Small Business カスタマーケア .....		902 100 130 902 118 546 902 118 540
	TechConnect BBS .....	91.....	329 33 53
	法人セールス .....		902 100 185
	Home/Small Business セールス.....		902 118 541
	代表 .....	91.....	722 92 00
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/es">support.euro.dell.com/es</a>		
	電子メール : <a href="mailto:es_support@dell.com">es_support@dell.com</a>		
スウェーデン (アップランドヴェ スビー)	テクニカルサポート.....	08.....	590 05 199
	リレーショナルカスタマーケア.....	08.....	590 05 642
	Home/Small Business カスタマーケア .....	08.....	587 70 527
	Fax テクニカルサポート .....	08.....	590 05 594
	セールス.....	08.....	590 05 185
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/se">support.euro.dell.com/se</a>		
	電子メール : <a href="mailto:swe_support@dell.com">swe_support@dell.com</a>		
スイス* (ジュネーブ)	テクニカルサポート.....		0844 811 411
	カスタマーケア .....		0848 802 802
	Fax.....	022.....	799 01 90
	代表 .....	022.....	799 01 01
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/ch">support.euro.dell.com/ch</a>		
	電子メール : <a href="mailto:swisstech@dell.com">swisstech@dell.com</a>		

表 5-2 お問い合わせ番号（続き）

国（都市）	部署名／サービス	市外局番	市内電話番号または フリーダイヤル番号
<b>台湾</b>  メモ：台湾からカスタマーケアへお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート .....	フリーダイヤル	: 0080 60 1255
	テクニカルサポート（サーバ） .....	フリーダイヤル	: 0080 60 1256
	トランザクションセールス .....	フリーダイヤル	: 0080 651 228/0800 33 556
	法人セールス .....	フリーダイヤル	: 0080 651 227/0800 33 555
<b>タイ</b>  メモ：タイからカスタマーケアへお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート .....	フリーダイヤル	: 0880 060 07
	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン） .....		.810 4949
	セールス .....	フリーダイヤル	: 0880 060 09
<b>イギリス</b> （ブラックネル）	テクニカルサポート .....		0870-908-0800
	法人カスタマーケア .....	01344 .....	720206
	Home/Small Business カスタマーケア .....		0870-906-0010
	TechConnect BBS .....		0870-908-0610
	セールス .....	01344 .....	720000
	自動 Fax .....		0870-908-0510
	ウェブサイト : <a href="http://support.euro.dell.com/uk">support.euro.dell.com/uk</a> 電子メール : <a href="mailto:dell_direct_support@dell.com">dell_direct_support@dell.com</a>		

表 5-2 お問い合わせ番号 (続き)

国 (都市)	部署名/サービス	市外局番	市内電話番号またはフリーダイヤル番号	
アメリカ (テキサス州オースチン)	自動オーダーステータスシステム.....	フリーダイヤル:	1-800-433-9014	
	AutoTech (自動テクニカルサポート).....	フリーダイヤル:	1-800-247-9362	
	<b>Dell Home and Small Business グループ:</b>			
	カスタマーテクニカルサポート (返品許可番号).....	フリーダイヤル:	1-800-624-9896	
	カスタマーケア (クレジット返品許可番号).....	フリーダイヤル:	1-800-624-9897	
	<b>ナショナルアカウント (Dell の国内取引先、医療機関、付加価値再販業者 [VARs] が購入したシステム [アカウント番号を用意する]):</b>			
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート (返品許可番号).....	フリーダイヤル:	1-800-822-8965	
	<b>米国パブリックインターナショナル (政府機関 [地方、州または連邦] または教育機関が購入したシステム):</b>			
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート (返品許可番号).....	フリーダイヤル:	1-800-234-1490	
	Dell セールス .....	フリーダイヤル:	1-800-289-3355	
		フリーダイヤル:	1-800-879-3355	
	Spare Parts セールス.....	フリーダイヤル:	1-800-357-3355	
	DellWare.....	フリーダイヤル:	1-800-753-7201	
	DellWare FaxBack サービス .....	512.....	728-1681	
	Fee-Based テクニカルサポート .....	フリーダイヤル:	1-800-433-9005	
	セールス (カタログ).....	フリーダイヤル:	1-800-426-5150	
	Fax.....	フリーダイヤル:	1-800-727-8320	
	TechFax .....	フリーダイヤル:	1-800-950-1329	
	TechConnect BBS .....	512.....	728-8528	
	聴覚・言語障害者のためのサービス .....	フリーダイヤル:	1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)	
代表 .....	512.....	338-4400		







# 付録 A 仕様

ご使用のコンピュータの仕様は、Dell の World Wide Web サポートサイト <http://www.dell.com/jp/support> でご覧いただけます。サービスタグナンバー（お持ちであれば Express Service Code）を入力して、[実行] をクリックしてください。サービスタグと Express Service Code はコンピュータの底に記載されています。

[Inspiron] をクリックして、ご使用のシステム名を選択しても同様のサポート情報にアクセスできます。一連のメニューで項目を選択しながらサポート情報に進んでください。

表 A-1 仕様

---

マイクロプロセッサ	
マイクロプロセッサの タイプ . . . . .	インテルモバイル Pentium® III マイクロプロセッサ または Intel Celeron™ マイクロプロセッサ
L1 キャッシュ . . . . .	32 KB（内部）
L2 キャッシュ . . . . .	256 KB（内蔵）
外部バス周波数 . . . . .	100 MHz
数値演算コプロセッサ . . . . .	マイクロプロセッサに内蔵

---

メモ：表に出てくる略語は、システムヘルプの用語集を参照。

表 A-1 仕様 (続き)

チップセットとバスアーキテクチャ	
システムチップセット . . . . .	インテル Celeron マイクロプロセッサ 443BX / PIIX4m チップセット
データバス幅 . . . . .	64 ビット
DRAM バス幅 . . . . .	64 ビット
マイクロプロセッサアドレスバス幅 . . . . .	32 ビット
フラッシュ EPROM . . . . .	4 Mb
AGP バス . . . . .	66 MHz
PCI バス . . . . .	33 MHz
PC カード	
PCI コントローラ . . . . .	テキサスインスツルメンツ PCI 1221 カードバスコントローラ
PC カードスロット . . . . .	1 (タイプ I およびタイプ II カードをサポート。Microsoft Windows 98 オペレーティングシステム使用のコンピュータで Zoom ビデオカードを含む)
使用可能カード . . . . .	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ . . . . .	68 ピン
データ幅 (最大)	
PCMCIA . . . . .	16 ビット
カードバス . . . . .	32 ビット
メモリ	
アーキテクチャ . . . . .	SDRAM
メモリモジュールソケット . . . . .	144 ピン SODIMM ソケット
メモリモジュールの容量とタイプ . . . . .	64、128 あるいは 256 MB 3.3 V SDRAM モジュール
最小 RAM . . . . .	64 MB
最大 RAM . . . . .	256 MB
メモリクロック周波数 . . . . .	100 MHz
メモ: 表に出てくる略語は、システムヘルプの用語集を参照。	

## 表 A-1 仕様 (続き)

---

メモリ (続き)	
メモリアクセス時間 . . . . .	CL2 または CL3 (メモ : CL3 は CAS 呼び出し時間が 3 クロック)
BIOS アドレス . . . . .	FF000:0000-F000:FFFF

---

コネクタ	
パラレル . . . . .	片方向、双方向、または ECP コネクタ
ビデオ . . . . .	SVGA コネクタ
PS/2 . . . . .	ミニ DIN コネクタ
オーディオ . . . . .	マイク入力コネクタ × 1、ヘッドフォン / スピーカー (ライン出力) コネクタ × 1
USB . . . . .	4 ピンコネクタ
モデム . . . . .	RJ-45 コネクタ
NIC . . . . .	RJ-11 コネクタ
ドッキング . . . . .	240 ピンコネクタ (サポートされていない)

---

オーディオ	
オーディオのタイプ . . . . .	Sound Blaster (ソフトウェアエミュレーション可能)
オーディオコントローラ . . . . .	NeoMagic NMG5 + AC97 CODEC
ステレオ変換 . . . . .	16 ビット (AD 変換、DA 変換)
インタフェース :	
内部 . . . . .	PCI バス /AC97
外部 . . . . .	マイク (ミニジャック) ; ヘッドフォン / スピーカー (ライン出力)
スピーカー . . . . .	4 オームスピーカー
内部スピーカー用アンプ . . . . .	500 mW
コントロール . . . . .	ボリュームの調整には、キーの組み合わせまたはソフトウェアアプリケーションのメニューを使用

---

メモ : 表に出てくる略語は、システムヘルプの用語集を参照。

表 A-1 仕様 (続き)

ビデオ	
ビデオタイプ	256 ビットハードウェアアクセラレータ
データバス	AGP
ビデオコントローラ	NeoMagic NM 2200
ビデオメモリ	2.5 MB
ディスプレイ	
タイプ	SVGA、アクティブマトリックスカラー (TFT)
最大解像度 / 色	800 × 600 ピクセル、1,677、721 カラー
反応時間 (標準)	50 ms 上昇、20 ms 下降
作動角度	0° (閉じた状態) ~ 180°
ドットピッチ	0.30 mm
消費電力	
パネル (標準)	825 mW
バックライト	2.9 W
調整	輝度の調整には、キーの組み合わせを使用
キーボード	
キーストローク	2.5 mm ± 0.2 mm
キー間隔	18 mm
バッテリー	
タイプ	リチウムイオン
寸法 :	
高さ	12.7 mm
奥行き	57.25 mm
幅	262.49 mm
重量	4 セルバッテリー付きで 214 g ; 6 セルバッテリー付きで 288 g
電圧	4 セルバッテリーで 14.8 VDC、 6 セルバッテリーで 11.10 VDC
容量	4 セルバッテリーで 23 WH、6 セルバッテリーで 34 WH

メモ : 表に出てくる略語は、システムヘルプの用語集を参照。

## 表 A-1 仕様 (続き)

### バッテリー (続き)

充電時間 (概算)<sup>1</sup>

コンピュータ電源オン . . . 1.5 時間

コンピュータ電源オフ . . . 1.5 時間

寿命 (概算)<sup>1</sup> . . . . . 350 サイクル (充電/放電)

温度範囲 :

作動時 . . . . . 0 °C ~ 40 °C

保管時 . . . . . -20 °C ~ 50 °C

<sup>1</sup> 充電時間や寿命などのバッテリー性能は、コンピュータとバッテリーが使用されるコンディションによって異なります。

### AC アダプタ

入力電圧 . . . . . 100 ~ 240 VAC

入力電流 (最大) . . . . . 1.5 A

入力周波数 . . . . . 50 ~ 60 Hz

出力電流 . . . . . 2.64 A (最大)

定格出力電圧 . . . . . 19.0 VDC

寸法 :

高さ . . . . . 29 mm

幅 . . . . . 46.3 mm

長さ . . . . . 108 mm

重量 (ケーブルも含む) . . . . 355 g

温度範囲 :

作動時 . . . . . 0 °C ~ 40 °C

保管時 . . . . . -20 °C ~ 60 °C

メモ : 表に出てくる略語は、システムヘルプの用語集を参照。

表 A-1 仕様 (続き)

---

外形	
寸法 :	
高さ . . . . .	25.7 mm
幅 . . . . .	272 mm
長さ . . . . .	220 mm
重量 . . . . .	6 セルバッテリー付きで 1.665 kg 4 セルバッテリー付きで 1.618 kg

---

環境 (コンピュータ)	
温度 :	
作動時 . . . . .	5 °C ~ 35 °C
保管時 . . . . .	-20 °C ~ 60 °C
相対湿度 (最大) :	
作動時 . . . . .	20% ~ 80% (結露しない)
保管時 . . . . .	5% ~ 90% (結露しない)
最大振動 :	
作動時 . . . . .	0.9 GRMS (ランダム振動スペクトルでユーザ環境をシミュレート)
保管時 . . . . .	1.3 GRMS (ランダム振動スペクトルで航空輸送およびトラック輸送をシミュレート)
最大衝撃 : <sup>2</sup>	
作動時 . . . . .	152.4 cm/秒 (衝撃幅 2ms 以下)
保管時 . . . . .	203.2 cm/秒 (衝撃幅 2ms 以下)
高度 (最大) :	
作動時 . . . . .	-18 m ~ 3,048 m
保管時 . . . . .	-18 m ~ 10,600 m

---

<sup>2</sup> ヘッド停止位置にて測定

メモ : 表に出てくる略語は、システムヘルプの用語集を参照。

表 A-1 仕様 (続き)

---

タッチパッド

---

インタフェース . . . . . PS/2 互換

X/Y 位置精度

(グラフィックス  
テーブルモード) . . . . . 最小 20 points/mm

寸法:

厚さ . . . . . 0.69 ± 0.15 mm (最大突起部)

横幅 (センサ部) . . . . . 64.88 mm

縦幅 . . . . . 48.88 mm

重量 . . . . . 6.0 ± 0.5 g

電源:

電圧 . . . . . 5V ± 10%

電流 . . . . . 4.0mA (通常作動時)

ESD . . . . . 1.5 KV が表面に適用 (適切に装備されている場合)

---

メモ: 表に出てくる略語は、システムヘルプの用語集を参照。







## 付録 B

# セットアップユーティリティの使い方

注意：セットアップユーティリティの設定は必要な場合にだけ変更することをお勧めします。特定のシステムデバイスの設定変更はハードウェアコンフリクトを引き起こす恐れがあります。

セットアップユーティリティは次のような場合に利用します。

- お使いのコンピュータに接続または取り付けられているハードウェアを追加、変更または取り外した後、システム設定情報を変更する場合
- システムメモリの容量など、コンピュータの現在の構成を参照する場合
- 電源管理やセキュリティ機能など、ユーザ選択可能な機能を設定または変更する場合

オプションによっては、変更を適用する前にコンピュータを再起動する必要があります。他のオプションの変更はすぐに適用されます。



メモ：システムを再起動した場合にのみ起動するオプションを変更したときは、セットアップユーティリティは選択した設定を表示しますが、システムを再起動するまで変更前の設定が記憶されています。

コンピュータをセットアップした後、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。Dell では今後の参考のためにそれらの情報を書き残しておくことをお勧めします。

## セットアップユーティリティへのアクセス

注意：データの損失を避けるため、セットアップユーティリティを起動するためにコンピュータを再起動する前には、すべてのアプリケーションプログラムを閉じてください。

セットアップユーティリティにアクセスするには、コンピュータの電源を入れ、Dellのロゴ画面が表示されたらすぐに <F2> キーを押します。<F2> キーは Windows のロゴ画面が表示される前に押さなければなりません。セットアップユーティリティを閉じると、コンピュータは自動的に再起動します。

セットアップユーティリティの Main メニュー（図 B-1 参照）ではコンピュータの構成を表示します。Main メニューだけでなく、Advanced メニュー、Security メニュー、Power メニュー、Boot メニューおよび Exit メニューにもアクセスすることができます。



メモ：<F9> キーを押して確認の <Enter> キーを押すと、コンピュータはそのメニューの各オプションをデフォルト値に戻します。<F10> キーを押して確認の <Enter> キーを押すと、コンピュータは現在の設定を保存し、セットアップユーティリティを終了します。

## Main メニュー

Main メニューのオプションおよび設定の説明については、図 B-1 と表 B-1 を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility			
Main	Advanced	Security	Power Boot Exit
System Time:	[03:06:18]		Item Specific Help  <Tab>, <Shift-Tab>, or <Enter> selects field.
System Date:	[09/18/1998]		
Diskette A:	[1.44 MB, 3 1/2"]		
Diskette B:	[Disabled]		
IDE Adapter 0 Master	3253MB		
HDD0 Master ID:	33890883		
IDE Adapter 1 Master	None		
PS/2 Pointing Device:	[Auto Device]		
Summary Screen:	[Enabled]		
Quiet Boot:	[Enabled]		
System Memory:	640 KB		
Extended Memory:	64512 KB		
F1 Help	↑↓ Select Item	Space Change Values	F9 Setup Defaults
ESC Exit	← Select Menu	Enter Select Sub-Menu	F10 Save and Exit

図 B-1 Main メニュー

表 B-1 Main メニューのオプション

オプション	機能
System Time	コンピュータの内蔵時計の時刻をリセットします。
System Date	コンピュータの内蔵カレンダーの日付をリセットします。
Diskette Drive A, Diskette Drive B	コンピュータで使用されているディスクドライブの種類を示します。セカンドディスクドライブが取り付けられている場合、 <b>Diskette Drive B</b> はセカンドディスクドライブを示します。
IDE Adapter 0 Master	コンピュータの内蔵ハードディスクドライブの容量を表示します。このオプションにはユーザが選択可能な設定はありません。
IDE Adapter 1 Master	メディアベイケーブルでメディアベイコネクタに接続されている IDE デバイス (CD-ROM または DVD-ROM ドライブなど) を示します。
PS/2 Pointing Device	<b>Auto Detect</b> (デフォルト) にすると、BIOS は外付け PS/2 マウス (取り付けられている場合) またはタッチパッドを検出して有効にします。 <b>Enabled</b> は、タッチパッドのみを有効にします。 <b>Disabled</b> にすると、シリアルマウスが使用できません。
Summary Screen	<b>Summary Screen</b> が <b>Enabled</b> (デフォルト) になっている場合、電源投入時の自己診断 (POST) の後、Phoenix BIOS セットアップユーティリティの <b>Summary</b> 画面がシステムの起動中に表示されます。このオプションが <b>Disabled</b> に設定されている場合、 <b>Summary</b> 画面は表示されません。
Quiet Boot	<b>Enabled</b> (デフォルト) に設定されている場合、システムのスタートアップ時に診断プログラム POST のメッセージおよび <b>Summary</b> 画面が表示されないようにします。 <b>Disabled</b> に設定されている場合、システムのスタートアップ時に POST のメッセージおよび <b>Summary</b> 画面が表示されます。 <b>Quiet Boot</b> が有効になっている場合、システムの初期化のときにブートデバイスを選択できません。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

表 B-1 Main メニューのオプション (続き)

オプション	機能
System Memory	コンピュータに搭載されている DRAM の基本容量を表示します。各コンピュータのベースメモリは <b>640KB</b> です。
Extended Memory	<b>1 MB</b> を超えるメモリの総容量を表示します。各コンピュータには、標準で最低 <b>64 MB</b> のメモリが搭載されています。メモリを取り付けまたは取り外すと、表示される拡張メモリの容量が変わります。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

## Advanced メニュー

Advanced メニューのオプションおよび設定の説明については、図 B-2 と表 B-2 を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility			
Main	Advanced	Security	Power Boot Exit
Setup Warning		Item Specific Help	
Setting items on this menu to incorrect values may cause your system to malfunction.		Peripheral Configuration.	
I/O Device Configuration			
L2 Cache		[Enabled]	
Plug & Play O/S:		[Yes]	
Large Disk Access Mode:		[DOS]	
External Hot-Key:		[Scroll Lock]	
Display Device Selection:		[LCD/CRT]	
Display Mode:		[Expanded]	
F1 Help	↑↓ Select Item	Space Change Values	F9 Setup Defaults
ESC Exit	↔ Select Menu	Enter Select ► Sub-Menu	F10 Save and Exit

図 B-2 Advanced メニュー

表 B-2 Advanced メニューのオプション

オプション	機能
I/O Device Configuration	このオプションを選択し、<Enter> キーを押して [I/O Device Configuration] サブメニューを表示させます。
L2 Cache	L2 (level-2) キャッシュを設定して、Enabled (デフォルト) または Disabled にします。
Plug & Play O/S	オプションは Yes (デフォルト) と No です。このオプションは、ご使用のシステムが Linux など Microsoft 以外のオペレーティングシステムで動作している場合を除き、Yes に設定してください。
Large Disk Access Mode	オプションは DOS (デフォルト) と Other です。このオプションは、ご使用のシステムが Linux など Microsoft 以外のオペレーティングシステムで動作している場合を除き、DOS に設定してください。
External Hot-key	このオプションでは、コンピュータのキーボードの <Fn> キーの使い方と同じように、外付けキーボードの <Scroll Lock> キーを使えるようにします。外付けキーボードを使用している場合は、このオプションを Scroll Lock (デフォルト) に設定してください。このオプションを Disabled に設定すると、外付けキーボードのこの機能は無効になります。
Display Device Selection	画面のイメージをコンピュータのディスプレイ、接続した外付けモニタ、またはその両方に表示するかどうかを指定します。オプションは LCD (ディスプレイ)、CRT (外付けモニタ)、および LCD/CRT です。このオプションが CRT に設定されていて、外付けモニタが接続されていない場合、画面のイメージはコンピュータのディスプレイに表示されます。
Display Mode	Standard モードと Expanded モードの切り替えができます。Expanded モードでは、800 x 600 以外の解像度は拡張して画面に表示されます。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

## I/O Device Configuration サブメニュー

I/O Device Configuration サブメニューのオプションおよび設定の説明については、  
図 B-3 と表 B-3 を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility	
Main	<b>Advanced</b> Security Power Boot Exit
I/O Device Configuration	
Serial port A:	[Auto]
Parallel Port:	[Enabled]
Mode:	[Bi-directional]
Base I/O address:	[378 IRQ7]
Local bus IDE controller:	[Both]
PCI Devices	
Modem:	[Auto]
LAN:	[Auto]
	Item Specific Help
	Configure Serial Port A Using Options

F1 Help    ↑↓ Select Item    Space Change Values    F9 Setup Defaults  
ESC Exit    ↔ Select Menu    Enter Select ► Sub-Menu    F10 Save and Exit

図 B-3 I/O Device Configuration サブメニュー

表 B-3 I/O Device Configuration サブメニューのオプション

オプション	機能
Serial port A	Enabled は Serial port A: Base I/O Address を 3F8h IRQ4 に設定します。2 つまたは 3 つのアドレス間でコンフリクトが発生した場合、ポートの種類の際にアスタリスクが表示されます。Disabled はシリアルポートを無効にして電力を節約します。
Parallel Port	オプションが Enabled の場合、Mode は Bi-directional で、Base I/O address は 378h IRQ 7 です。オプションが Disabled に設定されている場合、ポートは無効になり、その割り当てられた LPT リソースを他のデバイスに使用できません。パラレルポートアドレスまたは DMA チャンネルを変更する場合、赤外線ポートのアドレスまたは DMA チャンネルとのコンフリクトが発生しないよう注意してください。
Local bus IDE controller	内蔵ローカルバス IDE アダプタを設定します。オプションは、Both (デフォルト)、Disabled、Primary、または Secondary です。Both が選択されている場合、ハードディスクドライブおよびメディアベイデバイスの両方にアクセスできます。Primary が選択されている場合、ハードディスクドライブに限りアクセスできます。Disabled の場合、メディアベイデバイスおよびハードディスクドライブは無効に設定されます。
Modem	オプションは Auto (デフォルト) と Disabled です。Auto に設定すると、自動的に内蔵モデムを設定します。
LAN	オプションは Auto (デフォルト) と Disabled です。Auto に設定すると、自動的に内蔵 NIC を設定します。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。



## Security メニュー

Security メニューのオプションおよび設定の説明については、図 B-4 と表 B-4 を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility			
Main	Advanced	Security	Power Boot Exit
			Item Specific Help
HD Password is		Clear	
User Password is		Clear	
Supervisor Password is		Clear	
Set HD Password		[Enter]	
Set User Password		[Enter]	
Set Supervisor Password		[Enter]	
Password On Boot		[Enabled]	
Diskette access:		[Supervisor]	
F1 Help	↑↓ Select Item	Space Change Values	F9 Setup Defaults
ESC Exit	↔ Select Menu	Enter Select > Sub-Menu	F10 Save and Exit

図 B-4 Security メニュー

表 B-4 Security メニューのオプション

オプション	機能
HD Password is	ハードディスクドライブパスワードが設定されていない場合、 <b>HID Password is</b> の設定は <b>Clear</b> です。また、設定表示は <b>Set</b> です。
User Password is	ユーザーパスワードが設定されていない場合、 <b>User Password is</b> の設定は <b>Clear</b> です。また、設定表示は <b>Set</b> です。
Supervisor Password is	スーパーバイザパスワードが設定されていない場合、 <b>Supervisor Password is</b> の設定は <b>Clear</b> です。また、設定表示は <b>Set</b> です。
Set HD Password	<Enter> キーを押して新しいハードディスクドライブパスワードをセットアップし、それから画面の指示に従います。このパスワードはハードディスクドライブへのアクセスを制限します。
Set User Password	<Enter> キーを押して新しいユーザーパスワードをセットアップし、それから画面の指示に従います。このパスワードはコンピュータへのアクセスを制限します。
Set Supervisor Password	<Enter> キーを押して新しいスーパーバイザパスワードをセットアップし、それから画面の指示に従います。このパスワードはユーザーパスワードと置き換えることができます。
Password on Boot	このオプションが有効の場合、コンピュータがオペレーティングシステムをメモリにロードする前にパスワードを入力する必要があります。このオプション設定は <b>[Disabled]</b> (デフォルト) および <b>[Enabled]</b> です。
Diskette access	<b>[Supervisor]</b> または <b>[User]</b> パスワードがディスクドライブにアクセスする必要があるかどうかを特定します。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

## Power メニュー

Power メニューのオプションおよび設定の説明については、図 B-5 と表 B-5 を参照してください。



メモ：Windows 98 オペレーティングシステムの電源管理の設定が、ここで説明されている設定よりも優先されます。詳細については、システムヘルプの「電力の節約 (Windows 98 および Windows 2000)」を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility			
Main	Advanced	Security	Power
Power Switch Mode: [On/Off]			Item Specific Help
PM Control: [Battery Only]			
Power Management: [Customized]			
Video Timeout: [2 Minutes]			
Hard Disk Timeout: [2 Minutes]			
Auto Suspend Timeout: [10 Minutes]			
Battery Low Suspend: [Enabled]			
Suspend Mode: [Save To RAM]			
Resume On Modem Ring: [Off]			
Resume On Time: [Off]			
Auto Dim: [Enabled]			
Lid Close: [Suspend]			
F1 Help	↑↓ Select Item	Space Change Values	
ESC Exit	↔ Select Menu	Enter Select	▶ Sub-Menu
			F10 Save and Exit

図 B-5 Power メニュー

表 B-5 Power メニューのオプション

オプション	機能
Power Switch Mode	<p>電源ボタンを On/Off または Suspend/Resume のいずれのモードで操作するかを指定します。</p> <p>オプションが On/Off に設定されている場合、電源ボタンでコンピュータを起動および終了できます。オプションが Suspend/Resume に設定されている場合、電源ボタンでコンピュータを一時停止または再開することができます。</p>
PM Control	<p>バッテリーについてのみ、またはバッテリーおよび AC 電源アダプタの両方について、すべての電源管理機能を有効または無効にします。AC/Battery に設定すると、電源の種類にかかわらず電源管理機能が有効になります。Battery Only (デフォルト) に設定すると、コンピュータがバッテリー電源で動作している場合に限り電源管理機能が有効になります。Disabled の場合、電源管理機能は完全に無効になります。</p>
Power Management	<p>Customized (デフォルト) では、それぞれの電源管理設定を制御できます。Maximum Battery Life では、システム電源を最大限に節約し、Video Timeout、Hard Disk Timeout、および Auto Suspend Timeout をそれぞれ 2 分後に設定します。Maximum Performance では、電源を節約しつつ最高のシステムパフォーマンスを発揮できるようにし、Video Timeout は 10 分後、Hard Disk Timeout は 5 分後、Auto Suspend Timeout は 10 分後に設定されます。</p>
Video Timeout	<p>ディスプレイおよびバックライトの電源が切れるまでの、キーボード、タッチパッド、および PS/2 マウスのアイドル時間 (I/O 動作のない状態) を指定します。ディスプレイおよびバックライトは、キーボード、タッチパッド、PS/2 マウス、またはディスプレイメモリに最初にアクセスしたときに再び電源が入ります。設定は、[Off]、[30 分]、[20 分]、[15 分]、[10 分]、[5 分]、および [2 分] です。バッテリーの動作時間をのばすには、このオプションを短時間に設定します。このオプションを使用するには、Power Management を Customized に設定する必要があります。</p>

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

表 B-5 Power メニューのオプション (続き)

オプション	機能
Hard Disk Timeout	ハードディスクドライブのドライブモーターが切れるまでのアイドル時間 (I/O 動作のない状態) を指定します。ドライブモーターは、ハードディスクドライブに最初にアクセスしたときに再び起動します。設定は、[Off]、[30 分]、[20 分]、[15 分]、[10 分]、[5 分]、および [2 分] です。バッテリーの動作時間をのばすには、このオプションを短時間に設定してください。このオプションを使用するには、Power Management を Customized に設定する必要があります。
Auto Suspend Timeout	S2D (Suspend-to-Disk) モードが有効になるまでの、コンピュータのアイドル時間 (I/O 動作のない状態) を指定します。設定は、[Off]、[30 分]、[20 分]、[15 分]、[10 分]、[5 分]、[2 分] および [1 分] です。バッテリーの動作時間をのばすには、このオプションを短時間に設定してください。このオプションを使用するには、Power Management を Customized に設定する必要があります。
Battery Low Suspend	バッテリーの残りが少なくなった時にコンピュータがスタンバイモードに入るよう設定します。オプションは、Enabled (デフォルト) および Disabled です。Disabled では、ローバッテリーサスペンド機能は無効になりますが、Auto Suspend Timeout の設定は有効です。
Suspend Mode	<p>Save to RAM (デフォルト) に設定すると、コンピュータはほとんどすべての動作を停止し、スタンバイモードに入ってバッテリーを節電しますが、数秒で動作を再開できる状態で待機しています。電源ボタンを押すと、通常のコンピュータの動作が再開されます。(コンピュータが通常の動作に戻るまで数秒かかることがあります)</p> <p>Save to Disk に設定すると、コンピュータはすべてのシステムデータをハードディスクドライブの予約領域にコピーしてから、すべての電源を切ります。コンピュータが通常の動作を再開する時は、このモードを有効にする前にロードされていた状態と同じプログラムが動作し、同じファイルが開きます。S2D (Save-to-Disc) サスペンドモードを使用すると、バッテリーを節約したり、バッテリー電源が切れてしまいそうな場合にシステムデータをハードディスクドライブへすみやかに保存することができます。</p>

メモ: 本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

表 B-5 Power メニューのオプション (続き)

オプション	機能
Resume on Modem Ring	このオプションを <b>On</b> に設定すると、モデムが受信コールを検出し、コンピュータがスタンバイモードになっているときに通常の動作を開始します。デフォルトは <b>Disabled</b> です。このオプションを使用するには、 <b>Suspend Mode</b> を <b>Save to RAM</b> に設定する必要があります。
Resume on Time	<b>Resume On Time</b> オプションを <b>On</b> に設定すると、スタンバイモードのコンピュータが、 <b>Resume Time</b> フィールドで指定された時刻に通常の動作を再開します。デフォルトは <b>Off</b> です。このオプションを使用するには、 <b>Suspend Mode</b> を <b>Save to RAM</b> に設定する必要があります。
Resume Time	<b>Resume On Time</b> が <b>ON</b> に設定されている場合に限り、画面に <b>Resume Time</b> が表示されます。  コンピュータがスタンバイモードから通常の動作を再開するときの時間を指定します。このオプションを使用するには、 <b>Suspend Mode</b> を <b>Save to RAM</b> に設定する必要があります。
Auto Dim	バッテリー電源で動作しているとき自動的にディスプレイの明るさを下げるようコンピュータを設定し、バッテリーを長持ちさせます。オプションは、 <b>Enabled</b> (デフォルト) と <b>Disabled</b> です。
Lid Close	ディスプレイを閉じた時のコンピュータの応答を指定します。 <b>Active</b> (デフォルト) に設定すると、コンピュータはディスプレイの画像を接続されているモニタに切り替えます。 <b>Suspend</b> に設定すると、スタンバイモードに入ります。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

## Boot メニュー

Boot メニューのオプションおよび設定の説明については、図 B-6 と表 B-6 を参照してください。起動デバイスを選択するには上矢印または下矢印キーを押します。それから <F6> または <+> キーを押して一覧でデバイスを上に動かします。または <F5> または <-> キーを押して一覧でデバイスを下に動かします。

PhoenixBIOS Setup Utility			
Main	Advanced	Security	Power <b>Boot</b> Exit
1. [Removable Devices] 2. [Hard Disk] 3. [ATAPI CD-ROM Drive] 4. [Boot to LAN]			<b>Item Specific Help</b>  Use <↑> or <↓> to select a device. Then press <+> to move it up the list, or <-> to move it down the list. Press <Esc> to exit this menu.
F1 Help	↑↓ Select Item	Space Change Values	F9 Setup Defaults
ESC Exit	↔ Select Menu	Enter Select	▶ Sub-Menu F10 Save and Exit

図 B-6 Boot メニュー

表 B-6 Boot メニューのオプション

オプション	機能
Removable Devices	コンピュータは、はじめに起動可能ディスク、または Super Disk から起動しようとします。これらのリムーバブルメディアディスクのいずれも検出されない場合、ハードディスクドライブから起動しようとします。ディスクがドライブに入っているにもかかわらず起動に必要なファイルが含まれていない場合、エラーメッセージが表示されます。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

表 B-6 Boot メニューのオプション (続き)

オプション	機能
Hard Disk	コンピュータはハードディスクドライブのみから起動します。ハードディスクドライブからの起動に失敗した場合でも、ディスクドライブからは起動しません。
ATAPI CD-ROM Drive	コンピュータは、はじめに起動 CD から起動しようとしません。CD-ROM または DVD-ROM ドライブで起動可能 CD が検出されない場合、一覧にある次のデバイスから起動しようとしません。CD が CD-ROM または DVD-ROM ドライブに入っている場合でも起動に必要なファイルが CD に含まれていない場合、エラーメッセージが表示されます。
Boot to LAN	コンピュータは、はじめに LAN から起動しようとしません。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。

## Exit メニュー

Exit メニューからセットアップユーティリティを閉じるには、上矢印または下矢印キーを押してメニュー項目を強調表示させ、<Enter> キーを押します。Exit メニューのオプションおよび設定の説明については、図 B-7 と表 B-7 を参照してください。

PhoenixBIOS Setup Utility					
Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Exit Saving Changes Exit Discarding Changes Load Setup Defaults Load Last Saved Values Save Changes					Item Specific Help  Exit System Setup and save your changes to CMOS.
F1 Help	↑↓ Select Item	Space Change Values	F9 Setup Defaults		
ESC Exit	↔ Select Menu	Enter Execute Command	F10 Save and Exit		

図 B-7 Exit メニュー



表 B-7 Exit メニューのオプション

オプション	機能
Exit Saving Changes	変更を保存してセットアップユーティリティを閉じます。
Exit Discarding Changes	変更を無視してセットアップユーティリティを閉じます。
Load Setup Defaults	変更を無視してすべてのオプションをそれらのデフォルトにもどします。しかし、セットアップユーティリティは閉じません。
Load Last Saved Values	新たに設定したものを無視して、以前保存した設定をもどします。続行するよう指示されたら <Enter> キーを押します。
Save Changes	セットアップユーティリティを閉じないで設定を保存します。続行するよう指示されたら <Enter> キーを押して、変更するメニューに戻ります。

メモ：本表で使用されている略語の正式名については、システムヘルプの用語集を参照してください。





## 付録 C システムメッセージ

アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム、およびコンピュータ本体には、問題を識別し、通知する機能があります。問題が発生すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けモニター（接続されている場合）にメッセージが表示されます。本付録では、システム BIOS（basic input/output system）によって表示されるシステムメッセージについて説明します。その他のメッセージについては、アプリケーションプログラムまたはオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

ディスプレイまたは外付けモニターにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージをメモしてください。メッセージの説明と対応策については、表 C-1 を参照してください。メッセージはアルファベット順に記載されています。



メモ：表 C-1 に記載されていないメッセージが表示された場合は、その時点で実行していたアプリケーションプログラムのマニュアル、またはオペレーティングシステムのマニュアルを参照して、メッセージの説明と推奨されている対応策を確認してください。

表 C-1 システムエラーメッセージ

メッセージ	原因	対応策
0271: Check date and time settings	リアルタイムクロックは、既定の日時に戻りました。	セットアップユーティリティを起動し、日時を正しい設定に戻してください。もし問題が残るようであれば、Dell テクニカルサポートまでご連絡ください。手順については、第 5 章「困ったときは」を参照してください

メモ：上記の表で使用されている略語の正式名称については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。

表 C-1 システムエラーメッセージ（続き）

メッセージ	原因	対応策
02B0:Diskette drive A error  02B1:Diskette drive B error	コネクタが緩んでいるか、ディスクが不良である恐れがあります。	ディスク上のファイルにアクセスしたときにディスクドライブインジケータが点滅したにもかかわらず、このようなエラーメッセージが発生した場合は、別のディスクをお試しください。同様のエラーメッセージが再度表示されたら、コンピュータを終了し、外付けメディアベイからそのドライブを取り外し、再度挿入してみてください。コンピュータを再度起動し、エラーメッセージが発生するかを確認します。それでもまだ問題が残るようであれば、Dell 診断プログラムの IDE Devices テストを実行してみてください。手順については、第 3 章の「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。もし問題が残るようであれば、Dell テクニカルサポートまでご連絡ください。手順については第 5 章「困ったときは」を参照してください。
Diskette write-protected	ディスクが書き込み不可になっているので、操作を完了することができません。	ノッチ（ディスクの）を上のスライドします。
0232:Extended RAM Failed at address line: <i>nnnn</i>	拡張メモリの設定が適切でないか、メモリアドレス <i>nnnn</i> で障害が発生しました。	第 5 章「困ったときは」を参照して、Dell テクニカルサポートへお問い合わせください。
0200:Failure Fixed Disk	ハードディスクドライブの初期化に障害が発生しました。	ハードディスクドライブを取り外して再度装着し、コンピュータを再起動します。それでも問題が残るようであれば、Dell 診断プログラムの IDE Devices テストを実行してみてください。手順については、第 3 章「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。
02B2:Incorrect drive A type-run Setup  02B3:Incorrect drive B type-run Setup	ディスクドライブが、セットアップユーティリティで適切に認識されていません。	コンピュータを終了し、外付けメディアベイからそのドライブを取り外し、再度挿入してみてください。コンピュータを再度起動し、エラーメッセージが発生するかを確認します。それでもまだ問題が残るようであれば、コンピュータを再起動し、Dell のロゴ画面が表示されたところですぐに <F2> キーを押して、セットアップユーティリティを起動してください。そして、Main 画面の IDE Adapter 1 Master の設定内容を書き留め Dell テクニカルサポートまでご連絡ください。手順については第 5 章「困ったときは」を参照してください。
0212:Keyboard controller failed	キーボードのコントローラが不良です。	第 5 章「困ったときは」を参照して、Dell のテクニカルサポートへお問い合わせください。

メモ：上記の表で使用されている略語の正式名称については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。

表 C-1 システムエラーメッセージ (続き)

メッセージ	原因	対応策
0211:Keyboard error	外付けキーボードを使用している場合は、ケーブルまたはコネクタが緩んでいるか、キーボードが不良である恐れがあります。内蔵のキーボードを使用している場合は、そのキーボード自体が不良である恐れがあります。コンピュータが起動中に、内蔵キーボード上のキーが押されていた恐れがあります。	外付けのキーボードを使用している場合は、キーボードのケーブルをチェックし、再度装着してみてください。また、ディスクドライブのケーブルもチェックし、再度装着してみてください。まだ問題が残るようであれば、Dell 診断プログラムの <b>Stuck Key</b> テストを実行してみてください。手順については、第 3 章「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。もし問題が残るようであれば、Dell テクニカルサポートまでご連絡ください。手順については第 5 章「困ったときは」を参照してください。
0280:Previous boot incomplete-Default configuration used	コンピュータが 3 度起動に失敗したため、デフォルトの BIOS 設定を使って起動します。	コンピュータが起動ルーチンを完了したら、セットアップユーティリティを起動し、コンピュータに以前カスタマイズした既定設定内容を再度設定してみてください。次にコンピュータを再起動したときに、このメッセージを確認したら、Dell テクニカルサポートまでご連絡ください。手順については第 5 章「困ったときは」を参照してください。
0270:Real time clock error	NVRAM に保存されているデータをサポートする CMOS バッテリーが切れている恐れがあります。	第 5 章「困ったときは」を参照して、Dell テクニカルサポートへお問い合わせください。
0231:Shadow RAM failed at offset: <i>nnnn</i>	シャドウ RAM がアドレス <i>nnnn</i> で障害を起こしました。	第 5 章「困ったときは」を参照して、Dell テクニカルサポートへお問い合わせください。
0210:Stuck Key	内蔵キーボードを使用している場合は、内蔵キーボードが不良である場合があります。コンピュータの起動中に、内蔵キーボードのキーが押されていた恐れがあります。	Dell 診断プログラムの <b>Stuck Key</b> テストを起動しませぬ。手順については第 3 章の「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。問題が残るようであれば、Dell テクニカルサポートまでご連絡ください。
0250:System battery is dead-Replace and run Setup	システムのバッテリーの充電残量が充分でなく、コンピュータを駆動できません。	バッテリーを再充電するためにコンピュータを電源コンセントに接続するか、バッテリーを交換してください。その後で、システムのセットアップ設定をご確認ください。
02D0:System cache error cache disabled	マイクロプロセッサ内部にあるプライマリキャッシュに障害が発生しました。	第 5 章「困ったときは」を参照して、Dell テクニカルサポートへお問い合わせください。

メモ：上記の表で使用されている略語の正式名称については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。

表 C-1 システムエラーメッセージ（続き）

メッセージ	原因	対応策
0251: System CMOS checksum bad default configuration used	BIOS が変更されました。CMOS 内のデータをアプリケーションプログラムが変更したために、CMOS が改変されました。	コンピュータを再起動してください。Dell のロゴ画面が表示されたところで直ちに <F2> キーを押して、セットアップユーティリティを起動し、システムを再構成してください。それでも問題が発生する場合は、Dell テクニカルサポートまでご連絡ください。手順については第 5 章「困ったときは」を参照してください。
0230: System RAM failed at off-set: nnnn	システムの RAM 内で、エラーが検知された 64-KB ブロックのアドレス nnnn で障害が発生しました。	第 5 章「困ったときは」を参照して、Dell テクニカルサポートへお問い合わせください。
0260: System timer error	システム基板のチップに障害が発生した恐れがありません。	Dell 診断プログラムの System Set テストと Keyboard Controller テストを起動してみてください。手順については、第 3 章「Dell 診断プログラムの実行」を参照してください。

メモ：上記の表で使用されている略語の正式名称については、システムヘルプの「用語集」を参照してください。



## 付録 D

### 認可機関の情報

EMI（電磁波障害）とは、自由空間に放射または電源コードや信号線に伝導する信号あるいは放射電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい品位低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM/FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS（Personal Communication Services）などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータシステムを含むデジタル装置などの意図的ではない放射装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

EMC（電磁的両立性）とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータシステムは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン/オフすることによって判定できますので、干渉が発生している場合は、以下の方法を 1 つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

必要があれば、DELL Computer Corporation のテクニカルサポート担当者にご連絡いただくか、『FCC Interference Handbook, 1986』をご覧ください。こちらは、U.S. Government Printing Office, Washington, DC 20402, Stock No. 004-000-00450-7 またはウェブサイトの <http://www.fcc.gov/Bureaus/Compliance/WWW/tvibook.html> から入手できます。

DELL のコンピュータシステムは、下記の使用環境目的に合わせた設計、試験、類別がなされています。これらの電磁環境の類別は、一般に次の統一定義を表しています。

- クラス A — 商工業環境用。
- クラス B — 住宅環境用。

情報技術機器 (ITE; Information Technology Equipment) は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力 (I/O) 装置、モニタなどを含み、システムに統合または接続されるもので、コンピュータシステムの電磁環境の類別に適合しなければなりません。

シールド付き信号ケーブルに関する告知：周辺機器の DELL 製装置への接続にはシールド付きケーブルのみを使用して、無線通信サービスとの干渉の可能性を減らしてください。シールド付きケーブルの使用により、目的とする環境に適した EMC 分類基準を満たします。

ネットワークコンピュータシステムに関する注意：クラス B 環境向けの Dell コンピュータシステムには、オンボードの NIC (ネットワークインターフェースコントローラ) を搭載しているものがあります。ご使用のクラス B システムが NIC を搭載している場合、そのシステムは、NIC をネットワークに接続した時点でクラス A のシステムとみなされます。NIC がネットワークに接続されていない場合には、そのシステムはクラス B のデジタル機器とみなされます。

大半の DELL 製コンピュータシステムは、クラス B 環境に分類されています。お使いのシステムまたは装置の電磁的類別を確認するには、個々の認可機関に関する以下の各項を参照してください。以下の各項には、各国別の EMC/EMI または製品の安全に関する情報が記載されています。

## FCC 規定 (U.S. 向け)

大半の Dell 製コンピュータシステムは、連邦通信委員会 (FCC) の定めるクラス B に分類されています。しかし、一定のオプションが付加されている場合、一部の構成はクラス A の類別に変更されることがあります。お手元のコンピュータシステムにどちらの類別が適用されているかを確認するには、コンピュータの底部または背面パネル、カード取り付け用ブラケット、およびカード本体に添付されている FCC 登録ラベルをすべて調べてください。1 枚でもクラス A 分類が付いていれば、システムはクラス A デジタル装置とみなされます。すべてのラベルにクラス B の FCC ID 番号または FCC ロゴ (FC) が付いている場合は、ご使用のシステムはクラス B デジタル装置とみなされます。



お手元のシステムの FCC 類別を確認して、該当する FCC 規定をお読みください。FCC 規定では、Dell Computer Corporation によって明確に許可されていない変更や修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されていますのでご注意ください。

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。以下の 2 つの条件にしたがって使用してください。

- 本装置は、有害な電波障害を発生させてはなりません。
- 本装置は、望ましくない動作を引き起こすものを含め、あらゆる電波障害を受容できなければなりません。

## クラス A

本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス A デジタル装置の規制に適合していることが確認されています。これらの規制は、装置が商用環境で使用されたときに適切な受信障害防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用、または放射することがあります。製造者の取扱説明書にしたがって設置および使用されない場合、無線通信に重大な受信障害を引き起こすことがあります。本装置を住宅環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者自身が適切な対策を講ずる必要があります。

## クラス B

本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合していることが確認されています。これらの規制は、住宅環境で使用されたときに適切な受信障害防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用、または放射することがあります。製造者の取扱説明書にしたがって設置および使用されない場合、無線通信の受信障害を引き起こすことがあります。また、特定の設置条件で障害が発生しないかどうかは保証していません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン/オフすることによって判定できますので、干渉が発生している場合は、次の方法を一つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの向きを変えるか設置場所を変更します。
- 装置と受信機の間隔をあげます。
- 装置の電源を、受信機の接続されているコンセントとは別のコンセントに差し込みます。

- ディーラーまたは経験を積んだラジオまたはテレビ技術者に相談します。

以下の情報は、FCC 規則に準拠する本マニュアルで取り扱う装置に関するものです。

- 機種番号 : PP01S
- 会社名 : Dell Computer Corporation  
EMC Engineering Department  
One Dell Way  
Round Rock, Texas 78682 USA  
512-338-4400

## モデム規定情報

本装置は FCC 規定パート 68 に準拠しています。お使いのコンピュータ底面に貼ってあるラベルに、装置の FCC 登録番号と REN (ringer equivalence number) が、その他の情報と共に記載されています。要求があった場合、電話会社にこの情報を提供する必要があります。

REN は、電話回線に接続できる装置の数を決定するのに使われます。一本の電話回線への REN が大きすぎると、かかってきた電話に対して装置が応答しない可能性があります。電話会社のサービスを適正に受けることができるようにするため、ほとんどの地域では、1 本の電話回線に接続する REN の合計を、5 未満にする必要があります (REN の合計数で確認できる)。電話回線に接続できる装置の数を確認するには、お近くの電話会社にお問い合わせください。

この装置に採用されているジャックの USOC (登録ユニバーサルサービスオーダーコード) は、RJ-11C です。FCC 準拠の電話線とモジュラープラグが、この装置に付属しています。この装置は、電話回線ネットワークに接続するよう設計されているか、あるいは FCC 規定パート 68 に準拠する互換モジュラージャックを使って配線することが前提となっています。

この装置は、電話会社が提供する公衆電話サービスでは使えません。共同回線への接続は、州別の料金表の対象になります。

ユーザーはお使いのコンピュータに搭載されているモデムの部品を取り替えたり、修理することはできません。

お使いの電話機が電話回線ネットワークに障害を与えている場合、電話会社からサービスを一時的に停止する旨の連絡が事前にあります。事前に連絡ができない場

合、電話会社はできるだけ速やかに連絡します。お客様が必要と思われる場合は FCC に不服の申立をする権利があることも通知されます。

電話会社は、設備、装置、操作、または方法等を変更することがあり、この装置の操作に影響の可能性がある場合があります。変更がある場合には、電話会社は事前に連絡し、ユーザがサービスを継続して受けるための必要な修正をおこなえるようにします。

この電話機器に不具合がある場合、第 5 章「困ったときは」、あるいはシステムヘルプの「Dell へのお問い合わせ」を参照し、Dell の電話番号を調べて、お問い合わせください。装置が電話回線ネットワークに障害を引き起こしている場合、問題が解消されるまで装置を接続しないように電話会社から要求されることがあります。

## CTR 告知

本装置は、PSTN (Public Switched Telephone Network: 公衆電話回線網) への全ヨーロッパ単一端末接続に関する [Commission Decision 98/482/EC - CTR 21"] の認可を受けています。ただし、国によって PSTN に相違があるため、この認可によって、すべての PSTN 端末ポイントにおいて正常な動作が無条件で保証されるわけではありません。問題が起きた際は、まず装置の販売元に連絡してください。

本装置は、次の国々の PSTN (Public Switched Telephone Networks: 公衆電話回線網) で動作可能です: オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、オランダ、イギリス。これらの国々の PSTN では、相互接続上の問題はありませぬ。

## ニュージーランドテレコムの警告

端末装置にテレパーミットが与えられた場合、テレコムはその装置がテレコムのネットワークに接続する上で最低限の条件を満たしていることを認めます。テレパーミットは、テレコムが製品を承認していることを意味せず、いかなる品質保証にもなりません。さらに、装置がテレパーミットを得た異なるモデルの装置と連携してあらゆる面で支障なく動作することを保証したり、製品がテレコムのネットワークサービスのすべてに対応することを意味するものではありません。

本装置は、テレコムのインピーダンス条件を完全に満たしているわけではありません。これをネットワークの一部と共に使用したとき、性能上の限界が生じることもあります。そのような状況で問題が起きても、テレコムは責任を負いかねます。

テレコム "111" 緊急サービスへ自動呼出しするために、本装置をセットアップすることは禁止されています。

市内通話の課金が不可能であれば、市内通話で“Dial” ボタンを使うことは避けてください。市内通話番号の7桁だけをダイヤルしてください。地域番号や“0”の先頭数字はダイヤルしないでください。

本装置は、同じ回線に接続した別の装置への通話を正常に転送できないこともあります。



**メモ：**停電になると、本装置は動作しなくなる場合があります。緊急時のために、ご使用の電源に依存しない別の電話機を確保してください。

テレコムテレパーミット条件を満たすのに必要なパラメータの一部は、本装置に関連する装置（PC）に依存しています。関連装置は、テレコムの仕様を満たすために、以下に示す条件下で動作するように設定する必要があります。

1. 手動で行う1回の通話の場合、同じ相手番号に対する通話の試みは、30分以内の期間で10回以下とする。

装置は、1回の通話を試みてから次の通話を試みるまで、30秒以上経過してからオンフックすること。

2. 複数の番号に対する自動通話の場合、装置は1回の通話を試みてから次の通話を試みるまで5秒以上経過してからオンラインにすること。
3. 装置は、呼び出し音がしてから3～30秒経過してから呼出しに応答するように設定すること。

通話を録音する目的で本装置を使うユーザーは、ニュージーランドの法律に従わなければなりません。そのため、通話の参加者の少なくとも1人は、録音が行われていることを承知している必要があります。また、録音される個人情報の種類、その情報を録音する目的、その情報を使う方法、他の参加者に公開する内容といった事項について、プライバシーに関する法令（Privacy Act 1993）で述べられている規範を守る必要もあります。

## ファックス送信元の表示

1991年制定の電話利用者保護規定（Telephone Consumer Protection Act）は、コンピュータ、あるいはファックスを含む他の電子装置を使用するすべての人が、送信メッセージのすべてのページ、あるいは1枚目の上部または下部の余白に、送信の日時、会社、団体、または個人名、および送信機器、会社、団体、または個人の電話番号を含めずにメッセージを送ることを違法であると定めています。この電話番号には、ダイヤル900、あるいは市内や市外通話料金を越える料金を課金される番号は使えません。

## IC 規定（カナダ向け）

大半の Dell 製コンピュータ（およびその他の Dell 製デジタル機器）は、カナダ産業（IC）電波障害発生装置規格 No.3（ICES-003）でクラス B デジタル装置に分類されています。お手元のコンピュータシステム（またはその他の Dell 製デジタル機器）にどちらの類別（クラス A または B）が適用されているかを確認するには、お手元のコンピュータ（またはその他のデジタル機器）の底部または背面パネルに添付されている登録ラベルをすべて調べてください。これらのラベルの 1 枚に、「IC クラス A ICES-003」または「IC クラス B ICES-003」の様式による記載があります。カナダ産業規則では、Dell Computer Corporation によって明確に許可されていない変更や修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されていますのでご注意ください。

このクラス B（または登録ラベルにクラス A と記載されている場合はクラス A）デジタルデバイスは、カナダ電波障害発生装置規則の要件を満たしています。

Cet appareil numérique de la Classe B (ou Classe A, si ainsi indiqué sur l'étiquette d'enregistrement) respecte toutes les exigences du Règlement sur le Matériel Brouilleur du Canada.

## モデム規定情報

IC ラベルで認定機器であることが確認できます。この認定証は、ターミナル装置技術要件書に規定された通り、装置が遠隔通信ネットワークを保護し、正常に作動し、安全性の要件を満たしていることを証明するものです。IC ラベルは、ユーザーが満足するように装置が作動することを保証するものではありません。

装置を取り付ける前に、お近くの通信会社の設備にこの装置を接続できるか確認する必要があります。この装置は、適切な接続方法で取り付ける必要があります。上記の条件を満たしても、サービスの劣化が起こる可能性があることをご承知ください。

認定機器の修理は、製造元指定の代理店にご依頼ください。ユーザーによる機器の修理や改造をおこなった場合や、装置の不具合が起こった場合は、電話会社から装置を取り外すよう要求されることがあります。

ユーザーは、自分の安全のため、電源機、電話回線、および屋内金属製水道管の電気接地が、相互接続されているか確かめる必要があります。特に地方にお住まいの方は、このことに注意してください。

**注意：ユーザー自身で接続しないでください。電気保安協会、または電気工事業者などにお問い合わせください。**



メモ：すべてのターミナル装置に表示されている REN は、電話インタフェースに接続できるターミナルの最大数を示します。インタフェースの終末処理は、すべての装置の REN の合計が 5 を越えないという規定に従ったものであれば、どのような装置の組み合わせでもかまいません。

コンピュータ底面の IC 規定ラベルに記載されている内蔵モデムの REN は 0.6B です。

次の情報は、IC 規定に準拠したものです。

Dell Computer Corporation  
Warranty and Repair Service Center  
One Dell Way  
Round Rock, TX 78682 USA  
512-338-4400

## CE 規定 (EU 向け)

**CE** マークは Dell のコンピュータシステムが EU の EMC 規定および低電圧規定に適合していることを示しています。これらのマークは Dell システムが以下の技術標準に適合していることを示しています。

- EN 55022 — “情報機器の電波障害特性の計測方法と制限”
- EN 50082-1:1992 — “電磁的両立性 — 一般免除基準パート 1: 住宅地域、商業地域、軽産業地域”
- EN 60950 — “情報機器の安全性”



メモ：EN 55022 放射条件は 2 つのクラスに規定されます。

- クラス A — 一般の商業環境用。
- クラス B — 一般の住宅環境用。

この Dell 製装置はクラス B — 住宅環境用です。

前述の規制と基準に関する“適合宣言”が行われ、Dell Products Europe BV, Limerick, Ireland にファイルされています。



## バッテリーの廃棄

お使いのコンピュータには、リチウムイオンバッテリーと、ニッケル水素 (NiMH) のコイン型バッテリーが使われています。リチウムイオンバッテリーの取り替え手順については、第 2 章の「バッテリーの取り付け」を参照してください。NiMH バッテリーは寿命が非常に長く、交換の必要がないと思われます。万一バッテリー交換の必要が生じた場合、交換は必ず認定を受けたサービス技術者にご依頼ください。

バッテリーは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りのゴミ処分施設に問い合わせで電池の処分方法を確認してください。

## VCCI 規定（情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定）（日本向け）

DELL のコンピュータシステムの大部分は、VCCI によりクラス B 情報技術装置 (ITE) として類別されています。しかし、コンピュータシステムに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラス A 情報技術装置に類別されることもあります。情報技術装置は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力 (I/O) 装置、モニタなどを含み、システムに統合または接続されるもので、コンピュータシステムの電磁環境の分類に適合しなければなりません。

ご使用のコンピュータシステムにどちらの類別が適用されているかを確認するには、システムの底部や背面パネルに添付されている VCCI 表示ラベル（図 D-1 および D-2 を参照）をすべて調べてください。VCCI の類別を確認できましたら、次の該当する部分をご覧ください。

### クラス A 基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## VCCI-A

図 D-1 VCCI クラス A 基準 認可機関マーク

## クラス B 基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用させると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。



図 D-2 VCCI クラス B 基準 認可機関マーク

## MOC 規定（韓国向け）

ご使用のコンピュータシステム（または Dell デジタル装置）にクラス A または B のどちらの類別が適合されているかを確認するには、コンピュータに添付されている MOC ラベルを調べてください。MOC ラベルは、他のラベルとは別の場所にあるかもしれません。クラス A には“EMI (A) ”、クラス B には“EMI (B) ” という英文がラベルの中央に表示されています（図 D-3、D-4 参照）。



メモ：MOC 放射条件は 2 つのクラスに規定されます。

- クラス A — ビジネス用途。
- クラス B — 非ビジネス用途。

## クラス A 装置

장치 종류	사용자 안내문
A 급 기기	이 장치는 업무용으로 전자파 적합등록을 한 장치이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며 만약 잘못 판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

この装置はビジネス向けの使用として電磁障害に関する承認を受けています。ご使用に適さない場合は、非ビジネス向けの装置に交換してください。



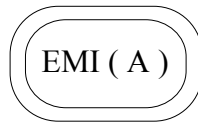


図 D-3 MOC クラス A マーク

## クラス B 装置

장치 종류	사용자 안내문
B급 기기	이 장치는 가정용으로 전자파 적합등록을 한 장치로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

この装置は非ビジネス向けの使用として電磁障害に関する承認を受けています。住宅地域をはじめ、あらゆる環境でご使用になれます。

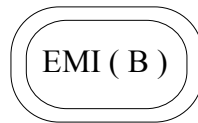


図 D-4 MOC クラス B マーク

## NOM 情報 (メキシコ向け)

次の情報は、マニュアルに説明のある装置に提供されたメキシコのスタンダード (NOM) に準拠したものです。

輸元 : Dell Computer Corporation  
One Dell Way  
Round Rock, TX 78682

輸入先 : Dell Computer de México,  
S.A. de C.V.  
Rio Lerma No. 302 - 4° Piso  
Col. Cuauhtemoc  
16500 México, D.F.

出荷先 : Dell Computer de México,  
S.A. de C.V. al Cuidado  
de Kuehne & Nagel de  
México S. de R.I.  
Avenida Soles No. 55  
Col. Peñon de los Baños  
15520 México, D.F.

電圧 : 100 - 240 VAC  
周波数 : 60 - 50 Hz  
消費電力 : 1.5 A

## **Información para NOM (únicamente para México)**

La información siguiente se proporciona en el dispositivo o en los dispositivos descritos en este documento, en cumplimiento con los requisitos de la Norma Oficial Mexicana (NOM):

Exportador: Dell Computer Corporation  
One Dell Way  
Round Rock, TX 78682

Importador: Dell Computer de México,  
S.A. de C.V.  
Rio Lerma No. 302 - 4° Piso  
Col. Cuauhtemoc  
16500 México, D.F.

Embarcar a: Dell Computer de México,  
S.A. de C.V. al Cuidado  
de Kuehne & Nagel de  
México S. de R.I.  
Avenida Soles No. 55  
Col. Peñon de los Baños  
15520 México, D.F.

Tensión  
alimentación: 100-240 VAC

Frecuencia: 60-50 Hz

Consumo de  
corriente: 1.5 A

## **BSMI 警告 (台灣向け)**

### **警告使用者：**

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。



# 索引

## A

- AC アダプタ
  - コネクタ, 1-5
  - 使い方, 2-2

## C

- CD-ROM ドライブ
  - 外付けメディアベイへの取り付け, 2-7
  - トラブルシューティング, 3-5

## D

- Dell 診断プログラム, 3-16
  - 使い方, 3-21
  - メイン画面, 3-19
  - 実行, 3-16
- Dell へのお問い合わせ, 5-6
- DVD-ROM ドライブ
  - 外付けメディアベイへの取り付け, 2-7
  - トラブルシューティング, 3-6

## E

- ESD, x

## I

- IRQ コンクリフト, 3-13
- IRQ ラインの割り当て, 3-12

## N

- NIC ドライバ
  - インストール, 4-8

## S

- Softex BayManager, 2-9
- SuperDisk LS-120 ドライバ
  - 外付けメディアベイへの取り付け, 2-7
- Suspend-to-Disk ユーティリティ, 4-18
- System Software CD
  - ドライバとユーティリティのインストール, 4-2

## T

- TSR プログラム, 3-9

## W

- Windows 98
  - ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決, 3-13
  - NIC ドライバのインストール, 4-8

タッチパッドドライバの  
インストール, 4-7

## Windows NT

PC カード設定ユーティリティの  
インストール, 4-15  
ビデオドライバのインストール, 4-11

## World Wide Web ヘルプツール, 5-2

## ア

アップグレードオプション, 2-1  
安全にお使いいただくための注意, v  
ESD (静電気放電) の防止, x  
メモリモジュールの取り付けと  
取り外し, ix  
インジケータライト, 1-4  
インターネットのヘルプツール, 5-2  
ウェブサイトのヘルプツール, 5-2  
液体による損傷, 3-14  
エラーメッセージ  
表, C-1  
オプション, 2-1

## カ

キーボード, 1-4  
起動ルーチン, 3-2  
確認項目, 3-7  
警告, xiii  
コネクタ  
AC アダプタ, 1-5  
NIC, 1-5  
PS/2, 1-5  
USB, 1-5  
外付けメディアベイ, 1-5

パラレルポート, 1-5  
ビデオ, 1-5  
モデム, 1-5

困ったときは, 5-1  
コンピュータ  
仕様, A-1  
コンピュータが濡れた場合, 3-14  
コンピュータを落とした場合や損傷を  
与えた場合, 3-15

## サ

サポート  
修理以外の返品, 5-3  
修理のための返送, 5-2  
電話番号, 5-6  
システムエラーメッセージ, C-1  
システムの機能  
オプションとアップグレード, 2-1  
正面, 1-4  
ソフトウェア, 1-6  
底面, 1-6  
ハードウェア, 1-1  
背面, 1-5  
修理, 5-2  
仕様, A-1  
テクニカル, A-1  
表, A-1  
診断チェックリスト, 5-5  
スピーカー  
位置, 1-6  
静電気放電 (ESD 参照)  
製品情報, 5-2  
セットアップユーティリティ  
Advanced メニュー, B-5

- Boot メニュー, B-15
  - Exit メニュー, B-16
  - Main メニュー, B-2
  - Power メニュー, B-11
  - Security メニュー, B-9
  - アクセス, B-1
  - 外付けメディアベイ, 2-7
    - CD-ROM ドライブの取り付け, 2-7
    - DVD-ROM ドライブの取り付け, 2-7
    - Softex BayManager の使用, 2-9
    - SuperDisk LS-120 ドライブの
      - 取り付け, 2-7
      - 位置, 1-5
      - コンピュータへの接続, 2-8
      - サポートするデバイス, 2-7
      - ディスクドライブの
        - 取り付け, 2-7
        - デバイス構成, 2-9
  - 外付けメディアベイケーブル, 2-6
  - その他のマニュアル, xii
  - ソフトウェア
    - ウイルス検出, 3-9
    - ドライバ, 3-12
    - プログラムコンフリクト, 3-11
    - 問題, 3-8
    - エラーメッセージ, 3-10
  - ソフトウェアの特徴, 1-6
- タ**
- タッチパッド, 1-2
    - 位置, 1-4
    - ドライバのインストール, 4-7
  - 注意, xiii
  - 注意事項に関する表記上の規則, xiii
  - ディスクドライブ
    - 外付けデバイスとして接続, 2-9
    - 外付けメディアベイへの
      - 取り付け, 2-7
      - トラブルシューティング, 3-5
      - クリーニング, 3-6
  - ディスプレイ, 1-4
    - 位置, 1-4
  - ディスプレイラッチ, 1-4
  - テクニカルサポート, 5-1
    - 受け方, 5-1
    - 返送について, 5-2
  - 電源ボタン, 1-4
  - ドライバ
    - Windows 98 用, 4-2
    - Windows NT 用, 4-10
    - Windows 2000 用, 4-17
    - オーディオ, 4-6
    - タッチパッド, 4-7
    - パワーマネージメント
      - ユーティリティ, 4-14
    - ビデオ, 4-3
    - プログラムコンフリクトの要因, 3-12
    - モデム, 4-4
    - モデム (Windows NT), 4-12
  - ドライブ
    - トラブルシューティング, 3-5
  - トラブルシューティング
    - Dell 診断プログラム, 3-16
    - インターネット, 5-2
    - 液体による損傷, 3-14
    - 落としたり損傷を与えたりした
      - コンピュータ, 3-15
    - 環境要因, 3-3
    - 基本的な問題, 3-1
    - 診断チェックリスト, 5-5
    - 接続のチェック, 3-3
    - 電源のチェック, 3-4

ドライブのチェック, 3-5  
目と耳で確認できる問題, 3-7  
モデムのチェック, 3-4

## ナ

認可機関の情報, D-1

## ハ

ハードウェアの機能, 1-1  
ハードディスク  
    トラブルシューティング, 3-7  
ハードディスクドライブ  
    取り付け, 2-10  
バッテリー  
    位置, 1-6  
    充電ゲージ, 2-4  
    取り付け, 2-3  
    取り外し, 2-4  
パラレルポート  
    コネクタ, 1-5  
表記上の規則, xiii  
ヘルプツール  
    インターネット, 5-2  
返品, 5-2  
保証, xii

## マ

マイク, 1-5, 1-4

メッセージ  
    エラーメッセージ, 3-10  
メモ, xiii  
モデム  
    コネクタ, 1-5  
    トラブルシューティング, 3-4

## 問題

ご注文に関するお問い合わせ, 5-2  
診断, 3-1  
ヘルプツール, 5-1